



企業の皆様と 共に取り組む プロジェクト

2026

- 企業版ふるさと納税
- 協働
- 遊休施設の利活用



エールを北のチカラに。

ほっかいどう応援団会議



北海道 14（総合）振興局



CONTENTS

1 『ほっかいどう応援団会議』とは

2 企業版ふるさと納税制度の概要

3 企業版ふるさと納税の活用事例

3 交流人口・関係人口

空知	3	美瑛市	シビックプライドを高めて関係人口創出
	4	三笠市	ジオパークを活用した地域づくり
	4	三笠市	食のまちとしての活気づくり
	5	南幌町	30年後も子どもの笑顔があふれるまちを目指して
	5	沼田町	サテライトオフィス及びワーケーションの推進
石狩	6	江別市	大学生が地域に出会う「ジモ×ガク」
	6	新篠津村	天文台をキーに交流人口増を！地域を元気にする「空のまち」構想
後志	7	島牧村	2つの100選を誇る自然を舞台に。村と大学院で創る観光の未来。
	7	ニセコ町	ひと・まち・未来をむすぶ魅力的な観光地へ
	8	真狩村	交流・関係人口や移住者の増加に向けて
	8	積丹町	地域資源を活かし、新しい人の流れをつくる事業
	9	室蘭市	まちの魅力を活かし、賑わいあふれる室蘭を目指す！
胆振	9	苫小牧市	交流人口の増加に向けた「都市再生コンセプトプラン」の実現
	10	登別市	友好都市ファボー・ミッドフュン市との歴史ある交流
	10	平取町	寮を核に、学びと地域がつながる
日高	11	新冠町	新冠町へひとの流れをつくるまちづくり
	11	様似町	アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり
	12	新ひだか町	「二十間道路桜並木」の感動の世界へ
	12	福島町	まちを訪れる人を増やし、交流や移住を促進する事業
渡島	13	長万部町	東京理科大学と連携したまちづくり事業
	13	厚沢部町	次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる保育園留学
檜山	14	中富良野町	観光入込客数の増加や農産物のPR
	14	剣淵町	「絵本の里」を次代につなげる人づくり
上川	15	中川町	中川町空き家とDXを活用した関係人口創出事業
	15	幌加内町	ニッチな場所でワーケーションしてみませんか？
	16	遠別町	新しい「富士見ヶ丘公園」を目指します！
留萌	16	豊富町	日本にただ1つの奇跡の湯！関係人口の創出・拡大に向けた温泉振興
宗谷	17	礼文町	島への新しいひとの流れをつくる
	17	利尻富士町	関係人口拡大、移住・定住促進事業
オホ	18	北見市	トップアスリートのニーズに対応する先導的なカーリングホールの活用
	18	網走市	観光デジタルファーストで交流人口を拡大
	19	美幌町	美幌町まち・ひと・しごと創出推進に関する事業
	19	斜里町	魅力創造で人の流れをつくる事業等
	20	小清水町	小清水町デジタル田園都市構想推進事業
	20	西興部村	ギター工場等人材確保プロジェクト

十勝	21	音更町	都市との新たな結び付きなどにより、音更への新しいひとの流れをつくる事業
	21	新得町	新得らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す事業
	22	芽室町	魅力発掘・創造と発信の取組み 移住定住の促進と関係人口の拡大
	22	広尾町	サンタの森を活用し、林業振興・交流人口の拡大をめざす！
	23	広尾町	広尾サンタランドの魅力を発信、関係人口の増加をめざす！
釧路	23	本別町	本別公園魅力創出事業
	24	浜中町	楽しく遊べて誰もが居心地の良い公園をつくる！

25 まちづくり

空知	25	夕張市	持続可能なまちづくり
	25	岩見沢市	活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち
	26	砂川市	安心して暮らし続けられるまちを目指して
	26	奈井江町	奈井江版生涯活躍のまち事業
	27	由仁町	“小さくてもキラリと輝く” まちづくり
	27	浦臼町	志と覚悟をもって未来を拓くまちづくり事業
	28	妹背牛町	地域特性を最大限に生かしたゼロカーボンシティ事業
	28	雨竜町	子どもたちに夢を、若者に希望を、お年寄りには安心のもてるまち
石狩	29	千歳市	賑わいの創出と地域の活性化を図る事業
	29	恵庭市	アプリを使ったつながるまちづくり
	30	石狩市	産業と共に成長する一人ひとりに寄り添った住みよいまちへ
後志	30	黒松内町	訪れたいまちをつくる
	31	蘭越町	まちに住むひと・訪れる人を増やす事業
	31	ニセコ町	町民や観光客から信頼される国際リゾート
	32	ニセコ町	新寮から広がる学びと未来
	32	積丹町	いつまでも住み続けられる暮らしの場をつくる事業
	33	古平町	古平町デジタル田園都市構想推進事業
胆振	33	室蘭市	一人ひとりが幸せを実感できる持続可能なまちを目指す！
	34	豊浦町	人とつながり 自然と笑顔あふれるまちへ
	34	白老町	命を守るレジリエンス強化への投資
	35	安平町	日本一の公教育を目指す町「子どもにやさしいまちづくりプロジェクト」
	35	むかわ町	むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る事業
日高	36	日高町	「日高町まち・ひと・しごと創生推進計画」に沿った各種事業
	36	新冠町	思いやりと笑顔あふれるまちづくり
	37	新ひだか町	「新ひだか町まち・ひと・しごと創生推進計画」に沿った各種事業
渡島	37	函館市	都市ブランドの向上により世界から注目されるまちHAKODATEをめざす
	38	松前町	力を合わせて産業を育てる活力のあるまちづくり事業
	38	知内町	知内町ふるさと創生事業
	39	七飯町	地域の魅力を活かし七飯町らしいまちづくりを！
	39	鹿部町	いつまでも住み続けられるまちづくり
檜山	40	長万部町	避難空間としての防災機能など多機能に備えた駅高架下滞留空間整備事業
	40	江差町	海とまちを繋ぐまちづくり「新たな道の駅」を目指して～北の江の島構想～
	41	上ノ国町	風よ、未来を変えろ～誰もがしあわせに暮らせるまちへ～
	41	乙部町	住み続けられる魅力あるまちづくり

	42	今金町	個性と魅力あふれるまちづくり
	42	せたな町	対話・協働・創造のまちづくり
上川	43	旭川市	新時代をリードする北・北海道の中心都市
	43	富良野市	ボンチパウダー推進事業
	44	鷹栖町	オール鷹栖による持続可能な地域づくり拠点形成事業
	44	東神楽町	東神楽町まち・ひと・しごと創生推進計画事業
	45	比布町	プロスポーツチームと共に歩むプロジェクト
	45	美瑛町	デジタル技術の活用や観光地整備による「オーバーツーリズム対策」
留萌	46	留萌市	本格的なアウトドア観光へ！
	46	苫前町	いつまでも暮らしていけるまちづくり
	47	羽幌町	町立天売高等学校の魅力化
	47	天塩町	天塩町デジタル田園都市構想総合戦略推進事業
宗谷	48	稚内市	海と大地と風の恵み 人が輝き挑戦し続けるまち稚内
	48	中頓別町	“働きたい” “暮らしたい” まちとして選ばれる癒やしの里中頓別へ
オホ	49	北見市	【日本初】北見市の挑戦！！笑顔あふれるまちを目指して
	49	紋別市	流水と大地の恵みを活かし人が輝き躍動するまち
	50	置戸町	笑顔と夢を未来につなぐまち おけと
	50	佐呂間町	佐呂間町まち・ひと・しごと創生推進事業
	51	滝上町	役場庁内DXを推進！デジタル技術を活用し、地域課題の解決を目指します
十勝	51	音更町	ひとが集う、安全・安心で快適に住み続けられるまちをつくる事業
	52	士幌町	安心して住み続けることができる地域をつくる事業
	52	中札内村	持続可能な公共交通の実現に向け、コミュニティバスのデマンド化を検討
	53	浦幌町	想いをつないで未来を創る、“わたしたちのまち” うらほろ
釧路	53	釧路町	釧路町の認知度向上を目指して
	54	厚岸町	離れたくないまち“あっけし” 実現プロジェクト
	54	弟子屈町	「全ての住民が、暮らしに満足を感じ、次代に夢を託せるまちづくり」を目指します
根室	55	根室市	根室市まち・ひと・しごと創生推進事業
	55	中標津町	外国『人財』の誘致と多文化共生のまちづくり

56 自然・環境

空知	56	長沼町	タンチョウも住めるまちづくり
	56	栗山町	ハサンバツ里山の保全活動事業
後志	57	ニセコ町	林業、木材産業の再価値化を目指して
	57	ニセコ町	暮らし・地域・未来を守る気候変動対策事業
	58	京極町	北海道遺産「ふきだし湧水」を守る
渡島	58	長万部町	地域のマイクログリッド化事業
上川	59	東川町	天人峡地区の復興へ向けて
十勝	59	鹿追町	「バイオガスパラント」を核としたまちづくり
	60	鹿追町	とかち鹿追ジオパークと共に持続可能な未来へ
	60	中札内村	自然豊かな札内川園地をもっと魅力的なスポットに！
	61	陸別町	“人と自然が響き合う” まちづくり
釧路	61	釧路市	特別天然記念物北海道タンチョウ生息域外保全促進事業
	62	鶴居村	自然環境に配慮した森づくりを目指して
根室	62	羅臼町	地熱資源を活かしたゼロカーボンシティの実現

空知	63	美瑛市	ベースボールを核とした地域活性化
	63	三笠市	三笠北海盆おどりを日本の冠たる盆踊りへ！
	64	深川市	「スポーツ」の力で、人口減少に負けない強いまちづくりを！
石狩	64	北広島市	北海道ボールパークFビレッジJR新駅建設プロジェクト
胆振	65	厚真町	「浜厚真」を盛り上げたい！
上川	65	名寄市	冬季スポーツ拠点化プロジェクト
	66	東川町	世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、世界中が笑顔に溢れる写真文化首都
	66	東川町	「デザインミュージアムの実現に向けて」
	67	上富良野町	活火山の恵みと脅威を活力に
オホ	67	遠軽町	10トンディーゼル機関車に再び汽笛を
十勝	68	帯広市	フードバレーとかちマラソン大会
	68	幕別町	幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業
釧路	69	鶴居村	音楽祭による新たな地域文化の創出に向けて

空知	70	芦別市	子ども一人ひとりのニーズに合わせた特別支援
	70	歌志内市	子どもを産み、育てやすい環境をつくる
後志	71	小樽市	小樽公園「こどもの国」リニューアルプロジェクト
	71	倶知安町	くっちゃんて暮らす幸せを感じるための事業
	72	神恵内村	神恵内村デジタル田園都市国家構想推進事業
	72	積丹町	子どもを育てやすい環境を整える事業
	73	仁木町	地域の子どもたちとその家族が安心して生活できる環境を目指して
胆振	73	室蘭市	こどもや子育て世代が住み続けたいと思えるまちを目指す！
	74	伊達市	みんなが豊かさを感じられる市民幸福最高のまち
	74	壮瞥町	人材・担い手の育成と子育て支援を充実させる事業
	75	白老町	次世代人材への投資で未来をつくる
日高	75	新冠町	結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちづくり
渡島	76	木古内町	木古内町みらいある事業
	76	鹿部町	未来きらきらプラン～子育て負担0（ゼロ）への挑戦～
	77	森町	子育てしやすい環境を目指して
	77	森町	地元高校を希望に町の活性化を
上川	78	士別市	サフォーク羊によるまちづくりと合宿等による関係人口創出
	78	当麻町	地域環境をいかした子育てから豊かな心を育む「まち」づくり事業
留萌	79	増毛町	「高血圧ゼロ」で元気に長生きできるまち
	79	初山別村	地域公共交通対策事業
宗谷	80	浜頓別町	安心して子育てできる環境と、学力・郷土愛の向上を目指します
オホ	80	網走市	医療提供体制の新たな仕組みづくり
	81	訓子府町	「安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくる」
	81	滝上町	子育て世代へ経済的な支援を行い、子育てしやすいまちづくり

十勝	82	興部町	子育て世代の抱える負担の軽減に総合的に取り組む事業
	82	音更町	若者や女性にも選ばれるまちをつくる事業
	83	清水町	子どもを安心して産み・育てられるまち
	83	芽室町	安心した子育てができるまち。学びの力と生きる力で未来を創る
	84	芽室町	発祥の地から未来へつなぐ。ゲートボールの聖地「健康プラザ」改修事業
釧路	84	芽室町	快適健康づくりができるまち。心地よさと暮らしやすさと心強さの生活環境
	85	池田町	結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
	85	釧路市	安心して子どもを生み育てられる環境を整備
根室	86	標茶町	標茶高校の魅力を全国に発信し、高校から全国にまちの魅力を発信
	86	標津町	標津町まち・ひと・しごと創生推進事業

87 産業

空知	87	三笠市	石炭や木質バイオマスから低炭素水素等の製造・CO2地下固定化
	87	月形町	産業を元気にして、月形町ににぎわいを創る
	88	新十津川町	スマート農業推進支援事業
	88	秩父別町	ゼロカーボンシティの実現に向けて
石狩 後志	89	当別町	産業力の強化～しごとの創生～
	89	共和町	「らいでん」ブランドを守る農業の担い手確保と育成
	90	岩内町	岩内町街なか活性化プロジェクト
	90	泊村	水産業を活かし、安心して働ける場をつくる事業
胆振	91	積丹町	基幹産業の魅力を高め、地域経済を活性化させる事業
	91	余市町	よいちガストロノミーツーリズムプロジェクト
	92	室蘭市	室蘭の特性を活かした、産業振興と働く人に選ばれるまちを目指す！
	92	白老町	次世代一次産業への投資で地域活性化
日高	93	白老町	北海道の文化拠点で社会的責任を果たす
	93	新冠町	産業振興の活性化によるまちづくり
	94	浦河町	海面養殖試験事業
渡島	94	鹿部町	サステナ・ブルー・プロジェクト
	95	八雲町	醸造（ワイン）用ぶどう栽培事業で地域活性化を図る！
上川	95	名寄市	「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けて
	96	愛別町	人と文化が輝く愛別
	96	占冠村	森林の活用と地域内での循環
	97	和寒町	産業の振興により安定した雇用と活気をつくる事業
留萌 オホ	97	下川町	SDGsを取り入れ、人も資源もお金も循環・持続するまちを目指して
	98	幌加内町	日本一のそば加工施設づくり
	98	小平町	おびら和牛の振興に向けて
	99	津別町	森林の循環利用を進めるため、木質バイオマスエネルギーを活用
	99	湧別町	豊かな自然環境と地域資源を守り、持続可能な地域づくりの実現へ
	100	滝上町	森林整備を推進し環境保全とSDGsに向けたまちづくり
	100	滝上町	担い手不足に悩む農業の基盤を強化 稼ぐまちづくりを推進
	101	雄武町	雄武町の強みを活かした産業と雇用の場をつくる事業

十勝	101	大空町	ひがしもこと芝桜公園リニューアルに向けた再整備事業
	102	音更町	地域経済を活性化させ、稼ぐ力を高める事業
	102	清水町	官民連携での地域活性化を図る事業！
	103	大樹町	航空宇宙関連産業の集積による地域創生の推進
釧路	103	豊頃町	豊頃町まち・ひと・しごと創生推進事業
	104	足寄町	定住促進、農山村地域の機能維持及び地域ネットワークの構築
	104	白糠町	稼ぐ地域をつくるとともに、安定した雇用を創出する
根室	105	別海町	酪農支援プロジェクト

106 ICT・AI

十勝	106	上士幌町	ICT先端技術を活用したスマートタウンの推進
	106	更別村	更別村スーパービレッジ構想

107 人材育成・教育

空知	107	夕張市	Challenge More Spirit 夕張高生は挑戦し続けます
	107	美瑛市	都心に負けないプログラミング技術を
	108	赤平市	赤平市しごと・ひと・まち創生推進事業
	108	滝川市	国学院大学北海道短期大学部の学生のまちづくりチャレンジを応援してください！
石狩	109	上砂川町	児童の学力向上と教育の充実を目指す教育連携事業
	109	札幌市	さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成
	110	厚真町	挑戦者を支援してまちの未来を切り拓く
胆振	110	洞爺湖町	洞爺湖町まち・ひと・しごと創生推進事業
	111	北斗市	～若者の市内回帰の促進を～
渡島	111	厚沢部町	地域の未来に明るい光をともし、新しい学びの拠点
檜山	112	奥尻町	奥尻町まち・ひと・しごと創生推進事業
	112	上川町	上川町学園構想プロジェクト事業
上川	113	南富良野町	唯一無二の高校づくりで、唯一無二の人材へ！！
	113	音威子府村	村立おといねっぴ美術工芸高校の魅力化・機能強化
	114	幌加内町	日本一のそばの里で自分の魅力を再発見できる高校で学ぶ
オホ	114	遠軽町	遠軽高等学校の教育水準を維持するために
十勝	115	鹿追町	「持続可能な社会の創り手」を育てるまちづくり
釧路	115	釧路市	1人の雇用を生む100社の育成を目指して

石狩	116	江別市	官民連携で赤ちゃんをお出迎え「こんにちは あかちゃん事業」
空知	116	長沼町	タンチョウも住めるまちづくり
後志	117	ニセコ町	SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり～
	117	岩内町	岩内町発祥の地域素材を活用した「イワナイブランド」の確立
	117	仁木町	企業と連携して次世代観光拠点を整備
	118	赤井川村	赤井川村での事業拠点の開設
胆振	118	室蘭市	室蘭から新しいビジネスがはじまる。「サテライトオフィス室蘭」
	118	苫小牧市	苫小牧での就職を促したい！
渡島	119	北斗市	企業誘致に係る連携・支援
上川	119	名寄市	名寄市のスポーツ競技施設を活用したスポーツツーリズム等の開発・販売
	119	東川町	東川オフィシャルパートナー制度
	120	音威子府村	村立おといねっふ美術工芸高校の魅力化・機能強化
宗谷	120	枝幸町	労働力・人材不足の解消
	120	利尻富士町	新産業開拓プロジェクト
十勝	121	音更町	おとふけ町ビジネス創出拠点「昭和商学校Palette」
	121	豊頃町	過疎地における地域内交通手段の確保
釧路	121	釧路市	氷都くしろ！子どもたちの全国舞台をともに支える！
	122	鶴居村／黒松内町／美瑛町／赤井川村／標津町／江差町／清里町／京極町／中札内村	日本で最も美しい村ビューティフルデー

123 道内市町村で利活用が可能な遊休施設

空知	123	赤平市	旧茂尻小学校
後志	124	蘭越町	大湯沼自然展示館
	124	積丹町	積丹岬キャンプ場
	125	積丹町	旧入舸小学校
	125	古平町	古平家族旅行村
	126	古平町	古平町営牧場
胆振	126	厚真町	厚真町役場本庁舎
日高	127	様似町	旧ソビラ荘（特別養護老人ホーム）
	127	新ひだか町	旧春立小学校
	128	新ひだか町	旧鳧舞小学校
	128	新ひだか町	旧桜丘小学校
	129	新ひだか町	旧女性センターみらい
渡島	129	八雲町	旧山崎小学校
檜山	130	上ノ国町	旧早川小学校
	130	上ノ国町	旧滝沢小学校
上川	131	旭川市	旧千代ヶ岡小学校
	131	旭川市	旧神居古潭小中学校
	132	旭川市	旧旭川第2小学校
	132	上富良野町	旧江幌小学校
	133	上富良野町	旧東中中学校
	133	中富良野町	旧南中小学校
	134	南富良野町	旧北落合小学校

留萌	134	初山別村	旧豊岬小学校
宗谷	135	稚内市	旧更喜苫内小学校
	135	稚内市	旧曲渕小中学校
	136	稚内市	旧樺岡小中学校
	136	稚内市	旧豊別小中学校
	137	稚内市	旧上修徳小中学校
	137	稚内市	旧東浦小中学校
	138	稚内市	旧曙小学校
	138	稚内市	旧稚内西小中学校
	139	稚内市	旧上勇知小中学校
オホ	139	滝上町	旧濁川小学校
	140	滝上町	旧滝下小学校
十勝	140	音更町	旧南中音更小学校
	141	音更町	旧豊田小学校
	141	士幌町	旧西上音更小学校
	142	池田町	旧高島小学校
釧路	142	厚岸町	旧上尾幌小中学校
	143	厚岸町	旧床潭小学校
	143	標茶町	旧久著呂中央小中学校
	144	標茶町	旧弥栄小学校
胆振	144	北海道（伊達市）	旧北海道伊達緑丘高等学校
渡島	145	北海道（函館市）	旧北海道戸井高等学校
上川	145	北海道（名寄市）	旧北海道名寄産業高等学校名農キャンパス
留萌	146	北海道（留萌市）	旧北海道留萌高等学校
十勝	146	北海道（浦幌町）	旧北海道浦幌高等学校

持続可能な開発目標（SDGs（Sustainable Development Goals））とは

- ・ 2015年9月、国連において採択された国際社会共通の目標であり、先進国、開発途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- ・ 北海道においても、これから先の50年、100年後に向け、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、先人から受け継いだ多種多様な地域資源を活かしながら、SDGsの達成に向けた取組を積極的に推進していくことが重要です。
- ・ このため、道内の個人や企業・団体、NPO、行政機関など各層にSDGsが浸透し、幅広い分野や地域で具体的な取組が展開されるよう、多様な主体が連携・協働する全道的なネットワークとして、「北海道SDGs推進ネットワーク」を設立するなど、SDGs推進に貢献する取組を進めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



『ほっかいどう応援団会議』とは

「ほっかいどう応援団会議」は、多様化・複雑化する地域課題の解決に向け、民間の皆様の知恵やノウハウをいただき、ともに北海道の未来づくりに取り組むことが必要との考えのもと、北海道に想いを寄せる方々の取組や想いを見える化するためのネットワークとして、令和元年9月に発足しました。



応援の受け皿

応援の見える化



官民連携のステップアップ



資金支援

- ・ふるさと納税
- ・企業版ふるさと納税
- ・その他の寄附・協賛



協働活動

- ・包括連携協定の締結
- ・タイアップ事業の実施



事業活動

- ・企業立地
- ・道産品販路拡大・PR など

応援団会議参加数（R8.3月時点）

企業・団体	1,836 団体
個人（道ファン子）	20,824 名

※個人の皆様は、「道産子」をもじって、「道ファン子」と呼んでいます



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

参加方法

参加にあたって費用負担はございません。是非ご参加ください。

企業・団体の皆様

詳細は道庁官民連携推進局へ
直接お問い合わせください!!

☎ 011-204-5158

📧 hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp

- ポータルサイト等で、参加企業の皆様の応援実績などをご紹介します!
- 市町村が応援を求める取組をPRする
「ほっかいどう応援セミナー」を開催!

ほっかいどう応援団会議
ポータルサイトはこちら



個人の皆様

下記二次元コードから簡単登録!!
是非ご登録ください!!



- 北海道の応援につながる様々な情報を発信!

公式
アカウント
はこちら



公式
アカウント
はこちら



企業版ふるさと納税制度の概要

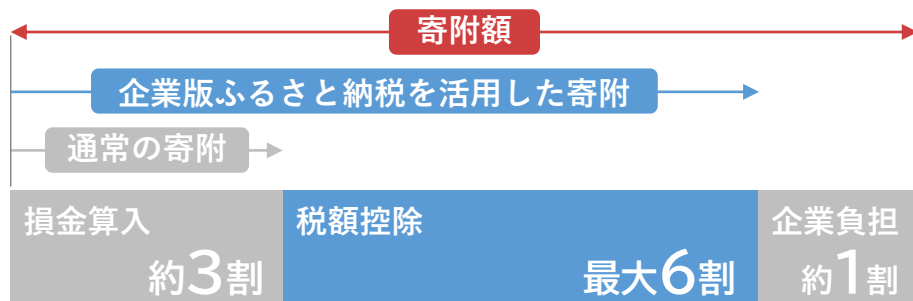
「企業版ふるさと納税」は、企業の皆様が、こころざしを寄附のかたちで地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けることができる制度です。

企業の皆様にとっても大きなメリットのある制度です。本制度を活用し、北海道の未来づくりに向けた取組をとともに進めましょう！！

POINT
01

税軽減は寄附額の最大9割、実質負担は1割！

例えば、100万円の寄附をすると、最大約90万円の法人関係税が軽減



活用のチェックポイント

- 本社が所在する自治体への寄附は**対象外**
(本社が道内の企業は、道庁・所在市町村への寄附は対象外)
- 1回あたり**10万円以上**の寄附が対象
- 寄附企業への経済的な見返りは**禁止**

POINT
02

「社会・地域貢献」や「新たな事業展開」にもつながる！

社会・地域貢献

- ・ SDGsの達成
- ・ ふるさと、被災地の復興等への支援 etc

事業展開

- ・ 企業のPRに
- ・ 新たなパートナーシップの構築
- ・ 社員のモチベーションアップ etc

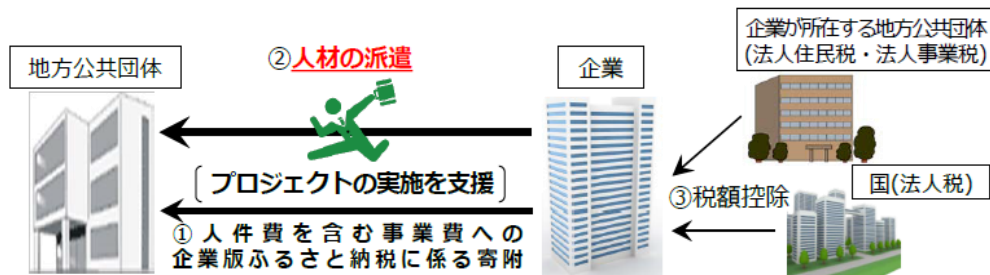
道では・・・

- 感謝状の贈呈のほか、ホームページ・啓発チラシ等で**企業名を紹介**

企業版ふるさと納税制度（人材派遣型）の概要

企業版ふるさと納税の仕組みを利用し、企業が専門的知識・ノウハウを有する人材を地方公共団体に派遣する制度で、その人件費等を含めた事業費を寄附した場合に、税の軽減効果を受けられる制度です。

制度活用イメージ



企業のメリット

- ・ 人件費相当額を含む寄附額の最大約9割に税の軽減効果
- ・ 企業ノウハウの活用による地域貢献
- ・ 人材育成の機会としての活用

地方公共団体のメリット

- ・ 専門的知識やノウハウを有する人材の登用による地方創生事業の充実・強化
- ・ 人件費の負担なく人材の受入が可能
- ・ 関係人口の創出・拡大



企業版ふるさと納税の活用事例

道内市町村において、企業の皆様から応援いただきたい特色のあるプロジェクトをご紹介します。

分野毎のプロジェクト内容はもちろん、関連するSDGsの目標や市町村担当者へのお問い合わせ先も掲載しています。

掲載プロジェクト

交流人口・関係人口

42 プロジェクト

くらし・子育て・健康

34 プロジェクト

まちづくり

62 プロジェクト

産業

37 プロジェクト

自然・環境

14 プロジェクト

ICT・AI

2 プロジェクト

文化・スポーツ・歴史

13 プロジェクト

人材育成・教育

18 プロジェクト

美唄市

人口 17,796人 (2026.2)
主な観光ポイント
宮島沼、アルテピアッツァ美唄

シビックプライドを高めて関係人口創出



美唄ブランド作成



Bibai Beautiful Day1.0

「Bibai Be Beautiful」美しくあれ、美唄。

本事業は、人口が半減すると予想される2040年を見据え、シビックプライドを高め、持続可能な地域づくりを目指し令和4年度にスタートし、美唄ブランド「Be Beautiful 美しくあれ。」を立ち上げました。

そのブランドをもとに、魅力の発信やワークショップを通して共通価値の形成や組織を超えた協働を重ね、多くの挑戦が生まれています。また、子どもたちがまちづくりを行う「美唄まちづくり部」の発足等、若い世代を中心に市内に活力をもたらしています。本プロジェクトで集まった寄附は、美しいまち美唄に向け、美唄を想う人が集うコミュニティづくりなどに活用させていただきます。

プロジェクト

「美唄シティプロモーション事業推進」

シビックプライドの醸成/コミュニティづくり/関係人口・交流人口の創出・拡大など

事業年度・事業費

令和4年度～8年度

80,125千円



美唄まちづくり部



■お問合せ先
美唄市企画財政課企画戦略係
☎ 0126-35-7751
✉ kikaku@city.bibai.lg.jp

三笠市

人口 6,967人 (2026.2)
主な観光ポイント
三笠市立博物館、三笠鉄道記念館、道の駅三笠

ジオパークを活用した地域づくり



教育旅行（炭鉱見学）



ツアー（地層見学）

三笠ジオパーク推進事業

三笠市は、アンモナイト化石、北海道の近代化を支えた炭鉱遺構、石炭や化石が産出する地層など地質と関連した地域資源があり、市内全体がジオパークとして認定されています。これらの地域資源を活用し、ツーリズム、教育活動、地域資源の保護・保全に取り組んでいます。また、これらの活動は産学官民連携して行っております。三笠ジオパークでは、地域の歴史・文化の発信、ツーリズムの展開を担っており持続可能な地域観光づくりを目指しています。

プロジェクト

三笠市地方創生プロジェクト

未利用エネルギー活用事業／高校生「食」のコンクール実施事業／三笠ジオパーク推進事業／北海盆おどり実施補助事業

事業年度・事業費

令和 8 年度

33,336千円



ワークショップ



■お問合せ先
三笠市商工観光課
☎ 01267-2-3997
✉ geopark@city.mikasa.hokkaido.jp

三笠市

人口 6,967人 (2026.2)
主な観光ポイント
三笠市立博物館、三笠鉄道記念館、道の駅三笠

食のまちとしての活気づくり



うまいっしょ甲子園



パティシエロワイヤル

三笠高校生レストラン 調理・製菓の各種コンクールの実施

全国の高校生を対象とした食の料理コンクールを実施し、料理に情熱を注ぐ食のプロを目指す高校生達が競い合い、「食のすばらしさ」を伝えます。

また、北海道内の高校生を対象としたパティシエコンテストを実施し、菓子業界を担う人材発掘、菓子産業の継続的な育成及び発展に繋がります。

高校生の調理・製菓のコンクールを三笠市で開催することにより全国的な知名度獲得と他市町村との差別化を図り、食のまちづくりとして活気を作る取組を進めていきます。

プロジェクト

三笠市地方創生プロジェクト

未利用エネルギー活用事業／高校生「食」のコンクール実施事業／三笠ジオパーク推進事業／北海盆おどり実施補助事業

事業年度・事業費

令和 8 年度

11,881千円



三笠高校生レストラン



■お問合せ先
三笠高校生レストラン統括室
☎ 01267-4-2200
✉ restaurant@city.mikasa.hokkaido.jp

南幌町

人口 8,196人 (2026.2)
主な観光ポイント
南幌温泉ハート&ハート、子ども室内遊戯施設はれっぱ、三重湖公園

30年後も子どもの笑顔があふれる まちを目指して



はれっぱ



中央公園

子育て支援を充実し、住み続けたいまちへ

南幌町は「子育てのまち」として子育て世代の応援に力を入れ、中学生をオーストラリアへ派遣する『国際留学プログラム事業』や、子どもたちの将来の夢を応援するため、プロスポーツ選手やシンガーソングライターなど多方面で活躍される著名人を講師に招き小中学生に講演いただく『プロフェッショナル講演会事業』など、子どもを安心して生み育てられる環境づくりを進めています。

■プロジェクト

若い世代の結婚・出産・子育てを支援する事業

中学生国際留学プログラム/プロフェッショナル講演会/未来につなぐ体験プロジェクト/学校給食費無償化

事業年度・事業費

令和8年度

35,426千円



南幌町



■お問合せ先

南幌町役場まちづくり課企画係

☎ 011-398-7019

✉ kikaku@town.nanporo.hokkaido.jp

沼田町

人口 2,715人 (2026.2)
主な観光ポイント
ほたるの里、ほろしん温泉ほたる館

サテライトオフィス及び ワーケーションの推進



仕事に集中できる
サテライトオフィス



ほたる学習館内の
ワーキングスペース

ワーケーションはぜひ沼田町へ

沼田町では、当町へのオフィス進出のきっかけとしてご利用いただくことができるお試しサテライトオフィスや、自然の中で快適に「ワーク」と「バケーション」の時間を過ごしていただけるワーケーション施設「ほたる学習館」の整備を進めてきました。

これらの施設を活用した、新たな働き方による関係人口の創出・拡大を目指します。

■プロジェクト

地域資源を活かした関係人口の拡大プロジェクト

お試しサテライトオフィス/ワーケーション推進/企業誘致 など

事業年度・事業費

令和2年度～

5,257千円



豊かな自然の中で
ワーケーションしてみませんか



■お問合せ先

沼田町産業創出課

☎ 0164-35-2155

✉ sangyou@town.numata.lg.jp

江別市

人口 117,663人 (2026.2)
主な観光ポイント
EBRI、江別蔦屋書店、ゆめちからテラス

大学生が地域に出会う「ジモ×ガク」



ワークショップー三笠市
「ジオパーク博物館モニター」



イベント参加・運営ー南幌町
「野祭（やさい）」

地域・地元で学び活躍する学生地域定着事業

江別市には、4つの大学があり、約1万人の学生が在籍しています。「ジモ×ガク」では、市内の大学生が、ボランティア活動や企業訪問などに参加し、多様な立場の方とのコミュニケーションや地域との関わりなどを通して、大学の外に出て様々な経験を得られるよう支援をしています。この事業は広域連携事業で、江別市のほかに、赤平市、芦別市、三笠市、栗山町、長沼町、南幌町、由仁町の計8市町を活動地域としています。

プロジェクト

学生地域定着自治体連携事業

大学生の地域イベント参加・運営／ワークショップ参加／企業訪問・インターンシップ など

事業年度・事業費

平成27年度～

3,809千円



企業見学ー江別市
「米澤煉瓦株式会社」



■お問合せ先
江別市企画政策部企画課
☎ 011-381-1015
✉ daigaku@city.ebetsu.lg.jp

新篠津村

人口 2,683人 (2026.2)
主な観光ポイント
たっぷ天文台、ワカサギ釣り体験、農村風景と温泉施設

天文台をキーに交流人口増を！ 地域を元気にする「空のまち」構想



しのつ湖を中心に
温泉施設等がある観光エリア



田に映る星空は農村ならではの景色

立地を活かした新たな観光資源「天体観測」

本村は札幌市から約35km、車で約50分という位置にあり、農村環境を活かした観光体験を通じ交流・関係人口増加を目指す取組を進めています。平坦で視界を遮るものがなく、全域が農地化され山林と比べ危険が少ないといった特徴を活かせる「天体観測」を新たな観光テーマに掲げました。令和5年に大型反射望遠鏡を備えた天文台がオープンしました。天体観測を核にしたコミュニティの醸成による交流人口増を目指しています。またグライダー体験や地域のイベントなど空にまつわる資源を活用する「空のまち」構想で地域活性化を図ります。

プロジェクト

「空のまち」天文台プロジェクト

天文台運営事業／観光特産品開発支援事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～

34,000千円



星空観測体験会には
多くの来場者が集まる



■お問合せ先
新篠津村企画政策課
☎ 0126-57-2111
✉ kikaku1@vill.shinshinotsu.hokkaido.jp

島牧村

人口 1,227人 (2026.2)
主な観光ポイント
賀老の滝 (日本の滝100選)、江ノ島海岸
(日本の渚100選)

2つの100選を誇る自然を舞台に。 村と大学院で創る観光の未来。



道の駅「よってけ！島牧」



道の駅内にサテライトキャンパス設置

島牧村×事業構想大学院大学

令和6年12月、島牧村は地域の人材育成と活性化を目的とし、事業構想大学院大学と10年間の地域連携協定を締結しました。本協定に基づき、日本初となる「地域おこし協力隊員 兼 大学院生」として村へ移住し、観光まちづくりの実践に取り組むプロジェクトを展開しています。隊員は3年間の任期のうち、2年間は同大学院の事業構想修士(MPD)課程で学び、専門スキルを習得しながら村の課題解決に挑みます。自ら事業計画を策定し、現場での実践を通じて将来的な島牧村での起業を目指す、官民連携による持続可能な地域創生の先進モデルとして構築されています。

■プロジェクト

観光振興を軸とした、都市との交流人口の拡大を図る事業

- 自然を活かした環境推進
- 道の駅の拠点化と特産品強化
- 居住基盤の整備と空き家活用

事業年度・事業費

令和8年度

10,000千円 (住宅環境改善支援)



賀老の滝



■お問合せ先
島牧村役場企画産業課
☎ 0136-75-6212
✉ kikaku@vill.shimamaki.lg.jp

ニセコ町

人口 5,613人 (2026.2)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュープラザ

ひと・まち・未来をむすぶ 魅力的な観光地へ



ニセコハロウィン



電動トゥクトゥク

訪れる人から、関わる人へ

ニセコ町の観光の中で、歴史の長い取り組みである「ニセコハロウィン」の充実や「ニセコルール」の周知・広報を行い、ニセコの観光を多くの方へ知っていただくことを目指します。

また、夏の観光コンテンツとして電動トゥクトゥクやレンタサイクル、シェアカーの取組を行うなど、環境にも配慮した観光資源・地域資源を充実させることにより、関係人口・交流人口の創出や地域活性化を図ります。

■プロジェクト

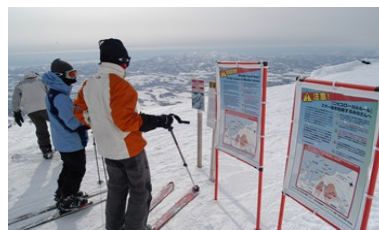
観光振興事業

観光DX・シェアリングサービス推進／
観光イベントへの支援／プロモーションなど

事業年度・事業費

令和4年度～

61,265千円 (令和8年度予算額)



ニセコルール

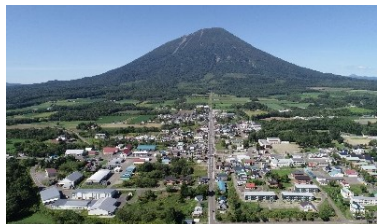


■お問合せ先
ニセコ町商工観光課
☎ 0136-56-8843
✉ kankou@town.niseko.lg.jp

真狩村

人口 1,912人 (2026.2)
主な観光ポイント
まっかり温泉、細川たかし像、フラワーセンターキッズパーク

交流・関係人口や移住者の増加に向けて



羊蹄山を望む真狩村市街地



フラワーセンターキッズパークの様子

ご当地特産品開発支援や創業支援事業で応援

真狩村は、羊蹄山の南麓に位置しており、そこからもたらされる美しい風景や食などの地域資源を活かし、交流・関係人口や移住者の増加に向けた取組を進めています。移住・定住を促す住宅環境の整備や、移住希望者を対象とした村の生活を体験する機会の創出、子育てや教育に関するサービスの充実に加え、交流・関係人口の拡大を図るため、「働く場」の確保のため、ご当地特産品開発支援事業及び創業支援事業など、さまざまな事業を展開していきます。

プロジェクト

交流・関係人口及び移住者拡大プロジェクト

ご当地特産品開発支援事業／創業支援事業／子育て環境整備事業 など

事業年度・事業費

令和7年度～12年度

10,054千円



2023年4月から分譲地販売中
「杜の森 ふれあいタウン」



■お問合せ先
真狩村企画情報課
☎ 0136-45-3613
✉ kikaku@vill.makkari.lg.jp

積丹町

人口 1,611人 (2026.2)
主な観光ポイント
神威岬、島武意海岸、水中展望船

地域資源を活かし、 新しい人の流れをつくる事業



シャコタンブルーを体感できる水中展望船 国内に現存する唯一の第一等不動レンズ

観光振興による交流人口の拡大

観光地域づくり体制を構築し、豊かな自然環境や築かれた伝統文化を観光資源に活かし、交流人口の拡大につなげます。

①滞在期間や対象者の拡大をめざした観光メニューの開発を支援します。

②観光客等を呼び込むための情報発信力を高めます。

関係人口の創出・拡大、移住や企業誘致の促進

関係人口の創出・拡大に努めるとともに、移住や企業誘致を進めます。

①移住や二地域居住、合宿等を促進するための環境整備を進めます。

②企業誘致や起業を促進するための体制整備を進めます。

プロジェクト

地域資源を活かし、新しい人の流れをつくる事業

滞在期間や対象者の拡大をめざした観光メニューの開発を支援する／観光客等を呼び込むための情報発信力を高める等

事業年度・事業費

令和3年度～

99,997千円



北海道民謡「ソーラン節」のふるさと



■お問合せ先
積丹町企画課
☎ 0135-44-2114
✉ kikaku@town.shakotan.lg.jp

室蘭市

人口 73,061人 (2026.2)
主な観光ポイント
地球岬・工場夜景・白鳥大橋

まちの魅力を活かし、 賑わいあふれる室蘭を目指す！



太平洋を見渡す大パノラマ
地球岬



80年以上愛され続けるソウルフード
室蘭やきとり

地域資源を活用し交流・関係人口を拡大

自然や歴史などの観光要素や、白鳥大橋や室蘭港といったインフラ施設、ものづくりを軸とした産学官連携などの魅力的な地域資源を磨き上げ、室蘭を応援したいと思ってもらえるまちづくりにより、新たな交流が生まれる賑わいあふれるまちを目指した取り組みを進めています。

プロジェクト

まちの資源を活かし、新たな交流 を生み出すまちづくり事業

やきとりJAPANフェスティバル開催事業
／地球岬の魅力向上事業／室蘭水族館の
改修・リニューアル事業 など

事業年度・事業費

令和 8 年度

205,520千円



道内最古の室蘭民放みんなの水族館
(市立室蘭水族館)



■お問合せ先

室蘭市企画財政部企画課

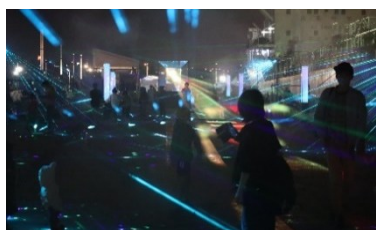
☎ 0143-25-2181

📧 kikaku@city.muroran.lg.jp

苫小牧市

人口 163,722人 (2026.2)
主な観光ポイント
樽前山、ウトナイ湖

交流人口の増加に向けた 「都市再生コンセプトプラン」の実現



新たな賑わいの形を創出した
「TOMAKOMAI MIRAI FEST」



先端技術を活用した
「苫小牧市スマートシティ構想」

Wポートシティの特性を生かした成長戦略

ウォーカブルなまちづくり、ウォーターフロントの魅力発信、次世代産業の展開、人材育成・多文化共生の4つの促進要因によって掲げられた「都市再生コンセプトプラン」。この実現に向け、都市再生コンテンツ創出事業では、TOMAKOMAI MIRAI FESTやレッドイーグルス北海道集客支援等、音楽・食・スポーツの3つの分野で賑わい創出事業を展開します。DXやGXを取り入れた複合ビルの建設や自動運転バス等、より快適な暮らしを目指すスマートシティ構想等といった幅広い分野でコンセプトプラン推進に取り組んでいます。

プロジェクト

苫小牧都市再生コンセプトプラン 推進に係る事業

都市再生コンテンツ創出事業／スマート
シティ／駅周辺ビジョン推進／MICE／
ゼロカーボン など

事業年度・事業費

令和 3 年度～

182,170千円



駅前再整備のイメージパース



■お問合せ先

苫小牧市総合政策部未来創造戦略室

苫小牧市総合政策部観光スポーツ室観光政策課

苫小牧市総務部DX推進室

☎ 0144-32-6157

📧 mirai@city.tomakomai.hokkaido.jp

登別市

人口 42,659人 (2026.2)
主な観光ポイント
登別温泉、カルルス温泉、郷土資料館

友好都市ファボー・ミッドフュン市 との歴史ある交流



事前研修
(デンマーク中学生派遣事業)



現地交流
(デンマーク中学生派遣事業)

市内の中学生を友好都市へ派遣！ 国際社会へ対応できる人材育成！

登別市は市内の中学生を友好都市であるデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、ホームステイによる海外での生活体験等を通じた交流事業を行っています。

国を超えた子どもたち同士の交流や日本と異なる生活・文化の体験を通じ、子どもたちの豊かな人間性と広い視野を育むとともに、国際性豊かな人材の育成に努めています。

プロジェクト

国際性豊かな人材育成

国際理解講座／友好都市等への中学生派遣事業／海外からの訪問団受入れ など

事業年度・事業費

令和 8 年度

4,490千円



結団式
(デンマーク中学生派遣事業)



■お問合せ先
登別市総務部企画調整グループ
☎ 0143-85-1122
✉ kikaku@city.noboribetsu.lg.jp

平取町

人口 4,360人 (2026.2)
主な観光ポイント
二風谷コタン、幌尻岳、義経神社

寮を核に、学びと地域がつながる



平高祭でのアイヌ古式舞踊披露



独自設定科目「アイヌ文化」

寮が、地域の交流拠点に

平取町にある唯一の高校「北海道平取高等学校」は、令和 6 年度入学生から全道・全国を対象に生徒募集を開始しています。平取町は、町外からの進学希望者を安定的に受け入れられる環境を整え、高校の魅力向上と持続的な運営を目指しています。町が主体となり、最大40名が入寮できる地域共生型の高校生寮を新築し、寮内には地域住民と高校生が日常的に交流できる共用スペースを整備する計画です。学生が不在となる平日昼間等は一般開放し、地域イベントやワークショップの拠点として活用します。卒業後の定住や関係人口の拡大につながる学びと交流を育みます。

プロジェクト

学びと交流で関係人口を育む高校 魅力化プロジェクト

地域共生型高校生寮整備事業／高校魅力化プロジェクト事業／平取高校対策事業

事業年度・事業費

令和 8 年度

523,489千円



地域共生型高校生寮 完成予想図



■お問合せ先
平取町まちづくり課地域戦略係
☎ 01457-2-2222
✉ chiiki.senryaku@town.biratori.lg.jp

新冠町

人口 4,928人 (2026.2)
主な観光ポイント
レコード館、サラブレッド銀座、判官館森
林公園

新冠町へひとの流れをつくるまちづくり



レコード館入口



レコード館内町内イベント

多様な人材の誘致による地域の活性化

馬がいる風景や豊かな自然、夏は涼しく冬は温暖という魅力的な地域資源を活かし、観光施設の充実による交流、関係人口創出や定住移住の促進に取り組めます。

プロジェクト

新冠町への人の流れをつくるまちづくり事業

観光施設の充実／移住定住の促進 など

事業年度・事業費

令和6年度～

47,026千円



新冠大壁画



■お問合せ先

新冠町企画課まちづくりグループ企画係

☎ 0146-47-2498

✉ teijyu@niikappu.jp

様似町

人口 3,660人 (2026.2)
主な観光ポイント
アポイ岳、親子岩ふれ愛ビーチ

アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり



ジオツアー



異業種交流会

ジオパークを核とした持続可能なまちづくり

アポイ岳を核心地域とする様似町は「アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク」として、平成27年11月にユネスコ世界ジオパークに認定されました。

ジオパークは、貴重な地質遺産の保全とそれを活かした持続可能なまちづくりを行うことを目的としており、地域資源の啓発やガイド養成、観光まちづくりセミナーや異業種交流会の開催などにより、地域の人材育成に取り組むとともに、ジオツアーの造成や海外プロモーションを通じ、滞在型観光客の増加を図るなど、ジオパークを核とした総合的なまちづくりを実践しています。

プロジェクト

観光客誘致・人材育成事業

ジオパークガイド養成事業／ジオツアーの実施／情報発信ツールの整備・拡充 など

事業年度・事業費

平成30年度～

6,000千円（予定）



アポイ岳保全事業（ドリームプロジェクト）



■お問合せ先

様似町企画調整課

☎ 0146-36-2122

✉ kikakutouseika@samani.jp

新ひだか町

人口 19,785人 (2026.2)
主な観光ポイント
二十間道路桜並木、三石海浜公園

「二十間道路桜並木」の感動の世界へ



北海道遺産「二十間道路桜並木」



若木の植樹

桜並木の計画的な保存・整備

新ひだか町の「二十間道路桜並木」は、幅36メートル（二十間）、長さ7キロメートルを誇り、町のシンボルであるとともに、花見シーズンには全国から多くの観光客が訪れます。しかし、桜の多くは樹齢100年を超え、自然災害による倒木や害虫被害などで本数が減少しており、桜並木全体の抜本的な整備が必要な状況です。

新たな桜の見どころをつくりだし、将来にわたり訪れる皆様に感動していただけるよう、計画的な保存・整備を進めていきます。

プロジェクト

二十間道路桜並木樹勢回復事業

老木の管理／若木の植樹 など

事業年度・事業費

令和8年度～

各年度6,000千円



外科処置後の整形



■お問合せ先

新ひだか町総務部まちづくり推進課

☎ 0146-49-0294

📧 keizai@town.shinhidaka.lg.jp



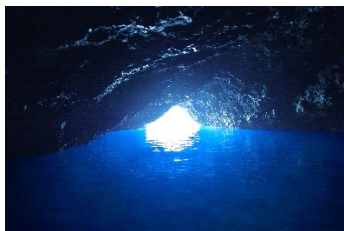
福島町

人口 3,257人 (2026.2)
主な観光ポイント
横綱記念館、青函トンネル記念館、岩部クルーズ

まちを訪れる人を増やし、 交流や移住を促進する事業



岩部クルーズ



青の洞窟

手つかずの自然や観光資源を核として、交流人口の拡大を目指す

岩部地区の「山」「川」「海」といった手つかずの自然やリニューアルした道の駅等、既存の地域資源や観光資源を核としながら、本町を訪れる人を増やし、地域経済を活性化させるとともに、交流人口を拡大させます。また、移住に必要な住宅環境や情報提供等を充実させ、移住を促進します。町外に居住している方で、「本町を応援している方」、「本町に興味を持っている方」、「本町に魅力を感じている方」等、本町と多様に関わる「関係人口」を増やし、交流の入り口を拡大します。

プロジェクト

福島町まち・ひと・しごと創生推進事業

岩部海岸わくわくクルーズ事業、アニメツーリズム推進事業

事業年度・事業費

令和7年度～9年度

119,300千円



横綱千代の山・千代の富士記念館



■お問合せ先

福島町企画課

☎ 0139-47-3007

📧 kikaku@town.fukushima.hokkaido.jp

長万部町

人口 4,586人 (2026.2)
主な観光ポイント
おしゃまんべ公園、あやめ公園、写万部山

東京理科大学と連携したまちづくり事業



東京理科大学



毛がにまつり

大学生と共に、地域の賑わいをつくりたい

新型コロナウイルスの影響により、北海道長万部キャンパスの利用が3年間休止されていましたが、2023年度より再開され、街には活気が戻りつつあります。整備が進む北海道新幹線長万部駅の存在なども活かしながら、自然資源や地理的資源などを最大限活用し、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

プロジェクト

東京理科大学と連携したまちづくりプロジェクト

東京理科大生への生活環境支援・大学と連携した町内外から参加できるイベントづくり

事業年度・事業費

令和8年度

23,004千円



長万部町



■お問合せ先

長万部町役場まちづくり推進課

☎ 0137-7-2-2450

✉ m.s-k@town.oshamambe.lg.jp

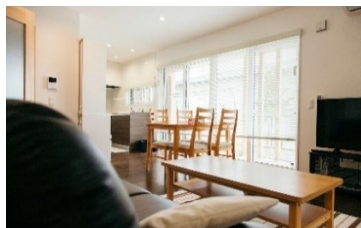
厚沢部町

人口 3,184人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅あさぶ、レクの森

次の100年を創造する 地域の家族と繋がりをつくる保育園留学



豊かな自然環境に恵まれた
認定こども園「はぜる」



Wi-Fi完備の移住体験住宅

保育園留学による超長期的な関係人口創出へ

厚沢部町は、「世界一素敵な過疎のまち」を目指し、地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる「保育園留学」を実施しています。「保育園留学」は、1週間から3週間、子どもが保育園に通いながら家族で地域に滞在し、滞在先でのテレワークや農作物の収穫体験などができる新たな暮らし体験です。

家族ぐるみの超長期的な関係人口を創出し、今後は保育園留学の更なる推進と受入施設の増設や空き家の活用等を展開し、「子ども」「子育て家族」「過疎地域」にとってよりよい未来を目指します。

プロジェクト

100年後のまちの未来をつくる 「保育園留学」

ワーケーション推進事業／子育て移住促進事業／保育園留学の寮整備事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～8年度

195,343千円



アスパラ収穫体験の様子



■お問合せ先

厚沢部町政策推進課

☎ 0139-64-3312

✉ s-seisaku@town.assabu.lg.jp

中富良野町

人口 4,362人 (2026.2)
主な観光ポイント
町営ラベンダー園、ファーム富田

観光入込客数の増加や農産物のPR



夏の北星山ラベンダー園



初冬の北星山ラベンダー園
(この後スキー場になります)

夏季集中型の観光から通年型観光へ

中富良野町では、十勝岳連峰の雄大な景観と富良野盆地に広がる田園風景やラベンダー等の観光資源に恵まれ、年間100万人もの観光客が訪れています。

冬季を含め年間を通じてより多くの観光客にお越しいただき、その効果が地元経済へ波及するよう、テレワーク施設を整備し、テレワーク・ワーケーションによる関係人口の創出、地域事業者の活性化に繋がりたいと考えています。

プロジェクト

地域に広げる観光の波及効果

新たな観光拠点の整備／ご当地グルメ・特産品の開発／サイクルツーリズムの推進 など

事業年度・事業費

令和4年度～

578,089千円



個人利用向けテレワーク施設



■お問合せ先
中富良野町企画課
☎ 0167-44-2123
✉ kikaku@nakafurano.jp

剣淵町

人口 2,691人 (2026.2)
主な観光ポイント
絵本の館、アルパカ牧場、道の駅

「絵本の里」を次代につなげる人づくり



絵本の館内観



絵本の館外観

人の流れや活力を感じる地域をつくります

剣淵町が37年間続けてきた絵本の里づくりを次代につなげるため、令和7年に全国初となる「つなぐ、ひろげる剣淵町絵本の里づくり条例」を制定しました。

絵本の館にある作家さんからお預かりした大切な原画をより良い環境で維持保管すること、より多くの方々にご鑑賞いただける環境を整え、地域の魅力を高めます。

この魅力を町に訪れる人に伝え、次代に人をつなげます。

プロジェクト

「絵本の里」を次代につなげる人づくり事業

「絵本の里けんぶち」をさらにひろげ、人づくりや地域活性化、観光・交流や移住を促進する事業

事業年度・事業費

令和8年度

5,000千円



ゆるキャラ ぷっちな



■お問合せ先
剣淵町総務課企画財務広報グループ
☎ 0165-26-9021
✉ kikaku@town.kembuchi.lg.jp

中川町

人口 1,256人 (2026.2)
主な観光ポイント
中川町エコミュージアムセンター

中川町空き家とDXを活用した 関係人口創出事業



調印式 (2023.11)



空き家改修

地域の空き家を多拠点居住施設として整備し、 関係人口を呼び込みます！

令和5年11月、中川町は多拠点生活プラットフォームサービス「ADDress」を展開する株式会社アドレスと、地域の空き家等の利活用に関する包括連携協定を結びました。同協定に基づき、町内に多拠点居住施設を開発するための委託事業を3カ年計画で実施しています。

令和7年度までに4件の空き家改修が行われ、地域の空き家の流動化を促進するとともに、サービスの利用者と地域住民との交流イベントを企画し、関係人口の拡大を図ります。

プロジェクト

中川町空き家とDXを活用した関係人口創出計画

地域の空き家等の遊休物件を活用して多拠点居住を促進する

事業年度・事業費

令和6年度～8年度

49,993千円



DIYワークショップ

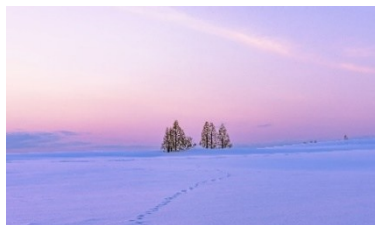


■お問合せ先
中川町地域振興課
☎ 01656-7-2819
✉ nakagawa-chiikishinko@town.nakagawa.hokkaido.jp

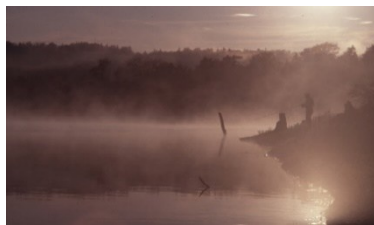
幌加内町

人口 1,194人 (2026.2)
主な観光ポイント
そばの作付面積・生産量日本一、朱鞠内湖、
日本最寒地記録マイナス41.2度

ニッチな場所で ワーケーションしてみませんか？



広大な雪原



朝もやフィッシング

寒い場所だけど熱い人たちがいる

幌加内町は、人口約1,200人弱の小さな町ですが、サテライトオフィスを2箇所つくりました。人口減少を少しでも遅らせたい、新たな出会いを求めて、交流人口・関係人口を作り、移住者が増えて欲しいとの思いから、事業をスタートさせました。しかし、そのうち一か所には、訪れた人に宿泊してもらえる場所が不足しており、宿泊場所の建設・管理運営をしていただける事業者が必要な状況です。

プロジェクト

ワーケーションプロジェクト事業

ワーケーション等の宿泊施設／建設、管理運営／ワーケーションプロモーションなど

事業年度・事業費

令和8年度～

10,000千円



そば打ち体験



■お問合せ先
幌加内町地域振興室
☎ 0165-35-2121
✉ soumu1@town.horokanai.hokkaido.jp

遠別町

人口 2,164人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅「えんべつ富士見」、旭温泉、富士見ヶ丘公園

新しい「富士見ヶ丘公園」を目指します！



富士見ヶ丘公園



富士見ヶ丘公園（バンガロー）

旭温泉のリニューアルも検討！

遠別町は、本島最北の稚内市から約90km南下した、北海道の左上に位置しており、農業・漁業の一次産業が主体で、利尻島を背景に日本海に沈む夕日が美しいまちです。老朽化した設備の改廃が課題となっている「富士見ヶ丘公園」や、鉱山関連施設を含む全体的な老朽化により維持管理に課題を抱えている「旭温泉」の再整備を検討し、地域経済の好循環を目指します。

日々暮らす中で疲れたときは、自然の中で身体を休め、心身ともにリフレッシュできる遠別町へ。企業の皆様のご支援とご利用をお待ちしています。

プロジェクト

富士見ヶ丘公園等再編事業

公園施設の撤去／バンガローの新設／旭温泉のリニューアル検討 など

事業年度・事業費

令和8年度～

5,324,000千円



旭温泉（外観）



■お問合せ先
遠別町まちづくり推進課
☎ 01632-9-7772
✉ kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp

豊富町

人口 3,415人 (2026.2)
主な観光ポイント
利尻礼文サロベツ国立公園、大規模草地牧場、兜沼公園

日本にただ1つの奇跡の湯！ 関係人口の創出・拡大に向けた温泉振興



町営ふれあいセンター



湯の杜ぼっけ

温泉湯治による健康づくりと地域活性化

日本最北の温泉郷「豊富温泉」の泉質は油を含んだ温泉でアトピーや乾癬などの皮膚疾患に効能が高いといわれ、豊富温泉の効能を求め全国から湯治客が訪れています。豊富温泉のもつ高い効能は皮膚疾患に悩む方々から「奇跡の湯」とも呼ばれ、油を含んだ泉質は世界には2つ、日本にはただ1つともいわれるほど希少な温泉です。

地域特有の資源である豊富温泉の振興を進め、湯治によるヘルスツーリズムの推進から関係人口創出と地域の活性化を図ります。

プロジェクト

最北の温泉郷豊富温泉振興プロジェクト

元気な湯治プロジェクト事業／観光産業育成補助事業／地域資源活用総合交流促進施設運営事業／ふれあいセンター運営事業

事業年度・事業費

令和7年度～

70,000千円



奇跡の湯「豊富温泉」



■お問合せ先
豊富町総務課地域振興室地域振興係
☎ 0162-82-1006
✉ soumuka@town.toyotomi.hokkaido.jp

礼文町

人口 2,143人 (2026.2)
主な観光ポイント
澄海岬、北のカナリアパーク

島への新しいひとの流れをつくる



澄海岬



北のカナリアパーク

関係人口拡大や移住定住促進を図ります

地域おこし協力隊の採用、都市部・他地域との交流、特産品や観光イベント参加による地域PRを通じ、地域と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図るほか、移住定住・交流拠点施設やポータルサイトにおいて、町内の求人や空き家等の「しごと」「住まい」「暮らし」の情報発信を行い移住・定住を図るなど、関係人口の創出・拡大や国内外に向けた情報発信により、観光客や移住者の増加を図るとともに、若者が定着する拠点として、新しい人の流れを創出します。

プロジェクト

島への新しいひとの流れをつくる事業

持ち家住宅への支援事業／移住定住の環境整備／公営住宅整備事業／関係人口の創出拡大 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

160,000千円



移住定住・交流拠点施設「袋洞」



■お問合せ先

礼文町総務課企画係

☎ 0163-86-1001

✉ kikaku@town.rebun.hokkaido.jp

利尻富士町

人口 2,064人 (2026.2)
主な観光ポイント
利尻礼文サロベツ国立公園

関係人口拡大、移住・定住促進事業



町内初の民間賃貸住宅



移住・定住促進住宅（町営）

移住・定住需要の増加を見据えた取組の拡充

利尻富士町では、移住・定住の促進に向け、当該分野に関わる地域おこし協力隊の採用や、住宅整備などを進めており、近年は、リゾートバイトやモニターツアーを通して、島での生活を体験した若者が、そのまま移住を希望する例も見られています。

今後も移住の需要は増えることが予想されるため、U・I・Jターンを含めた移住希望者を対象としたポータルサイトの開設、事業の展開などにより取組の拡充を図りたいと思いますので、企業の皆様のご支援をお待ちしております。

プロジェクト

移住・定住促進事業

移住・定住ポータルサイトの設立・運営／移住後のコミュニティづくりのサポート／移住・定住促進住宅の整備

事業年度・事業費

平成30年度～

205,527千円



ペシ岬から望む「利尻富士」



■お問合せ先

利尻富士町企画政策課

☎ 0163-82-2850

✉ kikaku@town.rishirifuji.hokkaido.jp

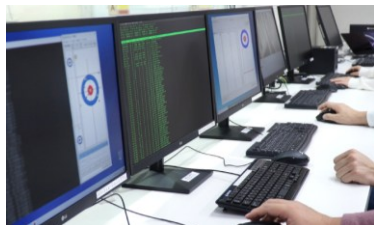
北見市

人口 107,765人 (2026.2)
主な観光ポイント
ハッカ記念館、ピアソン記念館

トップアスリートのニーズに対応する 先導的なカーリングホールの活用



アルゴグラフィックス北見カーリングホール



最先端の競技力向上支援システム

合宿関連産業への経済波及効果を期待

北見市では、地域資源であるカーリングを活用した地方創生を推進しています。令和2年10月には、北見工業大学の最先端スポーツ科学研究を実用化した高度な競技力向上支援機能を有する先導的な施設「アルゴグラフィックス北見カーリングホール」がオープンしました。

当施設を活用し、合宿誘致や体験型観光、北京オリンピックで銀メダルを獲得した女子チーム「ロコ・ソラーレ」の後進となる人材の育成、国内外大会の開催、小中学校の授業での活用など、カーリングの持続的発展と地域の活性化に向けて様々な取組を進めています。

プロジェクト

地域資源カーリングを活かした交流人口拡大プロジェクト

合宿誘致／国内外大会の開催／人材育成など

事業年度・事業費

令和2年度～

4,000千円



鈴木直道北海道知事もカーリングを体験



■お問合せ先

北見市企画財政部企画課

☎ 0157-25-1103

✉ kikaku@city.kitami.lg.jp

網走市

人口 31,420人 (2026.2)
主な観光ポイント
網走監獄、流氷館、能取岬

観光デジタルファーストで 交流人口を拡大



新鮮な魚介類



牧草ロールと能取岬

観光PR動画等を活用した 広告配信による観光プロモーション

網走市は、新鮮な魚介類の宝庫であるオホーツク海に面し、国の重要文化財の博物館網走監獄を有しています。雄大な自然景観や味覚、歴史・文化などの観光資源を活かした動画の作成や、デジタルマーケティングに基づくターゲットに応じた国内外への広告の配信を実施し、幅広いアプローチを図ります。

プロジェクト

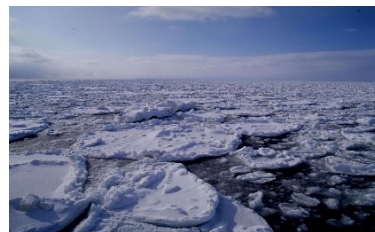
観光デジタルプロモーション・マーケティング事業

広報配信

事業年度・事業費

令和5年度～8年度

89,262千円



オホーツク海の流氷



■お問合せ先

網走市企画総務部企画調整課

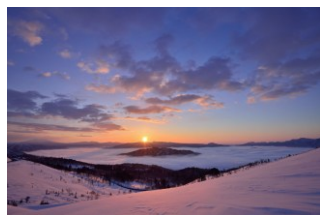
☎ 0152-67-5380

✉ ZUSR-KS-KIKAKU-KIKAKU@city.abashiri.hokkaido.jp

美幌町

人口 16,768人 (2026.2)
主な観光ポイント
美幌峠、美幌みどりの村森林公園

美幌町まち・ひと・しごと 創生推進に関する事業



美幌峠



WorkingSpace KITEN

高い持続性と自立性を保った 魅力的な地域社会を目指します

美幌（びほろ）町の住みよさや魅力を次世代に向けて高め、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性・自立性を確保していくまちづくりを目指し、事業に取り組んでいます。

目標実現にご賛同いただける企業様をお待ちしております！

プロジェクト

「びほろ」らしさを活かしてひとを 呼び込む・呼び戻す事業

移住相談窓口の整備／移住促進・住環境
による転出抑制支援／関係人口の創出・
拡大／若者支援 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度



■お問合せ先
美幌町総務部政策推進課
☎ 0152-77-6529
✉ seisakug@town.bihoro.hokkaido.jp

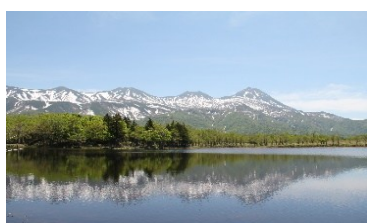
斜里町

人口 10,217人 (2026.2)
主な観光ポイント
天に続く道、知床五湖、プユニ岬

魅力創造で人の流れをつくる事業等



天に続く道



知床五湖

知床サスティナブル海と、森と、人のまちへ

持続可能なまちで有り続けるため、知床の豊かな歴史、人々の暮らし、そして貴重な自然環境の保全といった取り組みで、地域の価値を最大限に引き出す地域ブランディング事業を推進しています。人口減少を受け止め適応できるまちづくりを目指し、地域ブランディングを軸に関係人口創出や移住定住の取り組み「関係人GO!斜里町、北海道」を推進します。

また、人口は減少しても、このまちに住み、生涯にわたって安心して生活したいと思えるよう各公共施設の環境充実を図ります。

プロジェクト

魅力創造で人の流れをつくる事業等

地域ブランディング事業／学校給食センター整備事業／博物館リニューアル／公民館長寿命化改修

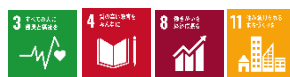
事業年度・事業費

令和7年度～9年度

69,515千円

関係人GO!

斜里町、北海道
Shari town Hokkaido



■お問合せ先
斜里町総務部政策推進課ふるさと納税係
☎ 0152-26-7708
✉ sh.furusato@town.shari.hokkaido.jp

小清水町

人口 4,253人 (2026.2)
主な観光ポイント
小清水原生花園、濤沸湖、藻琴山

小清水町デジタル田園都市構想推進事業



移住体験住宅 外観



移住体験住宅 内観

交流人口拡大&移住定住を後押し

小清水町への移住定住を検討している方に向けた「移住体験住宅」を提供しています。電化製品や家具、消耗品などを全て完備した世帯向けの3LDKを用意し、リアルな“小清水暮らし”を疑似体験することによって、小清水町の魅力を知り、移住後の生活をイメージすることができます。さらに「小清水町住宅取得費助成事業」では、新築及び中古住宅の取得費用の一部を助成しています。また、「こしみずゼロカーボンシティ戦略」と調和を図り、再生可能エネルギーの普及促進&温暖化対策として、住宅用太陽光発電システム等を設置する住宅に対しても一部費用の補助を実施し、移住定住を後押ししています。

プロジェクト

小清水町デジタル田園都市構想推進事業

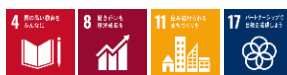
地方に仕事をつくる事業／人の流れをつくる事業／結婚出産子育ての希望をかなえる事業

事業年度・事業費

令和 8 年度
50,000千円



小清水町の風景



■お問合せ先
小清水町企画財政課企画係
☎ 0152-62-4471
✉ kikakumgr@town.koshimizu.hokkaido.jp

西興部村

人口 931人 (2026.2)
主な観光ポイント
森林公園、森の美術館「木夢」

ギター工場等人材確保プロジェクト



フジゲンギターのボディーを製造しています

～村で輝く若い力を一人でも～

当村には、世界的ブランドである「フジゲン」のギターのボディーを製造しているギター工場があります。そこで働く従業員は、ほとんどが村外からの移住者で若い人が多く、小さな村の中でひとときわ輝く存在です。しかし、近年、ギター工場だけでなく、村内の福祉施設などでも担い手不足の状態が続いており、技術の継承や安定した製品・サービスの供給を今後も確保していくことが課題となっていることから、SNSを活用して人材確保にスポットを当てた広告や動画の配信を行い、移住者の獲得を目指します。

プロジェクト

ギター工場等人材確保プロジェクト

SNSを活用して人材確保にスポットを当てた広告や動画の配信を行う

事業年度・事業費

令和 8 年度
23,097千円



西興部村イメージキャラクター
セトウシくん



■お問合せ先
西興部村企画総務課
☎ 0158-87-2111
✉ ni.kikaku@vill.nishiokoppe.lg.jp

音更町

人口 42,157人 (2026.2)
主な観光ポイント
十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

都市との新たな結び付きなどにより、 音更への新しいひとの流れをつくる事業



市街地の様子



広大な農村風景

関係人口の量的拡大・質的向上と 移住・定住の促進

Uターン、進学、就職、住宅取得など様々な機会に応じた転出抑制、転入支援により定住人口の増加に向けた対策を実施するとともに、関係人口の創出に向けた都市と地方の新たな結び付きや人材の交流を促進し、関係人口の拡大に向けて町民、関係機関が連携して取り組み、新たなひとの流れを創出します。

■プロジェクト

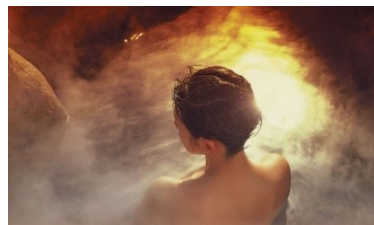
関係人口の量的拡大・質的向上と 移住・定住の促進

宅地の開発／空き地、空き家の有効活用
／高校教育、高等教育の充実 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度

2,600,000千円



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先

音更町企画財政部まちづくり推進課

☎ 0155-42-2111

✉ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

新得町

人口 5,458人 (2026.2)
主な観光ポイント
しんとく新そば祭り、トムラウシ温泉、サ
ホロリゾート

新得らしさを活かして 人を呼び込み・呼び戻す事業



サホロリゾートスキー場



スポーツ合宿

交流人口の拡大と新たな人の流れの創出へ

戦略的な観光宣伝と観光客誘致活動、スポーツ合宿及び全国大会等の誘致、移住情報発信と移住体験、民間アパート整備促進や空き家活用による移住定住対策、地域活性化と移住を促進するための地域おこし協力隊招聘、テレワーク等の受入促進など、関係人口・交流人口の拡大と新たな人の流れの創出を推進していきます。

■プロジェクト

新得ならではの魅力を高め、地域 への人の流れをつくる事業

追加インターチェンジ・道の駅整備事
業／移住定住環境整備事業 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度

3,046,100千円



トムラウシ温泉 東大雪荘



■お問合せ先

新得町地域戦略室地域戦略係

☎ 0156-64-0521

✉ chisen@town.shintoku.hokkaido.jp

芽室町

人口 17,555人 (2026.2)
主な観光ポイント
新嵐山スカイパーク展望台、芽室公園

魅力発掘・創造と発信の取組み 移住定住の促進と関係人口の拡大



広報事業

あなたに届けたい 「シティプロモーション」プロジェクト

○広報事業

町民の皆さまとの情報共有・説明責任・信頼構築のために広報発信力をより強化するため、広報態勢の強化を図る（機器の充実：デジタルカメラ購入）。

プロジェクト

あなたに届けたい「シティプロモーション」プロジェクト

広報事業

事業年度・事業費

令和 8 年度

210千円



めむろビジョンマップ



■お問合せ先

芽室町魅力創造課魅力発信係

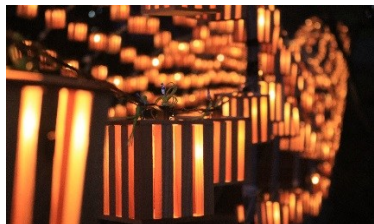
☎ 0155-62-9736

✉ m-hasshin@memuro.net

広尾町

人口 5,718人 (2026.2)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

サンタの森を活用し、 林業振興・交流人口の拡大をめざす！



町産木材のウッドイルミネーション



旧野塚小学校のカフェスペース

町産木材のブランド化と廃校再生に向けて

広尾町の約 8 割を覆う豊かな森林「サンタの森」を活用した二つの事業を展開します。「広尾サンタランドウッドプロジェクト」では、町産木材のブランド「広尾サンタランドウッド」の利用促進や価値向上、ゼロカーボンの実現に取り組めます。「集いの杜プロジェクト」では、廃校となった小学校を、広尾町ならではの体験活動やワーケーション等ができる複合施設へと整備し、笑顔・魅力・やりがいが集まる場所に再生します。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。

プロジェクト

サンタの「杜」・「森」創造事業

広尾サンタランドウッドプロジェクト／
集いの杜プロジェクト など

事業年度・事業費

令和 8 年度

6,347千円



旧野塚小学校の整備作業の様子



■お問合せ先

広尾町企画課企画防災係

☎ 01558-2-0184

✉ k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

広尾町

人口 5,718人 (2026.2)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

広尾サンタランドの魅力を発信、 関係人口の増加をめざす！



大丸山森林公園のイルミネーション イルミネーション点灯式の様子

夢とロマンあふれる、まち全体がサンタランド

広尾町は、サンタの故郷ノルウェーオスロ市から認められた、日本で唯一の「サンタランド」で、令和6年に認定40周年を迎えました。この「唯一」であることの価値を町民が再認識し、町外から来る人も町民も、あらゆる人が楽しむことができるよう、まちぐるみで「サンタランド」の魅力に磨きをかけます。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。

プロジェクト

サンタランドの魅力向上プロジェクト

イルミネーション設置、購入事業／サンタツリー点灯式

事業年度・事業費

令和8年度

28,826千円



観光案内所「サンタの家」の店内



■お問合せ先
広尾町企画課企画防災係
☎ 01558-2-0184
✉ k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

本別町

人口 5,856人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅「ステラ★ほんべつ」、本別公園、神居山展望公園

本別公園魅力創出事業



本別公園全景



本別公園のゴーカート

本別公園ゼロカーボン化への挑戦

年間10万人以上の方が訪れる本別公園は、天然記念物文化財や各種アトラクションが充実しており、一日中ファミリーで楽しめる場所となっています。

今後の本別公園は、訪れる人を楽しませてきた遊具やアトラクションの充実化から脱却し、自然環境と森林資源を活かしたSTEAM教育の実践の場と、リブランディングするキャンプ場を軸にサステナブルな拠点を構築し、交流人口を拡大します。

プロジェクト

本別への新しい人の流れを作る事業

観光入込拠点の整備や地域イベント等による本別の発信

事業年度・事業費

令和8年度～



静山キャンプ場



■お問合せ先
本別町未来創造課
☎ 0156-22-8121
✉ msouzo@town.honbetsu.hokkaido.jp

楽しく遊べて 誰もが居心地の良い公園をつくる！



整備前



整備後

子育て環境の向上と地域の賑わい創出

町内の既存広場は、供用開始当初、充実した遊具や噴水を備え、子どもたちにとって貴重な遊び場として利用されてきたほか、イベント会場としても活用され、地域の賑わいの場として親しまれてきました。

しかし、年月が経過し、施設の老朽化や遊具の減少等により遊び場としての機能は徐々に低下しており、親子や地域住民が集いふれ合う場が失われつつあります。

こうした状況を踏まえ、本広場を公園として再整備することで、親子を始めあらゆる方々が楽しく安全に過ごし、触れ合うことができる環境を整え、子育て環境の向上を図るとともに、地域全体の賑わいを取り戻します！

プロジェクト

(仮称) 茶内ふれあい交流公園再整備事業

インクルーシブ遊具の設置／駐車場新設／
 用地造成／植栽／照明改修／コンテナ設置
 ／トイレ改修／シャワーポール設置 など

事業年度・事業費

令和7年度～9年度

239,800千円



整備イメージ



■お問合せ先

浜中町企画財政課ふるさと創生係

☎ 0153-67-8880

✉ furusatosousei@town.hamanaka.lg.jp

夕張市

人口 5,735人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 夕張市石炭博物館、幸福の黄色いハンカチ
 想い出ひろば

持続可能なまちづくり



市内路線バス



市内線デマンド交通

市民の貴重な移動手段である 公共交通の維持確保を行っています

平成31年4月1日にJR夕張支線廃線後、市民の通院・通勤・登下校などの移動を確保するため、市内路線バスを1日10往復運行しています。路線バスが運行していない一部地区については、デマンド交通やタクシー乗車代金補助制度を実施し、公共交通を確保しています。

また、令和6年度までに全ての市外行路線バスが廃線したことに伴い、市外への通院や買い物、夕張市に観光や帰省される方の移動手段を確保するため、市外線デマンド交通（夕張市～栗山町～長沼町～北広島市）を実施しています。

プロジェクト

事業持続可能なまちづくり

持続可能な交通体系の維持（市内路線バスの維持／市内デマンド交通／市内タクシー乗車代金補助／市外線デマンド交通

事業年度・事業費

令和8年度

146,469千円



市外線デマンド交通



■お問合せ先
 夕張市地域振興課
 ☎ 0123-52-3141
 📧 ybrkai@city.yubari.lg.jp

岩見沢市

人口 72,563人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 いわみざわ公園「バラ園」、メープルロッジ、北村温泉

活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち



ログホテルメープルロッジ



百餅祭りの様子

地域資源を活かした観光の振興

地域DMOである観光協会等と連携し、特色ある観光資源や特産品を道内外にPRするとともに、地域資源を活かした旅行商品の造成等の取組みを進め、メープルロッジや北村温泉などの観光施設への誘客促進を図ります。

また、市内で開催される各種イベントの運営支援を行います。（百餅祭り・ドカ雪まつり・そらちグルメファンドほか）

プロジェクト

観光物産振興事業

観光・物産イベントでの地域特産品の販売及び観光プロモーションの実施／地域事業者との連携による地場商品を使用した特産品、加工品の商品開発 など

事業年度・事業費

令和8年度

50,263千円



宝水ワイナリー
 「雪の系譜シャルドネ（白）」



■お問合せ先
 岩見沢市企画財政部企画室
 ☎ 0126-35-4834
 📧 kikaku@city.iwamizawa.lg.jp

砂川市

人口 14,999人 (2026.2)
主な観光ポイント
北海道子どもの国、砂川オアシスパーク、
砂川ハイウェイオアシス館

安心して暮らし続けられる まちを目指して



砂川市の風景



若年者の地元定着を推進

子育て支援等により、住みやすいまちへ

砂川市は、札幌市と旭川市の間に位置し、緑と水辺が広がる自然豊かなまちです。

「これから住みたい」、「帰ってきたい」、「ずっと住み続けたい」と思えるまちづくりの推進に向け、次の取組を進めています。

- 地域資源を活かした産業・雇用をつくる事業
- 安心して暮らし続けることができる地域をつくる事業
- 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業
- 地域の魅力を高め、ひとの流れをつくる事業

プロジェクト

砂川市まち・ひと・しごと創生推進事業

雇用対策／移住定住の促進／観光振興の推進／妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度
134,915千円



砂川市まちなか交流施設すないる

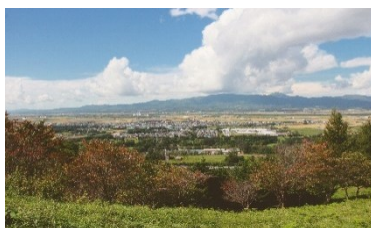


■お問合せ先
砂川市総務部政策調整課企画調整係
☎ 0125-74-8767
✉ kikaku@city.sunagawa.lg.jp

奈井江町

人口 4,581人 (2026.2)
主な観光ポイント
にわ山森林自然公園、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」、奈井江町文化ホール

奈井江版生涯活躍のまち事業



にわ山からの全景



コンチェルトホール

新たな「ひと」の流れをつくる

地元住民をはじめ、関係人口も含めて、誰もが居場所と役割を持ち、多様な人々とのつながりを持ちながら新たな共奏コミュニティを形成します。

このプロジェクトでは、空いた時間で仕事を選んで行う「しごとコンビニ」事業や地域資源を活かした音楽やコミュニティづくりなど一人一人が活躍できる地域づくりを進めます。

プロジェクト

誰もが躍動し 寄り添い集う全世代共奏のまちづくり

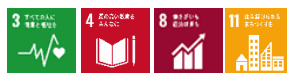
新たな活力を生み出す「しごと」づくり事業／「仕事コンビニ」事業

事業年度・事業費

令和4年度～8年度
589,125千円



しごとコンビニロゴ



■お問合せ先
奈井江町企画財政課政策推進係
☎ 0125-65-2112
✉ kikaku@town.naie.lg.jp

由仁町

人口 4,449人 (2026.2)
主な観光ポイント
ゆにガーデン、ユニの湯、ユニ東武ゴルフクラブ

“小さくてもキラリと輝く”まちづくり



由仁町の風景



デマンドバス

地域を活性化するまちづくりへの取り組み

由仁町は、豊かな自然に囲まれた「都会に近い田舎」です。

安定した雇用の創出、新しい人の流れの創出、結婚から子育てまでの切れ目ない支援、安心・安全な暮らしの確保を目指し、次の取組を進めています。

- 安心して働ける環境をつくる事業
- 由仁への新しい人の流れを創出する事業
- 結婚・出産・子育てを支援する事業
- 安心・安全な暮らしを守り、地域連携を推進する事業

プロジェクト

由仁町まち・ひと・しごと創生推進計画

雇用の創出／人の流れの創出／結婚から子育てまでの切れ目ない支援／安心・安全な暮らしの確保 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度
300,201千円



ゆにガーデン



■お問合せ先
由仁町地域活性課
☎ 0123-83-2112
✉ chiiki@town.yuni.lg.jp

浦臼町

人口 1,533人 (2026.2)
主な観光ポイント
鶴沼公園、いこいの森公園

志と覚悟をもって未来を拓く まちづくり事業



鶴沼公園



幻のメロン「キングメルティー」は
当町一押しの特産品の一つ

町の特色を生かした持続可能な町づくり

浦臼町は、札幌市と旭川市の中間地点に位置する人口およそ1,600人の町です。将来にわたり活力のある町となるために、町の特産品であるメロンやにんにくなどの農産物のブランド化、道の駅「つるぬま」の再整備、小規模自治体だから可能な子育て支援策や移住支援策の充実など、様々なことに取り組んでいます。

プロジェクト

志と覚悟をもって未来を拓くまちづくり事業

地域資源を生かした雇用確保・産業育成／関係人口・交流人口創出事業／若者の家族づくり支援／高齢者や移住者が住みやすい地域づくり等

事業年度・事業費

令和8年度
—



田園風景の中にある「三日月湖」



■お問合せ先
浦臼町総務課企画係
☎ 0125-68-2111
✉ kikakutokei@town.urausu.lg.jp

妹背牛町

人口 2,510人 (2026.2)
主な観光ポイント
妹背牛温泉ペル、遊水公園うらら、妹背牛町カーリングホール

地域特性を最大限に生かした ゼロカーボンシティ事業



公園で遊ぶ子どもたち



導入予定地福祉施設群

カーボンニュートラルの実現を目指します

公共施設への太陽光発電設備等の導入調査により明らかとなった福祉ゾーンへの率先的な太陽光発電導入を進めるために、マイクログリッドの構築に向け、今年度は再生可能エネルギーの設備等の工事に着手し、短期間での導入及び利用推進を目指します。また、災害時には避難所等へ電力供給を行い地域防災力の強化に繋げ、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

プロジェクト

ひとが集う、安心して暮らすことができるまちをつくる

再生可能エネルギーの設備等の導入工事

事業年度・事業費

令和8年度

191,912千円



ソーラーパネル設置イメージ



■お問合せ先

妹背牛町企画振興課

☎ 0164-34-8581

✉ shinkog@town.moseushi.lg.jp

雨竜町

人口 1,986人 (2026.2)
主な観光ポイント
雨竜沼湿原、道の駅「田園の里うりゅう」

子どもたちに夢を、若者に希望を、 お年寄りには安心のもてるまち



雨竜町の田園風景



イベント「暑寒フェスタ」

若者・女性にも選ばれるまちづくりを目指して

雨竜町は、札幌市と旭川市のほぼ中間に位置するのどかな田園風景と、豊かな自然が広がるまちです。人口減少が進む中において、持続可能で豊かな社会の実現に向け、次の事業を進めることとしています。

- 安心して働き、暮らせる生活環境の創生事業
- 付加価値創出型の新しい地方経済の創生事業
- 都市と地方の交流等の創生事業
- 新時代のインフラ整備とAI・デジタル等の新技術の創生事業

プロジェクト

第3期雨竜町創生推進事業

産業・観光振興／移住・定住の促進／出産・子育て支援／デジタル化の推進／交流・関係人口の拡大 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度



国定公園「雨竜沼湿原」



■お問合せ先

雨竜町総務課企画財政担当

☎ 0125-77-2211

✉ kikakuzaisei@town.uryu.hokkaido.jp

千歳市

人口 96,958人 (2026.2)
主な観光ポイント
支笏湖、新千歳空港、サケのふるさと千歳水族館

賑わいの創出と地域の活性化を図る事業



まちライブラリー



ワークショップ開催時の様子

人と人の関わりがつくる本棚

千歳市街地の重要な憩いの場・交流の場である「まちライブラリー」を運営し、賑わいの創出と地域の活性化を目指します！

蔵書数は約14,700冊で、北海道の作家や自衛隊関連の本のコーナーを設けるなど、千歳ゆかりの本が充実しているのが特徴です。

Wi-Fiを整備しているほか、キッズスペースやドリンクコーナーもご用意しており、お子さんに本を読み聞かせたり、勉強やワークショップが出来たりと、市内有数の交流の場となっております。

プロジェクト

まちなか地域交流推進事業

まちライブラリーの運営

事業年度・事業費

令和8年度

31,619千円



支笏湖



■お問合せ先
千歳市企画部企画課地方創生推進係
☎ 0123-24-0452
✉ seisakusuishin@city.chitose.lg.jp

恵庭市

人口 70,116人 (2026.2)
主な観光ポイント
花の拠点（はなふる）

アプリを使ったつながるまちづくり



公式ポータルアプリ えにわっか



花の拠点 はなふる

異なる分野をつなげる一体的な施策展開

恵庭市では公式ポータルアプリを開発し、① 観光、② 市民生活、③ 経済、④ まちづくり、4つの異なる施策をつなげ、楽しみながら歩く工夫により、効果的な健康増進に取り組み、持続可能なまちづくりを目指しています。

- 通年で全世代が参加できる仕組みによる体力・健康増進
- 歩く環境の更なる充実、自転車活用による環境負荷低減
- マイクロツーリズムによる地域経済循環の創出
- 交流人口、関係人口の増加による更なる魅力の拡充

プロジェクト

恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

事業年度・事業費

令和8年度

7,237千円



公式ポータルサイト ロゴ



■お問合せ先
恵庭市企画課企業版ふるさと納税担当
☎ 0123-33-3131
✉ kikaku@city.eniwa.hokkaido.jp

石狩市

人口 56,601人 (2026.3)
主な観光ポイント
道の駅石狩「あいーど厚田」、はまなすの丘公園、浜益温泉

産業と共に成長する 一人ひとりに寄り添った住みよいまちへ



石狩湾新港



子育て関係事業

企業誘致と移住定住の事業を展開

石狩市は札幌市に隣接し、都市の便利さがありつつも、日本海、石狩川など豊かな自然に恵まれたまちです。脱炭素社会の実現に向けた取組や、道内最大級の工業団地である石狩湾新港地域の発展を進めるほか、子育て施策にも力を入れ、地域で暮らす住民にとって住みよい街になるように次の取組を進めています。

- 人のつながりが街の愛着につながるまちづくり事業
- 街の魅力が市民の誇りとなるまちづくり事業
- 将来にわたり石狩市に住み続けられる安心感醸成に関わる事業
- 安心して子育てができる環境整備に関わる事業

プロジェクト

地方創生推進プロジェクト

観光／移住定住／子育て／企業誘致／地域公共交通／文化芸術／スポーツ

事業年度・事業費

令和 8 年度

104,686千円



観光デジタルマップ



■お問合せ先
石狩市企画政策部企画課
☎ 0133-72-3161
✉ kikaku@city.ishikari.hokkaido.jp

黒松内町

人口 2,316人 (2026.2)
主な観光ポイント
歌オブナ林、黒松内温泉「ぶなの森」

訪れたくなるまちをつくる



道央と道南を結ぶ交通拠点でもある
道の駅くろまつない



大人気のドイツパン風ピザ

まちの顔となる「道の駅」のリニューアル

黒松内町の観光の拠点施設である「特産物展示販売施設道の駅くろまつない トワ・ヴェールII」は開館から25年余りが経過し、手作りパンやピザなどここでしか味わえないオリジナルの特産品が大好評です。

しかし、施設の老朽化が進んでいることや、コロナ禍におけるニューノーマルを踏まえた新たな対応が求められていることから、全面的なリニューアルを行い、これまで以上に観光客や地域住民が集まり交流人口が拡大し、町の活性化に寄与する施設として整備します。

プロジェクト

ブナ里ビレッジプライドプロジェクト

道の駅くろまつないの大規模改修 など

事業年度・事業費

令和 7 年度～13年度

3,000,000千円（概算）



黒松内町の農村の風景



■お問合せ先
黒松内町企画環境課
☎ 0136-72-3376
✉ kikaku@town.kuromatsunai.hokkaido.jp

蘭越町

人口 4,170人 (2026.2)
主な観光ポイント
大湯沼、幽泉閣など

まちに住むひと・訪れる人を増やす事業



蘭越町風景



幽泉閣

観光資源活用と生活環境整備による 交流人口増大を推進します

国内外からの観光客誘致を図るため、町内の観光資源の活用・整備を進めるとともに、町でおもてなしの主体となる団体・人材の育成を図ります。また、広域的な観光ネットワークを設定することで、周辺都市の観光客を本町に呼び込む仕組みを確立させます。さらに、町内の商業機能・医療機能の充実に努める一方で、地域の実情に応じた公共交通サービスの維持・充実に努めることで、町内の生活環境の向上を図るとともに、公共住宅等の建設、空き家等の活用により、町外からの定住促進戦略を推進します。

プロジェクト

せせらぎまつり開催事業

川を活かしたアクティビティや地域事業者の出店など、幅広い世代が楽しめるイベントを計画し、観光客誘致を図る

事業年度・事業費

令和 8 年度

8,000千円 (予定)



せせらぎまつり



■お問合せ先

蘭越町商工労働観光課

☎ 0136-55-6736

✉ kankou@town.rankoshi.lg.jp

ニセコ町

人口 5,613人 (2026.2)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュープラザ

町民や観光客から信頼される 国際リゾート



サイクリング



グリーン・デスティネーションズ
2023シルバーアワード
世界の持続可能な観光地TOP100選
2年連続受賞



人にも自然にも優しい観光地づくり

ニセコ町は、国際観光リゾート地として、また環境モデル都市・SDGs未来都市として、観光分野においても、GSTC (Global Sustainable Tourism Council) が定める世界基準に準拠した持続可能な取組を進めていきます。UNtourismによるベスト・ツーリズム・ビレッジにも選定され、海外・国内の観光客だけでなく、町民からも愛され、信頼される観光地づくりを目指します。

プロジェクト

持続可能な観光地域づくり (GSTC)推進事業

サステナビリティコーディネーター配置・支援／地域事業者の国際認証支援／GSTCコンテンツ造成

事業年度・事業費

令和 3 年度～

7,447千円 (令和 8 年度予算額)



国連世界観光機関 (UNtourism)
ベスト・ツーリズム・ビレッジ選定



■お問合せ先

ニセコ町商工観光課

☎ 0136-56-8843

✉ kankou@town.niseko.lg.jp

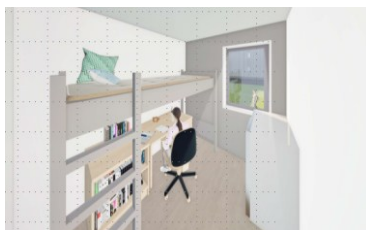
ニセコ町

人口 5,613人 (2026.2)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュー
ラザ

新寮から広がる学びと未来



食堂イメージ図



寮室イメージ図

高校と地域をつなぐ新たな拠点

ニセコ高校は、全国から生徒を募集する「地域みらい留学」を実施しており、域外の生徒が急増しています。ニセコ高校の最高目標である「シビックプライドを持ったグローバル人材の育成」を推進し、新寮をフィールドに地域住民や企業との連携や、デジタル技術を駆使した起業家教育を産官学と協働しながら取り組んでまいります。シナジー効果を生み出すミックスコミュニティ拠点を整備し、地域全体で若者を応援・育成していくことで、域内の就業機会の創出や世代交代の促進を図り、人口流出の抑制や地域の持続的な魅力化発展につなげていきます。

プロジェクト

ニセコ高校新寮整備事業

寄宿舍整備（ユニット部屋、個室、食堂、談話室、自習室、中庭など）

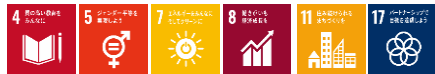
事業年度・事業費

令和7年度～

196,100千円（令和8年度予算額）



ニセコ高校新寮鳥瞰図



■お問合せ先

ニセコ町教育委員会総合教育課高校教育係

☎ 0136-44-2224

📧 koukou@niseko.lg.jp

積丹町

人口 1,611人 (2026.2)
主な観光ポイント
神威岬、島武意海岸、水中展望船

いつまでも住み続けられる 暮らしの場をつくる事業



積丹町生活交通バス「しゃこバス」



高齢者向け介護予防教室の開催

安心な暮らしの確保

健康づくりを促進するとともに、高齢でも安心して住み続けられる生活環境をつくります。

- ①交通、健康、医療などへの不安を緩和します。
- ②自然災害などに対する備えや対策を強化します。

プロジェクト

いつまでも住み続けられる暮らしの場をつくる事業

交通、健康、医療などへの不安を緩和する／自然災害などに対する備えや対策を強化する 等

事業年度・事業費

令和3年度～

2,000千円



IP告知端末機による、町からのお知らせ等の広報や非常災害・緊急事態の周知



■お問合せ先

積丹町企画課

☎ 0135-44-2114

📧 kikaku@town.shakotan.lg.jp

古平町

人口 2,495人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅ふるびらたらこミュージアム、ふる
びら温泉しおかぜ など

古平町デジタル田園都市構想推進事業



道の駅ふるびらたらこミュージアム



特産品「たらこ」

デジ田総合戦略「4つの基本目標」

- ①「人口減少下においても安心して暮らせるまちの実現」
- ②「古平町の産業振興を図り、所得の安定をめざす」
- ③「出産・子育て環境の整備と医療・福祉の充実」
- ④「古平町への新しい人の流れをつくる」

古平町では、人口減少下でも安心して暮らせるまちを目指し、産業振興、子育て・福祉の充実、移住促進、まちの機能再編に関する施策を展開しています。

デジタル技術と地域資源を活用し、持続可能な地域社会の実現と次世代への継承を図ります。

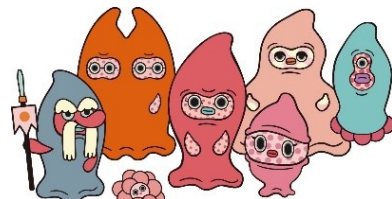
プロジェクト

古平町デジタル田園都市構想推進事業

漁業・農業等の経営・生産基盤の強化／
妊娠・出産への支援 など

事業年度・事業費

令和7年度～10年度



道の駅オリジナルキャラクター



■お問合せ先

古平町総合政策課企画調整係

☎ 0135-48-9836

📧 kikaku.sct@town.furubira.lg.jp

室蘭市

人口 73,061人 (2026.2)
主な観光ポイント
地球岬、工場夜景、白鳥大橋

一人ひとりが幸せを実感できる 持続可能なまちを目指す！



地域防災訓練の開催



企業と連携した持続可能な
廃棄物収集の取り組み

持続可能なまちづくりの推進

多様化する市民ニーズや社会情勢を踏まえ、デジタル等の先端技術の活用により人口減少社会に適応し、医療・商業・交通といった都市機能の維持に取り組むほか、大規模化、頻発化する災害に対応した防災体制の強化を図るなど、一人ひとりが安全・安心に暮らせ、幸せを実感できる持続可能なまちを目指した取り組みを進めています。

プロジェクト

住んでいる人が安心できる持続可能なまちづくり事業

災害救助用物資備蓄整備事業／家庭系
廃棄物収集運搬業務効率化事業／生活交
通路線維持確保バス補助事業 など

事業年度・事業費

令和8年度

74,330千円



公共交通維持確保の取り組み



■お問合せ先

室蘭市企画財政部企画課

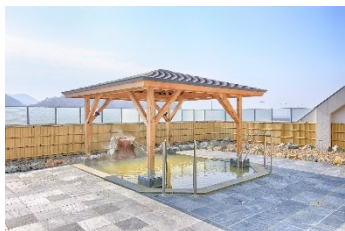
☎ 0143-25-2181

📧 kikaku@city.muroran.lg.jp

豊浦町

人口 3,437人 (2026.2)
主な観光ポイント
天然豊浦温泉しおさい、豊浦海浜公園、小幌駅

人とながり 自然と笑顔あふれるまちへ



天然豊浦温泉 しおさい



小幌駅

どこかなつかしい 賑わいのあるまちを目指す取り組み

豊浦町では、「皆で”共に創り出す”」「困難に”立ち向かう”」「魅力を”集中的に伸ばす”」の3つの姿勢で次の取組を進めています。

- 地域に根差した産業が持続的に発展するまちをつくる事業
- とよらの魅力を高め、まちへの新たな人の流れをつくる事業
- 出産・子育てがしやすく、特色のある教育が受けられるまちをつくる事業
- 地域で安心して暮らし続けられるまちをつくる事業

プロジェクト

豊浦町まち・ひと・しごと創生推進事業

住環境の充実／新商品や加工品の開発・研究の促進／地域防災力の向上／道路・公共交通の充実 など

事業年度・事業費

令和5年度～9年度
700,000千円



豊浦海浜公園



■お問合せ先
豊浦町企画財政課企画係
☎ 0142-83-1422
✉ kikaku@town.hokkaido-toyoura.lg.jp

白老町

人口 14,643人 (2026.2)
主な観光ポイント
ウボポイ、倶多楽湖、虎杖浜温泉

命を守るレジリエンス強化への投資



防災マップ



沿岸部の様子

防災強化と企業責任の実践

白老町は、津波浸水区域に多くの住民が住んでおり、防災強化は喫緊の課題です。防災アプリの導入や情報伝達体制の構築を進め、強靱なまちづくりを推進しています。企業版ふるさと納税を通じた、防災事業への参加は、企業の社会的責任（CSR）を実践しつつ、地域と企業の持続可能性を高めることができます。防災技術の活用で、地方創生とBCPに貢献しませんか。

プロジェクト

住む人が誇れる魅力的なまち事業

スマホ等への緊急情報発信システムの導入／消防力の強化／緊急体制の充実 など

事業年度・事業費

令和7～9年度
7,510,000千円



防災アプリ



■お問合せ先
白老町企画振興部企画政策課
☎ 0144-82-8213
✉ chiiki@town.shiraoi.hokkaido.jp

安平町

人口 7,219人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅 菜の花、ワイナリー

日本一の公教育を目指す町「子どもにやさしいまちづくりプロジェクト」



菜の花畑の真ん中で



豊かな自然の中で生物観察

個性や得意を活かしたワクワクした人生を

安平町は、「公教育」の定義を、学校教育だけでなく、生涯学習や健康福祉の分野も包括した、町全体の環境によってもたらされる営みのことであると捉えています。その環境によって、安平町で暮らす人々が自分の「個性」や「得意」に気づくことができ、それを活かしながら「ワクワク」した人生を送っていただけたと考えています。この目標を達成するために、行政だけではなく民間の志のある皆さんのお力もお借りしながら、町が一体となって各種施策を推進します。

■プロジェクト

子どもにやさしいまちづくりプロジェクト

子どもの社会参画機会の充実・保障／あびら教育プランの推進／部活動の地域移行 など

事業年度・事業費

令和 8 年度

30,961千円



思い切り雪遊び



■お問合せ先
安平町商工観光課
☎ 0145-29-7083
✉ k-yuuchi@town.abira.lg.jp

むかわ町

人口 7,034人 (2026.2)
主な観光ポイント
穂別恐竜博物館・四季の館

むかわファンを増やし、 賑わいと活力を創る事業



ししゃものすだれ干し



むかわ竜全身骨格

人とつながる、笑顔でつながる、未来につながるまちづくりを進めます。

人口減少や産業の担い手不足が進む中、地域資源を活かした持続可能なまちづくりが求められています。恐竜化石や特産品などの魅力を磨き上げ、効果的なプロモーションによる「むかわファン」の拡大や町民のシビックプライドの醸成を図ります。

まちなかの機能強化と賑わい創出を通じて、関係人口・交流人口の創出と地域経済の発展を目指します。

■プロジェクト

むかわファンを増やし、賑わいと活力を創る事業

復興拠点施設等整備事業・特産物振興対策事業・タウンプロモーション戦略推進事業 など

事業年度・事業費

令和 3 年度～

200,000千円



化石発掘体験



■お問合せ先
むかわ町総合政策課企画政策 G
☎ 0145-42-2469
✉ seisaku@town.mukawa.lg.jp

日高町

人口 10,705人 (2026.2)
主な観光ポイント
門別競馬場、日高国際スキー場、沙流川
オートキャンプ場

「日高町まち・ひと・しごと創生推進計画」に沿った各種事業



沙流川オートキャンプ場



日高国際スキー場

地域の強みや魅力を活かした総合的な施策

山・川・海と豊かな自然環境を有する本町に誇りを持ち、住み続けたいと思えるよう、生涯にわたり安心していきいきと生活できる環境づくり、子育て支援、教育環境の充実を継続的に推進します。

また、本町の魅力をPRし、移住・定住につなげるとともに、産業の振興や雇用の創出を目指し地方創生につなげます。

プロジェクト

日高町まち・ひと・しごと創生推進事業

一次産業の振興／子育て支援の充実／住みよい環境づくり／移住・定住施策の推進 など

事業年度・事業費

令和4年度～

各年度100,000千円



移住生活体験ハウス



■お問合せ先

日高町企画財政課

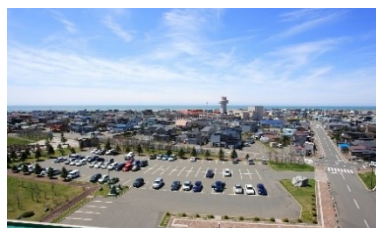
☎ 01456-2-6181

✉ kikaku01@town.hidaka.hokkaido.jp

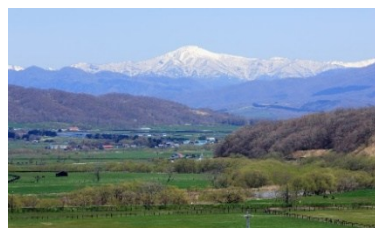
新冠町

人口 4,928人 (2026.2)
主な観光ポイント
レコード館、サラブレッド銀座、判官館森
林公園

思いやりと笑顔あふれるまちづくり



新冠町町並み風景



幌尻岳

多様な連携による地域とひとづくり

企業や住民、他自治体等多様な連携を図り、時代と環境にあった福祉、医療の整備、自然環境の保全や社会基盤、防災等未来に繋がるまちづくりに取り組みます。

プロジェクト

思いやりと笑顔あふれるまちづくり事業

医療施設体制の強化／防災・減災対策／危機管理体制の強化 など

事業年度・事業費

令和6年度～

186,202千円



判官館森林公園



■お問合せ先

新冠町企画課まちづくりグループ企画係

☎ 0146-47-2498

✉ teijyu@niikappu.jp

新ひだか町

人口 19,785人 (2026.2)
主な観光ポイント
二十間道路桜並木、三石海浜公園

「新ひだか町まち・ひと・しごと創生推進計画」に沿った各種事業



創業・事業承継の促進



子育て支援

生涯を通じて住みたいと思える町の実現

雇用の確保・創出の支援、後継者対策、町の魅力発信による交流・関係人口の増加及び結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実など、将来にわたり活力ある地域として発展し、この町で暮らす人々が暮らしに幸福と充実を感じ、生涯を通じてこの町に住みたいと思えるまちづくりを目指します。

- 新ひだか町の未来をけん引する人づくり事業
- 新ひだか町の魅力発信と町に関わる人づくり事業
- 未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくり事業
- 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり事業

プロジェクト

新ひだか町まち・ひと・しごと創生推進事業

創業・事業承継の促進／移住・定住施策の推進／子育て支援の充実／地域内公共交通の高度化／住みよい環境づくり

事業年度・事業費

令和 8 年度

628,000千円（予定）



デマンド交通事業



■お問合せ先

新ひだか町総務部まちづくり推進課

☎ 0146-49-0294（直通）

📧 Keizai@town.shinhidaka.lg.jp



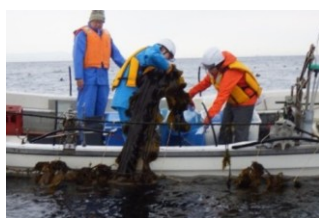
函館市

人口 232,014人 (2026.2)
主な観光ポイント
函館山、西部地区、五稜郭

都市ブランドの向上により 世界から注目されるまちHAKODATEをめざす



函館の夜景



持続可能な漁業の推進

都市の魅力を一層高め、市民の幸福度向上を図る

函館市は、歴史的町並みや景観・豊かな自然や食など魅力あふれる観光都市です。この魅力を最大限に生かしながら、学びたい・学ばせたいと思える学びの環境整備などの「未来をひらく人が育つ」事業や、若者や女性等多様な人材が働きやすい環境整備、創業支援やDX・GX推進など「働きがいのあるしごとの創出」に取り組むほか、医療福祉の維持やジェンダーギャップ解消等の「健康で充実した生活」に向けた事業や、美しい町並み整備や移住の促進、文化やスポーツの振興を通じた「住むひと・訪れるひとに魅力あるまち」の追求など、周辺市町とも連携しながら、世界から注目される魅力あふれるまちづくりを進めています。

プロジェクト

「函館市まち・ひと・しごと創生推進プロジェクト」

安心・安全な子どもの居場所づくり／持続可能な漁業の推進／エネルギー地産地消／函館港GX・強靱化／文化財の保存・継承／命を守る防災／魅力向上・発信 など

事業年度・事業費

令和 7 年度～11年度

400,000千円



子育て環境の向上



■お問合せ先

函館市企画部計画推進室計画調整課

☎ 0138-21-3694

📧 keikakuchosei@city.hakodate.hokkaido.jp

松前町

人口 5,603人 (2026.2)
主な観光ポイント
松前城と寺町、桜見本園

力を合わせて産業を育てる 活力のあるまちづくり事業



松前城



松前本マグロ

稼ぎ続ける観光、漁業、畜産業

松前町は北海道唯一の城下町として松前城や250種1万本の桜、松前藩の歴史、書の文化など「松前ならではの」コンテンツが多くあることに加え、イカやマグロなどを中心とした水産業、子牛の安定供給や人材育成を目的とした松前町肉牛改良センターにおける畜産業の取組みも実施しています。人口減少や高齢化に伴う人材不足、気候変動の影響による漁獲量の減少などの逆境にあっても、地域経済を支える商工業、観光業、農林水産業などの産業の育成と基盤づくりを、地域住民、企業、団体、行政がともに力を合わせて進めています。

プロジェクト

力を合わせて産業を育てる活力のあるまちづくり事業

デジタル観光推進事業／地域における多様な働き方検討事業／漁業支援総合補助事業／畜産振興事業 など

事業年度・事業費

令和8年度～
130,000千円



肉牛改良センター



■お問合せ先

松前町政策財政課

☎ 0139-42-2275

✉ seisaku@town.matsumae.hokkaido.jp

知内町

人口 3,694人 (2026.2)
主な観光ポイント
北島ギャラリー、矢越クルーズ、北海道最古の温泉

知内町ふるさと創生事業



農業用ドローン



担い手センター

地域ニーズに応じた総合的な施策

知内町では、全国の過疎地と同様に人口減少や少子高齢化が進んでいます。

そのため、地域産業の活性化や人口減少の抑制、生活利便性の向上、移住・定住の促進、就労人口の確保、省エネ機器等の導入促進に向けた取り組みなど、総合的な対策として「知内町ふるさと創生事業」を実施しています。

目まぐるしく変化する時代に対応したまちづくりに向け、ぜひ、ご支援をよろしくお願いいたします。

プロジェクト

ふるさと創生プロジェクト

くらし／産業／子育て／移住定住／再エネ導入促進等に向けた総合的な支援

事業年度・事業費

令和5年度～
38,000千円



知内町（空撮）



■お問合せ先

知内町政策調整課

☎ 01392-5-6161

✉ mono@town.shiruiuchi.hokkaido.jp

七飯町

人口 26,733人 (2026.2)
主な観光ポイント
大沼国定公園、道の駅なないろ・ななえ

地域の魅力を活かし 七飯町らしいまちづくりを！



学校給食地産地消推進事業



中高生海外派遣事業

地域の魅力を活かし七飯町らしいまちづくりを！

七飯町では、農業が盛んな地域特性を活かし、町内の子どもたちに地元産農作物の魅力を知ってもらうため、学校給食へ取り入れる地産地消推進事業に取り組んでいます。

また、町内の中高生を対象に、国際理解の促進とグローバルな視野を持つ人材育成を目的として、姉妹都市であるアメリカ・マサチューセッツ州コンコード町への海外派遣事業も実施しています。さらに観光面では、大沼国定公園を有する強みを活かし、四季を通じた自然アクティビティや祭り、スポーツイベントなど多彩なコンテンツを通じて、観光振興を積極的に進めています。

プロジェクト

七飯町の特性や地域の魅力を活かしたまちづくり

子育て支援／教育／地産地消／国際交流／観光 など

事業年度・事業費

令和8年度～



滞在型観光推進事業



■お問合せ先

七飯町政策推進課

☎ 0138-65-5792

✉ 121-seisaku-c@town.nanae.hokkaido.jp

鹿部町

人口 3,452人 (2026.2)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉、鹿部公園

いつまでも住み続けられるまちづくり



鹿部町役場周辺の様子



地域活動支援センターの様子

誰もが安全・安心を実感して住み続けられる まちづくりを推進する

日常での生活の場や移動手段、健康管理など、高齢に伴い不安が高まる分野において将来を見据えた取り組みを進めています。

また、年齢を問わず、すべての住民がいつまでも安心して住み続けられる・生活し続けられるよう自然災害から生命や財産を守る持続的な取り組みを進めています。

プロジェクト

暮らしへの不安を解消する事業

道路ネットワークの整備／地域活動支援センター活動の支援／地域公共交通体制の整備・運行事業 など

事業年度・事業費

令和8年度

6,000千円



しかバス



■お問合せ先

鹿部町企画振興課

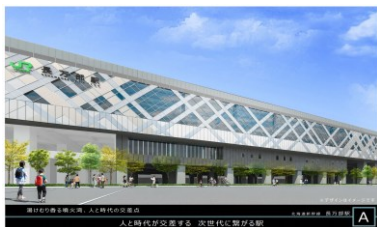
☎ 01372-7-5297

✉ kikaku@town.shikabe.hokkaido.jp

長万部町

人口 4,586人 (2026.2)
主な観光ポイント
長万部公園、あやめ公園、写万部山

避難空間としての防災機能など多機能に備えた駅高架下滞留空間整備事業



新幹線長万部駅デザイン推薦案



長万部町景観

新幹線駅を核とした人を惹きつける魅力あふれるまちづくり

将来、長万部町の顔となる新幹線駅を核として、商店街と駅、公共的な場を統合することにより滞留空間を生み出し、地域交流、観光交流、ビジネス交流等、様々な交流の機会を増やしていきます。

長万部町の将来を支える地元高校や東京理科大学と連携しながら、回遊性の高い居心地の良い空間づくりを目指します。

プロジェクト

新幹線駅を核とした人々の拠り所となる滞留空間作り

多目的滞留空間の整備／災害時の緊急避難場所の確保 など

事業年度・事業費

令和 8 年度

32,840千円



長万部町 町章



■お問合せ先

長万部町まちづくり推進課

☎ 01377-2-2450

📧 m.s-k@town.oshamambe.lg.jp

江差町

人口 6,384人 (2026.2)
主な観光ポイント
かもめ島、江差追分会館、いにしえ街道

海とまちを繋ぐまちづくり「新たな道の駅」を目指して～北の江の島構想～



江差町のシンボルかもめ島と開陽丸



かもめ島ではマリンスポーツが楽しめる

エエ町江差でエエ時間を

【新たな道の駅（拠点施設）を整備】

江差町のシンボル「かもめ島」とその周辺の海は、駐車場からも近く春夏秋に安全に遊べる場所として道南でも数少ない自然豊かな海浜公園です。

拠点施設はその自然環境に加え天候を気にすることなく「子育て世代が日常的に集い、交流し、憩う場」とするべく子どもの遊び場を中心に据えつつ、大人のニーズも捉えた施設とし、親子連れにとって道南エリア満足度ナンバーワンの施設を目指します。

プロジェクト

北の江の島拠点施設整備

海の駅「開陽丸」に新たに道の駅機能を付加した観光拠点・町民が集う施設を整備

事業年度・事業費

令和 7 年度～

2,115,982千円



北の江の島構想による新たな道の駅（イメージ）



■お問合せ先

江差町まちづくり推進課

☎ 0139-52-6712

📧 fumitake.takashima@town.hiyama-esashi.lg.jp

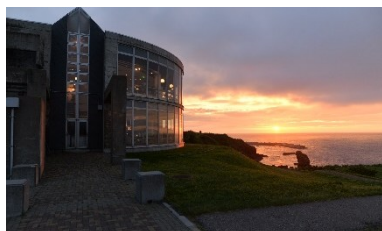
上ノ国町

人口 3,962人 (2026.2)
主な観光ポイント
史跡上之国館跡、道の駅上ノ国もんじゅ、
上ノ国ワイナリー、温泉(湯ノ岱・花沢)

風よ、未来を変えろ ～誰もがしあわせに暮らせるまちへ～



史跡上之国館跡 (勝山館跡)



道の駅上ノ国もんじゅ

上ノ国町の未来に、あなたの企業の力を

北海道上ノ国（かみのくに）町。雄大な山々、清流天の川、そして豊かな海。自然とともに生きてきたこのまちは、今、次世代のまちづくりに向けて大きな一歩を踏み出しています。

その鍵となるのが「GX（グリーントランスフォーメーション）」。「環境と経済を調和させながら、地域に暮らすすべての人が幸せを実感できる社会の実現を目指しています。上ノ国町の挑戦は、小さなまちから始まる大きな変革。GXの力で、人と自然と未来が調和するまちを一緒に育てていきませんか？

プロジェクト

重点政策事業

町の重点施策／風力に関連した実証実験等の誘致／風力関連研修センター、メンテナンス施設、データセンター、その他GX関連施設／企業版ふるさと納税

事業年度・事業費

令和8年度～

1,766千円



上ノ国町 (空撮)



■お問合せ先

上ノ国町総務課政策推進室

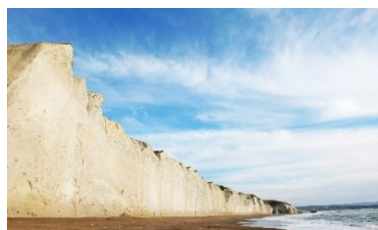
☎ 0139-55-2311

📧 seisaku@town.kaminokuni.lg.jp

乙部町

人口 3,013人 (2026.2)
主な観光ポイント
滝瀬海岸 (シラフラ)、緑桂、元和台海滨公園

住み続けられる魅力あるまちづくり



滝瀬海岸 (シラフラ)



緑桂

持続可能なまちづくりのための総合的な施策

乙部町では「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期乙部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点戦略を推進させることで、少子化対策や地域資源を活用した産業・雇用の場を創出するほか町民が安心して子供を育て、乙部町に住み続けたいという希望を叶えるためのまちづくりを進めています。

プロジェクト

創生総合戦略に基づく事業

地域産業振興対策／企業立地対策／交流・関係人口創出対策 など

事業年度・事業費

令和7年度～9年度

8,200千円



元和台海滨公園



■お問合せ先

乙部町地域振興推進課

☎ 0139-62-2311

📧 kikaku@town.otobe.lg.jp

今金町

人口 4,316人 (2026.2)
主な観光ポイント
クアプラザピリカ、後志利別川

個性と魅力あふれるまちづくり



クアプラザピリカ「キャンプ場」



後志利別川

どこでも誰もが便利で快適に暮らせる地域へ

今金町では「今金町デジタル田園都市国家構想推進計画」を策定し、地域の魅力を活かした産業振興や、次世代を担う子どもたちの育成、安心・安全な暮らしの基盤づくりに注力しております。

主な今金町デジタル田園都市国家構想推進事業

- ①若い世代の子育てを応援する事業
⇒子ども医療費助成事業
- ②新婚夫婦の生活を支援する事業
⇒結婚新生活支援事業
- ③移動手段の確保に苦労している方を支援する事業
⇒デマンドバス運行事業

プロジェクト

今金町デジタル田園都市国家構想推進事業

子ども医療費助成事業／結婚新生活支援事業／デマンドバス運行事業 など

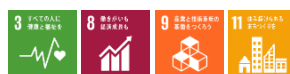
事業年度・事業費

令和6年度～

24,773千円



③デマンドバス運行事業
予約バス「ルンるん号」



■お問合せ先

今金町まちづくり推進課

☎0137-82-0111

✉ imk-koryu@town.imakane.lg.jp

せたな町

人口 6,431人 (2026.2)
主な観光ポイント
太田神社、三本杉岩、親子熊岩

対話・協働・創造のまちづくり



親子熊岩



トラウトサーモンの水揚げ

未来に続く持続可能なまちづくりを推進

地域資源を活かした産業・雇用の創出、地域に住み続けることができる持続的なまちづくりに横断的に取り組むことを目標としており、今後人口減少の傾向は続くものと考えられることから、関係人口の創出、拡大や脱炭素社会への転換といった社会情勢の変化などを的確に捉え、新たな視点も取り入れながら、人口減少が地域に与える様々な影響への対応を進めていくことが求められると考え、人口減少に歯止めをかけるためデジタルの力、企業の皆様の力をお借りしながら、まちづくりを進めてまいります。

プロジェクト

せたな町デジタル田園都市国家構想総合戦略推進事業

せたな町産業活性化補助金事業/スマート農業支援事業/次世代型店舗づくり事業 ほか

事業年度・事業費

令和8年度

36,000千円～



稲刈り



■お問合せ先

せたな町まちづくり推進課

☎0137-84-5111

✉ setana.machidukuri@town.setana.lg.jp

旭川市

人口 311,467人 (2026.2)
主な観光ポイント
さんろく街、旭山動物園、北彩都ガーデン

新時代をリードする 北・北海道の中心都市



多くの飲食店が並ぶ「さんろく街」



eスポーツ施設「ICTパーク」

DX×デザイン×食×医療で北海道を牽引

旭川市は、自然と都市機能が調和した日本最北の拠点都市です。DX・デザイン・食・医療を中心としたまちづくりに取り組んでおり、IT企業進出の支援やICT技術を活用した市民サービスの提供、「ユネスコ・デザイン都市旭川」としてのデザイン思考による産業振興や人材育成、安心安全な地場の農産物を活用した食品加工や市場開拓、医療集積の特長を生かした都市機能の充実など、旭川大雪圏の周辺町と連携して様々な事業を展開しています。

令和5年度に生まれ変わった新庁舎を象徴に、新時代をリードしながら魅力あふれるまちづくりを進めていきます。

プロジェクト

先端技術や地域の強みを活用したまちづくり

IT企業進出支援／デザイン推進／農産物等流通拡大支援／旭川大雪圏プロモーション など

事業年度・事業費

令和8年度

29,045,599千円



新庁舎とともに新時代を歩む



■お問合せ先
旭川市行政DX課
☎ 0166-25-6205
✉ gyoseidx@city.asahikawa.lg.jp

富良野市

人口 19,333人 (2026.2)
主な観光ポイント
フラノマルシェ、ニングルテラス、富良野スキー場

ボンチパウダー推進事業



富良野の特別なパウダースノーを求めて国内外から多くの方が訪れています

雪質定量化と観光資源化の取り組み

富良野市では、パウダースノーの雪質定量化を通して観光資源化する事業を実施しています。

雪の乾湿を表す「雪水比」をもとに「ふわサラ度予測」を公開しています。空から舞い降る雪を数字で表すもので、最大数値を100とし、50を超えると極上のパウダースノー（Furano bonchipowder）が楽しめるとして、2023シーズンから試験的に情報発信しています。

現在、降り積もった雪の定量化に向け、専門家らと検証を進めています。

Webサイト：<https://bonchipowder.com/>

プロジェクト

Furano bonchi powderプロジェクト

専用ウェブサイトで「ふわサラ度」を予測／bonchi powderのブランディング

事業年度・事業費

令和8年度

8,085千円



Furano bonchi powder



■お問合せ先
富良野市経済部商工観光課
☎ 0167-39-2312
✉ kankou@city.furano.hokkaido.jp

鷹栖町

人口 6,385人 (2026.2)
主な観光ポイント
パレットヒルズ

オール鷹栖による 持続可能な地域づくり拠点形成事業



地域運営組織の活動



関係人口との共創活動

小さな拠点の地域づくり

地域社会で地方創生を担う人材育成と、地域の課題を自ら解決していく仕組みづくりを図ります。また、暮らしを支える小さな拠点を形成していく住民の参画力を最大限に発揮する仕組みづくりを図ります。小さな拠点と多様な主体とが、複層的に連携を図って地方創生を進めていくために、民間活力や広域連携、関係人口との関わりを、積極的に推進する地域づくりを実現します。

プロジェクト

小さな拠点における地域課題解決の取組み推進

地域の実情に応じて、拠点ごとに住民協議で計画化した課題解決

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

88,700千円



大雪山を望む田園風景



■お問合せ先

鷹栖町まちづくり推進課

☎ 0166-74-3831

📧 kikaku2@town.takasu.lg.jp

東神楽町

人口 9,635人 (2026.2)
主な観光ポイント
ひがしかぐら森林公園など

東神楽町まち・ひと・しごと 創生推進計画事業



ひがしかぐら森林公園



放課後クラブ「わくわく」

花と大地と笑顔の東神楽 ～次世代に受け継ぐ幸せな暮らし～

「花のまち」の取り組みに加え、健康的に歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり、環境への配慮、デジタル化を進めることにより、持続可能で安全・安心な住みやすい住環境づくりを推進します。このほか、「君の椅子プロジェクト」などの広域的な取り組みを継続することにより地域間の連携を図ります。

プロジェクト

安心な暮らしを守るとともに、地域間連携を図る事業

健康食育タウン・ゼロカーボン推進事業
／育苗センター維持管理事業 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

587,000千円



はなのわガーデン



■お問合せ先

東神楽町まちづくり推進課

☎ 0166-83-2113

📧 kikaku@town.higashikagura.lg.jp

比布町

人口 3,307人 (2026.2)
主な観光ポイント
いちご狩り、ぴっぷスキー場、良佳村エリア

プロスポーツチームと 共に歩むプロジェクト



北海道比布町



VOREAS 北海道

町内各産業の雇用を創出します

比布町ではプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」の運営主体である(株)VOREASと今後のまちづくりを共に進めるパートナーとして協力協定を締結しました。その取り組みの一環として、解体を予定していた旧中学校校舎を「つながる」をコンセプトに文化・教育、食、娯楽などの複合施設として改修を進めており、令和5年4月には小規模保育所が開業しました。
今後も町とVOREASが一体となり、改修事業を加速させ、町民・VOREAS・町外の方が「つながる」ことを実現したいと思っています。

プロジェクト

旧比布中学校改修補助事業

チームの練習拠点及びプロスポーツチームと地域の連携による地域活性化／地域課題の解決

事業年度・事業費

令和3年度～
1,000,000千円



旧中学校校舎

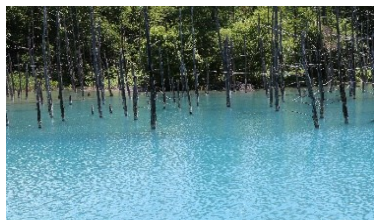


■お問合せ先
比布町総務企画課総合政策室
☎ 0166-85-2111
✉ seisaku@town.pippu.hokkaido.jp

美瑛町

人口 9,124人 (2026.2)
主な観光ポイント
青い池、丘陵風景、拓真館

デジタル技術の活用や観光地整備による 「オーバーツーリズム対策」



青い池



丘の風景

観光と快適な日常生活の共存のために

美瑛町は「日本で最も美しい村」連合設立時の加盟町村の1つであり、農村景観の美しさなどを活かしたまちづくりを進める一方で、いわゆるオーバーツーリズムと呼ばれる観光面での課題を抱える地域でもあります。
青い池周辺の交通渋滞やトイレ不足、観光地での農地等私有地への無断侵入等が問題となっています。混雑状況可視化システムによる混雑の分散化や、農地への無断侵入を予防するAI検知カメラの導入などの対策を行い、美しい丘の風景を作り出している農業と観光を両立した新しい地域のカタチにチャレンジしていきます。

プロジェクト

日本で最も美しい村の「オーバーツーリズム対策」プロジェクト

混雑状況システムの導入・運用／AI侵入検知カメラの導入・運用／駐車場の整備／トイレの整備 など

事業年度・事業費

令和7年度～
84,448千円



混雑状況可視化MAP



■お問合せ先
美瑛町まちづくり推進課
☎ 0166-92-4330
✉ machi@town.biei.hokkaido.jp

留萌市

人口 17,581人 (2026.2)
主な観光ポイント
黄金岬海浜公園、千望台

本格的なアウトドア観光へ！



道の駅るもい



SUP

アウトドア観光を軸に「稼ぐ観光」へ！

留萌地域の持つ特質性、ポテンシャルを最大限発揮させるためには、これまでの海水浴場中心の体験型観光から、本格的なアウトドア観光を軸とした観光事業の転換を図り、恵まれた環境を生かした「稼ぐ観光」にシフトすることが重要となっています。「道の駅るもい」をアウトドア観光の核とした「稼ぐ観光」へのシフト、インバウンド需要の取り組み、関係・交流人口の増加、若者に魅力ある雇用づくりなど、新たな観光ビジネスの創出と市民に幅広く還元できるまちづくりを目指します。

プロジェクト

アウトドア・アクティビティ拠点施設整備事業

海水浴場中心の観光から、本格的なアウトドア観光を軸とした観光事業への転換

事業年度・事業費

令和8年度

86,920千円



黄金岬から見た夕陽



■お問合せ先
留萌市地域振興部ふるさと納税課
☎ 0164-56-5001
✉ furusato@e-rumoi.jp

苫前町

人口 2,627人 (2026.2)
主な観光ポイント
三毛別震事件復元地、風力発電所

いつまでも暮らしていけるまちづくり



町営風力発電とホワイトビーチ



高校生による「TomaCafé」

まちの特色・強みを活かした総合的な施策

苫前町は、町営の風力発電から産み出すクリーンなエネルギーをもとに、様々な施策に取り組んでおります。風力発電からつくられる電気を町内の学校や道の駅などに使用しており、また売電により得られる収入を、町民がより住みやすくなるための各種事業に使用しております。この他にも、町内高校の生徒自らが考え実践する取組の支援、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備とサポートの実現、農業や漁業をはじめとする地場産品のブランドの構築・6次産業化の支援など、町民がいつまでも暮らしていけるようまちづくりを推進します。

プロジェクト

苫前町まち・ひと・しごと創生推進事業

再生可能エネルギー自給体制の構築／苫前ブランド・6次産業化チャレンジ支援事業／苫前商業高等学校魅力化事業 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度

300,000千円（目標額）



三毛別震事件復元地



■お問合せ先
苫前町総合政策室総合政策係
☎ 0164-64-2040
✉ sogo@town.tomamae.lg.jp



羽幌町

人口 5,752人 (2026.2)
主な観光ポイント
はぼろバラ園、天売島赤岩展望台、焼尻島
オンコ原生林

町立天売高等学校の魅力化



町立天売高等学校



水産実習

地域の特性を活かした郷土愛の心の育成

羽幌町の沖合に位置する人口300人弱の「天売島」。絶滅危惧種のオロロン鳥やウトウなどの海鳥と人間が共生する世界的にも貴重な島です。

昭和29年に開校した北海道の離島で唯一の町立夜間定時制課程普通科の高等学校で、地域を担う人材の育成という観点にたち、普通科でありながら教育課程の中に地域の基幹産業である水産の授業を取り入れ、関係機関連携のもと水産物の高度利用や漁業加工の必要性及び水産資源保護の重要性を学んでいます。全国からの生徒募集や生活・学習環境の整備など高校存続の取組にご支援をお願いします。

プロジェクト

羽幌町立「天売高校」学びの環境整備プロジェクト

高等学校魅力向上事業

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

5,042千円



空から見た天売島

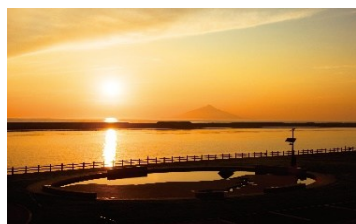


■お問合せ先
羽幌町地域振興課政策推進係
☎ 0164-68-7013
✉ c-seisaku@town.haboro.lg.jp

天塩町

人口 2,530人 (2026.2)
主な観光ポイント
歴史資料館、河川公園、夕景

天塩町デジタル田園都市構想 総合戦略推進事業



河川公園からの夕景



子育て環境

～誰もが便利で快適に暮らせるまちづくり～

天塩町では、総合振興計画におけるまちづくりの将来像や、人口ビジョンから導き出された将来展望と地域活性化の柱として設定した基本目標を踏まえ、第3期総合戦略を策定し、子育て環境の充実、教育環境の充実など、誰もが便利で快適に暮らせるまちづくりを目指します。

○基本目標

- ・ 地域資源の活用と生産性の向上により活気あふれる地域を創る
- ・ 若者が希望をもてる充実した結婚・子育て環境を創る
- ・ 地域魅力と地域連携により賑わいとひとの流れを創る
- ・ 誰もがまちの一員として活躍できる地域を創る

プロジェクト

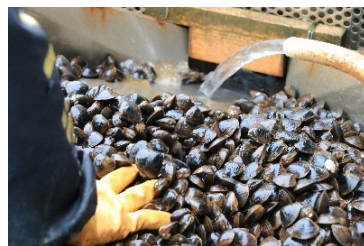
デジタル田園都市構想総合戦略に基づく事業

各分野におけるデジタル技術の導入／ICT等による教育支援の充実／子育て環境の充実 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

100,000千円



特産品のしじみ



■お問合せ先
天塩町企画商工課
☎ 01632-2-1729
✉ sousei@teshiotown.com

稚内市

人口 29,356人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 宗谷岬周辺（宗谷丘陵、白い道）、稚内港
 北防波堤ドーム

海と大地と風の恵み 人が輝き挑戦し続けるまち稚内



ここが“日本のてっぺん”



「白い道」からの絶景

「日本のてっぺん」から全国へ

海と大地と風の恵みを受ける生産空間と地理的特性を活かした産業振興を図るとともに、住民の定住環境を整えることで、国にも貢献できる地域づくりを進めています。

- 地域特性や資源を活かした産業振興を図り、魅力ある仕事をつくる事業
- 本市の魅力や特色を広く発信し、新しいひとと資金の流れをつくる事業
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次代を担う人材を育てる事業
- 誰もが安心して生活を送り、各々が役割を持って活躍できる地域社会をつくる事業

プロジェクト

稚内市デジタル田園都市構想推進事業

産業振興と人材確保／再エネの地産地消
 ／関係人口拡大・人の流れの創出／若い世代への支援／地域医療の充実 など

事業年度・事業費

令和7年度～10年度



稚内港「北防波堤ドーム」



■お問合せ先
 稚内市企画総務部企画政策課
 ☎ 0162-23-6187
 ✉ kikaku@city.wakkanai.lg.jp

中頓別町

人口 1,413人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 鍾乳洞、敏音知岳

“働きたい”“暮らしたい”まちとして 選ばれる癒しの里中頓別へ



敏音知岳



鍾乳洞

中頓別町では、1950年の7,592人をピークに人口の減少が続いており、令和8年2月時点では1,413人となっています。引き続き、子育て支援や就業支援などの取り組みを行い「“働きたい”“暮らしたい”まちとして選ばれる癒しの里中頓別」の実現を推進してまいります。

< 4つの基本目標 >

- ① 多様な働き方ができる魅力あるまちをつくる
- ② 魅力ある教育環境を整え、結婚・出産・子育てを支援できるまちをつくる
- ③ 都市部とのつながりをつくり、移住者の支援ができるまちをつくる
- ④ ひとが集う、安心して暮らし続けられるまちをつくる

プロジェクト

中頓別町まち・ひと・しごと創生推進計画

新しい労働力の確保／結婚・出産・子育て・学習の支援／関係人口と交流人口の拡大／自助・共助・互助の取組

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

920千円



デマンドバス



■お問合せ先
 中頓別町政策経営課
 ☎ 01634-8-7671
 ✉ kikaku@town.nakatombetsu.lg.jp

北見市

人口 107,765人 (2026.2)
主な観光ポイント
ハッカ記念館、ピアソン記念館

【日本初】北見市の挑戦！！ 笑顔あふれるまちを目指して



笑いの力による
地方創生推進に関する協定



北見秋祭（R7.10.4）演芸会様子

笑いの力で市民の笑顔を広げるために

北見市では、令和7年8月に一般社団法人漫才協会と7つの連携協力事項からなる「笑いの力による地方創生推進に関する協定」を締結しました。

漫才協会と地方公共団体の間では全国初の取組となり、この協定を基にした取組について、笑顔と健康を育む『笑い』の力で、北見市の文化振興、健康増進に資するとともに、その波及効果により、地域を活性化させ、市民の笑顔を広げる取組を進めています。

▶詳細はこちら

<https://www.city.kitami.lg.jp/administration/town/detail.php?content=13815>

プロジェクト

一般社団法人漫才協会との「笑いの力による地方創生推進プロジェクト」
漫才協会所属芸人による演芸会の開催など

事業年度・事業費

令和7年度～

協定による連携協力事項

- ① 笑いによる人づくりに関すること
- ② 笑いによる健康づくりに関すること
- ③ 北見市において災害が発生した場合の漫才協会による慰問活動に関すること
- ④ 人材の派遣及び育成に関すること
- ⑤ イベントの実施及び運営に関すること
- ⑥ SNSによる情報発信に関すること
- ⑦ ①から⑥のほか、笑いの力による地方創生の推進に資する取組に関すること



■お問合せ先

北見市企画財政部企画課

☎ 0157-25-1103

✉ kikaku@city.kitami.lg.jp



紋別市

人口 19,396人 (2026.2)
主な観光ポイント
ガリンコ号、オホーツクタワー、カニの爪オブジェ

流氷と大地の恵みを活かし 人が輝き躍動するまち



ガリンコ号



オホーツクタワー

紋別市は、以下の5つの基本目標を掲げ、まち・ひと・しごとに好循環が生まれ、活気あふれ選ばれるまちづくりを目指していきます。

<基本目標>

- ① 力強い産業を確立し、企業と働く人がともに輝けるまちをつくる
- ② もんべつの恵まれた豊かな資源を活かし、稼ぐ力を高め、人が集まるまちをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産の希望を叶え、健やかな子どもの育ちを支えるまちをつくる
- ④ 健康でいきいきと活躍できる共生社会を確立し、安心して住み続けられるまちをつくる
- ⑤ 地域を支える人を育み、住民参画による協働のまちをつくる

プロジェクト

第2期紋別市まち・ひと・しごと創生推進事業

産業の振興／交流人口の拡大／結婚・出産・子育て支援の充実／住みよい環境づくり など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

500,000千円



カニの爪オブジェ



■お問合せ先

紋別市総務部企画調整課

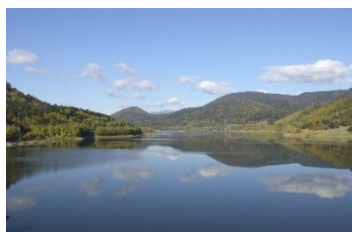
☎ 0158-24-2111

✉ kikaku@city.mombetsu.lg.jp

置戸町

人口 2,450人 (2026.2)
主な観光ポイント
おけと湖、勝山温泉ゆうゆ、置戸町立図書館

笑顔と夢を未来につなぐまち おけと



おけと湖



勝山温泉ゆうゆ

未来に向けた 持続可能なまちづくりに取り組んでいます

置戸（おけと）町では、①地域社会において魅力的で多様な就業機会の創出、②地域社会を担い、個性にあふれた人材の確保、③活力ある安心して健康に暮らせる地域社会の形成、これらの視点を基にまちづくりを推進し、次の取組を進めています。

- 地域経済を活性化し、雇用を創出する事業
- 人口流出を抑制し、流入を促進する事業
- 子どもを産み育てる環境を整える事業
- ふるさとづくりを推進する事業

プロジェクト

置戸町まち・ひと・しごと創生推進事業

雇用の創出／産業の振興／観光の推進／移住定住の促進／子育て環境の充実 など

事業年度・事業費

令和 8 年度

382,934千円



置戸町立図書館



■お問合せ先

置戸町企画財政課企画係

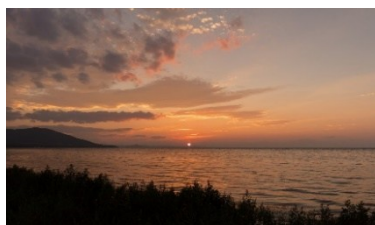
☎ 0157-52-3312

✉ shinko@town.oketo.hokkaido.jp

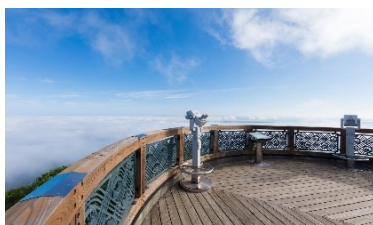
佐呂間町

人口 4,559人 (2026.2)
主な観光ポイント
サロマ湖、サロマ湖展望台、キムアネップ岬

佐呂間町まち・ひと・しごと 創生推進事業



キムアネップ岬



サロマ湖展望台

「活力のある持続可能な地域社会」の実現

「サロマ湖」の認知度の高さを活用した、本町のブランド力向上を目指し、「佐呂間町サポーターズ倶楽部事業」などによる関係人口、交流人口拡大施策と「サロマ大収穫祭」など、町内イベントによる観光振興や首都圏・都市圏、経済交流都市などで開催される各種イベントに参加し、本町のPR活動を積極的に推進することに努めます。

プロジェクト

佐呂間町まち・ひと・しごと創生推進事業

地域間交流／観光・物産の振興

事業年度・事業費

令和 8 年度～12年度

24,000千円



サロマ大収穫祭



■お問合せ先

佐呂間町企画財政課企画係

☎ 01587-2-1214

✉ kikaku@town.saroma.hokkaido.jp

滝上町

人口 2,158人 (2026.2)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

役場庁内DXを推進！デジタル技術を活用し、地域課題の解決を目指します



生成AI導入研修会



職員によるドローン調査

行政業務へのデジタル技術導入・活用 事務処理の自動化・省力化へ

近年、人口減少や過疎化により地域の担い手が不足し、様々な分野で影響が出始めています。本町では生成AIを活用した庁内業務改善、ドローンを活用した河川管理やヒグマ防除・早期警戒システム構築事業の推進、NFTやブロックチェーンを使った行政サービスの充実の検討を始めています。デジタル技術の導入により地方においても住民が便利で豊かな生活を送ることができる地域づくりを目指します。

プロジェクト

役場庁内DXの推進事業

デジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に資する取組

事業年度・事業費

令和8年度

2,500千円



ドローン活用による河川管理



■お問合せ先

滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係

☎ 0158-29-2111 (内線220)

✉ machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

音更町

人口 42,157人 (2026.2)
主な観光ポイント
十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

ひとが集う、安全・安心で 快適に住み続けられるまちをつくる事業



市街地の様子



広大な農村風景

豊かな生活環境づくりとまちの魅力化

誰もが安全・安心でいつまでも快適に過ごすことができるよう、効率的で効果的な行政運営を推進しながら、地域コミュニティや生活必需サービスを維持・確保するとともに、地域の多様な担い手の参画と地域内外の連携を図り、町民の生活を取り巻く課題の解決と地域の強みを活かしてまちの魅力化に取り組み、支え合いのまちづくりを推進します。

プロジェクト

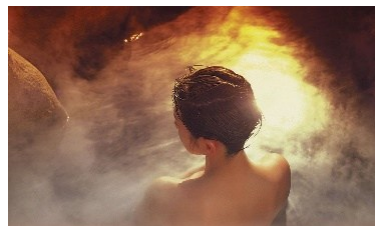
豊かな生活環境づくりとまちの魅力化

循環型社会づくりの推進／公共交通の利便性向上／防災対策の充実／国道、道道の整備促進 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度

2,600,000千円



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先

音更町企画財政部まちづくり推進課

☎ 0155-42-2111

✉ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

士幌町

人口 5,600人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅ピア21しほろ、道の駅しほろ温泉、
士幌高原ヌブカの里

安心して住み続けることができる 地域をつくる事業



【R8新設】認定こども園
(NearlyZEB)



【R8新設】発達相談センター

士幌町ゼロカーボンシティ実現に向けて

本町の基幹産業である農畜産業を軸としたゼロカーボンとの両立による持続可能な農業を確立し、将来にわたって活力ある地域社会の実現を目指します。

また、再生可能エネルギーの導入にあたっては、太陽光発電及び家畜ふん尿によるバイオガスプラントを中心とし、エネルギーや飼料・肥料の地産地消による環境負荷の少ない農業の確立を目指しながら、自家消費型の太陽光発電、ZEH、EV車の導入促進や、住民の意識醸成や行動変容に繋がるよう、関係機関と連携し周知等を行っています。

プロジェクト

ゼロカーボンシティ達成に向けた 再エネ導入促進事業

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの導入促進への取組

事業年度・事業費

令和8年度

12,000千円



■お問合せ先

士幌町役場地域戦略課ふるさと未来係
☎ 01564-5-2600 (直通)
✉ furusato@shihoro.jp

中札内村

人口 3,822人 (2026.2)
主な観光ポイント
札内川園地、六花の森、花畑牧場、桜六花公園、札内川ダム

持続可能な公共交通の実現に向け、 コミュニティバスのデマンド化を検討



コミュニティバス「くるくる号」



買い物に利用する村民

デマンド運行実証開始を目指して

現在、中札内村にはコミュニティバス「くるくる号」を含む7つの移動支援サービスがありますが、それぞれのサービスで利用者要件が異なるため、混乱や利用率の差といった問題が発生しています。

令和7年度に「移動支援サービス協議会」を立ち上げ、事業の一元化や複雑な要件の緩和について検討したところ、くるくる号のデマンド運行（降車場所固定型）という案が出ました。今後、実証開始を目指して議論を進めていきます。

プロジェクト

コミュニティバス運行管理費

コミュニティバス運行管理委託／臨時運行管理委託／パンフレット印刷 等

事業年度・事業費

令和8年度

13,993千円



村章



■お問合せ先

中札内村総務課企画財政グループ
☎ 0155-67-2491
✉ s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

浦幌町

人口 3,988人 (2026.2)
主な観光ポイント
昆布刈石展望台、うらほろ森林公園

想いをつないで未来を創る、 “わたしたちのまち”うらほろ



昆布刈石展望台



うらほろマラソン「キッズチャレンジ」

子どもを軸とした持続可能なまちづくり

浦幌町では、少子高齢化や人口減少などの地域課題に一体的に取り組むため、「第3期浦幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標のもと、まちづくりを進めています。

「うらほろスタイル推進事業」では、次世代を担う子どもたちの育成に地域総ぐるみで取り組んでおり、まちに愛着と誇りをもって育った子どもたちが、将来は浦幌に戻ってきたいと思える環境をつくるために、地域・行政・企業で協働するまちづくりを目指します。

プロジェクト

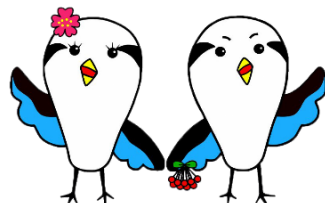
浦幌町まち・ひと・しごと創生推進事業

うらほろスタイル推進事業／結婚お祝い事業／住宅取得・リフォーム補助事業／新規創業等促進事業 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度

8,668,350千円



子どもたちの提案から生まれたキャラクター
「うらは・ほろま」

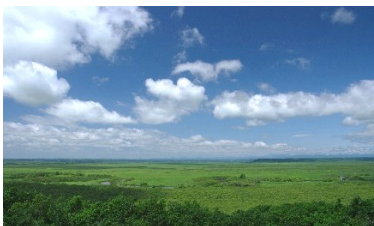


■お問合せ先
浦幌町まちづくり政策課
☎ 015-576-2112
✉ mati@urahoro.jp

釧路町

人口 17,993人 (2026.2)
主な観光ポイント
釧路湿原国立公園、厚岸霧多布昆布森国定公園

釧路町の認知度向上を目指して



釧路湿原



釧路湿原でのカヌーツアー

あらゆるものを超えていく「釧路超」

釧路町はひがし北海道に位置し、2050年に向けたゼロカーボンシティ宣言をするなど、豊かな自然と生きがいあふれるまちを目指しています。

自然・食・文化・暮らしなどのあらゆる分野において多種多様な魅力をアピールするため、新しいキャッチコピーとロゴマークを定めました。

釧路超ロゴを活用したまちのブランディング推進の取り組みを展開していきます。

プロジェクト

釧路超ブランディング推進プロジェクト

町の認知度向上に向けた各種事業

事業年度・事業費

令和8年度

30,000千円



釧路超ロゴ



■お問合せ先
釧路町ふるさと納税推進室
☎ 0154-62-2310
✉ furusato@town.kushiro.lg.jp

厚岸町

人口 7,976人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」、町のシンボル「厚岸大橋」、桜の名所「子野白公園」

離れたくないまち“あっけし” 実現プロジェクト



わたし! 厚岸で、
暮らすと決めましたッ!

町民の叫び



厚岸産のカキ & 厚岸ウイスキー

私たちの命と暮らしを守ってください!!

生まれ育ったふるさとに住み続けることは地方創生の推進に大きく寄与する重要な施策の一つです。

ブランドカキ「カキえもん」「弁天かき」や「厚岸ウイスキー」などの特産品を全国に送り届け続ける厚岸町を守るため、本事業へのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

～ご寄附をいただいた企業様へのお礼～

新しい施設が完成したあかつきには、完成写真と併せて地区住民から直接、お礼のお手紙を差し上げたいと考えております。

■プロジェクト

厚岸町防災交流センター整備事業

津波災害時の避難をより確実なものとするため、津波避難施設を整備

事業年度・事業費

令和4年度～8年度

3,200,000千円



厚岸大橋



■お問合せ先
厚岸町総合政策課
☎ 0153-52-3131
✉ seisaku@akkeshi-town.jp

弟子屈町

人口 6,304人 (2026.2)
主な観光ポイント
摩周湖、屈斜路湖、硫黄山

「全ての住民が、暮らしに満足覚え、 次代に夢を託せるまちづくり」を目指します



硫黄山の紅葉



屈斜路湖の御神渡り

「関係人口」を創出・拡大し 移住定住を推進人手不足や担い手不足に対応

弟子屈町では第3期でしかがまち・ひと・しごと創生戦略に基づき各プロジェクト事業を進め、弟子屈町に訪れる観光客や移住希望者などを呼び込み、関係人口を創出し、弟子屈町への移住定住を推進します。また、人口減少に伴う人手不足や担い手不足による労働力不足解消のため雇用対策を展開し、町の活性化を目指します。

■プロジェクト

第3期弟子屈町まち・ひと・しごと創生推進事業

「まちづくり」プロジェクト事業／「ひとづくり」プロジェクト事業／「しごとづくり」プロジェクト事業 など

事業年度・事業費

令和8年度～11年度

2,000,000千円



摩周湖



■お問合せ先
弟子屈町まちづくり政策課政策調整係
☎ 015-482-2913 (課直通)
✉ kikaku@town.teshikaga.Hokkaido.jp

根室市

人口 21,793人 (2026.2)
主な観光ポイント
納沙布岬（日本本土最東端の地）、春国
岱・風連湖、花咲灯台と車石、明治公園

根室市まち・ひと・しごと

創生推進事業



移住体験ツアー



子ども向け屋内遊戯施設
「ふるさと遊びの広場」（愛称:わんぱーく）

官民連携で進める共創のまちづくり！

根室市では、若い女性を始め、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことができる地域を目指しています。

新しい人の流れを創造するため、根室市ならではの暮らしやすさを再認識する機会や、より一層、根室市の魅力を市内外に発信するために、「子育て支援」、「雇用対策」、「人材育成」の3つを一体的に取り組み、住み続けられるまちづくりを推進します。

寄附を通じて官民協働で地域の魅力向上に取り組んでくださる企業をお待ちしています！

プロジェクト

ふるさと未来創生に関する事業

定住・移住促進事業

事業年度・事業費

令和8年度

13,627千円



■お問合せ先

根室市総合政策部総合政策室

☎ 0153-23-6111

✉ sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

中標津町

人口 21,967人 (2026.2)
主な観光ポイント
開陽台展望台、格子状防風林

外国『人財』の誘致と 多文化共生のまちづくり



町民と在留外国人との地域交流



日本語学校

海外の成長エネルギーを地域の活力へ

中標津町では、令和3年4月に開校した日本語学校を中心に、その留学生を含めた多文化共生の推進を図っています。

人口減少・少子高齢化が進行する中、町の産業人材の不足に対応するためには、外国人材を地域における貴重な『人財』として、海外の成長エネルギーや新たな発想力を地域の活力とする事が重要であり、外国人材の誘致や、日本語学校留学生に対する生活支援、地域交流を進め、町の活性化を図ります。

プロジェクト

外国人材誘致推進事業・多文化共生推進事業

外国人材誘致に向けた海外プロモーション／日本語学校留学生支援／留学生地域交流 など

事業年度・事業費

令和8年度

104,052千円



留学生母国紹介



■お問合せ先

中標津町総務部政策推進課

☎ 0153-74-0726

✉ kikaku@nakashibetsu.jp

長沼町

人口 9,750人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅「マオイの丘公園」

■プロジェクト

舞鶴遊水地周辺を活用した交流拠点づくり

田園と自然の共生施設整備

事業年度・事業費

令和8年度
5,671千円



舞鶴遊水地で繁殖したタンチョウ親子 長沼舞鶴小学校（令和2年3月閉校）
（提供：タンチョウも住めるまちづくり検討協議会）



タンチョウが繁殖した遊水地や 小学校跡地を活用した拠点づくり

長沼町はかつて沼や湿原が広がり、タンチョウの繁殖地として知られていました。「環境保全」と「産業振興」の両立を目指して、平成28年度から「タンチョウも住めるまちづくり」を開始し、令和2年、町内の治水施設・舞鶴遊水地でタンチョウの雛が100年以上ぶりに誕生しました。タンチョウの保護と主要産業である農業との共生、持続可能な観光を実現するため、舞鶴遊水地を核に近隣の長沼舞鶴小学校跡地（令和2年3月閉校）等を活用した「田園と自然の共生拠点」整備構想を検討しています。



舞鶴遊水地の自然を活用した環境学習
（奥の建物は観察施設「鳥の駅マオイトー」）



■お問合せ先
長沼町政策推進課
☎ 0123-76-8016
✉ seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp

栗山町

人口 10,449人 (2026.2)
主な観光ポイント
いきものの里オオムラサキ館

■プロジェクト

自然環境の保全・再生活動への支援

ハサンベツ里山の整備／自然体験教育の充実

事業年度・事業費

令和2年度～
900千円



薪づくり体験



田植え体験

豊かな自然と子どもの笑顔を次世代に

市街地に隣接した栗山町ハサンベツ地区一帯は、約20年の歳月をかけ「人と自然との共生」をテーマとした自然体験教育フィールドに再生しました。

これまでに、ホテル・トンボ水路の整備や、子ども達が遊べる小川や体験田んぼの造成、ハサンベツ川の環境再生など町民主体の里山計画を実践しており、現在子ども達がこの環境を活用した自然体験教育を行っています。今後もこの豊かな自然環境と子ども達の笑顔を次世代へ残し続けるため、保全活動事業を進めていきます。



自然体験教育

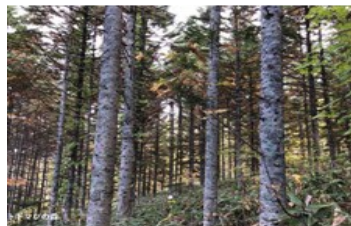


■お問合せ先
栗山町教育委員会社会教育課
☎ 0123-72-1117
✉ syakaikyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

ニセコ町

人口 5,613人 (2026.2)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュープラザ

林業、木材産業の再価値化を目指して



トドマツ



簡易製材機

森林を守り、活用する地域へ

暮らしの変化や脱炭素社会などの森林・木材に対する関心の高まりに合わせて、森林空間の価値向上・体験創出などの森林を身近に感じてもらえる取組みを促進していきます。

また、未整備森林を多く抱える森林管理、ニセコ町産木材の供給や地域利用の推進を行いつつ、町産材製品の開発・拡販、体験プログラムを通じた関係人口の創出、人材育成を進めていきます。

プロジェクト

地域林業循環事業

小さな森林整備の推進／ニセコ町産材の地域利用促進／林業・木材加工従事者の人材確保・育成 など

事業年度・事業費

令和元年度～

28,111千円（令和8年度予算額）



サイクルスタンド



■お問合せ先
ニセコ町農政課
☎ 0136-56-8841
✉ nousei@town.niseko.lg.jp

ニセコ町

人口 5,613人 (2026.2)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュープラザ

暮らし・地域・未来を守る 気候変動対策事業



ニセコミライ (SDGs街区) ソーラーカーポート



脱炭素社会へ向けた再生可能エネルギー推進

ニセコ町は、2050年までにゼロカーボンを目指し、CO₂の排出を抑制する「緩和」と、すでに起こりつつある気候変動の影響に対処する「適応」を両論とする気候変動対策を推進していきます。

また、脱炭素型の持続可能な地域づくりに資することを目的とする中で、「ニセコ町脱炭素・再エネ推進事業補助金」の普及を促進し、地域の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー事業の実施や町民による主体的な再生可能エネルギーの導入を推進していきます。

プロジェクト

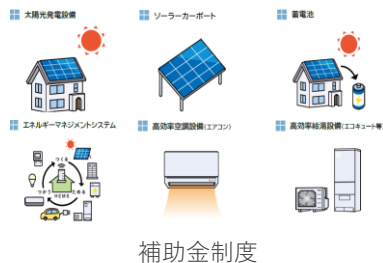
気候変動対策推進事業

ニセコ町脱炭素・再エネ推進事業補助金制度による一般家庭や事業者への太陽光発電設備導入、新築高性能住宅建設への補助 など

事業年度・事業費

令和6年度～

103,259千円（令和8年度予算額）



■お問合せ先
ニセコ町企画環境課環境モデル都市推進係
☎ 0136-56-8837
✉ kankyo-e@town.niseko.lg.jp

京極町

人口 2,744人 (2026.2)
主な観光ポイント
ふきだし公園、羊蹄山

北海道遺産「ふきだし湧水」を守る



ふきだし公園湧水口



ふきだし公園下池（逆さ羊蹄）

羊蹄山が育む豊かな水資源

蝦夷富士「羊蹄山」に降った雪や雨が長い年月をかけて濾過され流れ出る「京極のふきだし湧水」は、1日に約8万トン、30万人の生活水に匹敵する湧水量を誇る国内最大級の湧水であり、おいしい水を求めて多くの人々が訪れます。北海道遺産や名水百選にも選ばれている、この自然の恵みを次の世代に残していくため、「ふきだし湧水」の保全と活用を目的として、水源地周辺の公有地化や隣接するふきだし公園施設などの環境整備を進めていきます。

プロジェクト

水資源の保全と活用

水源地周辺の土地購入／公園施設等の環境整備

事業年度・事業費

令和2年度～

92,564千円（ふきだし公園管理費）



ふきだし公園内のリス



■お問合せ先
京極町企画振興課
☎ 0136-42-2111
✉ kikaku@town-kyogoku.jp

長万部町

人口 4,586人 (2026.2)
主な観光ポイント
おしゃまんべ公園、あやめ公園、地域のマイクログリッド

地域のマイクログリッド化事業



東京理科大学長万部キャンパス



長万部町けがにまつり

災害に強い街をつくりたい！

長万部町は胆振東部地震によるブラックアウトや水柱噴出による水害等、災害に直面しました。2023年度には「ゼロカーボンシティ長万部」を宣言し、町の拠点となる各公共施設から脱炭素化を進めながら、防災・再エネ導入による脱炭素化や経済の活性化を図ります。

プロジェクト

地域のマイクログリッド化事業

防災拠点となる公共施設への太陽光設備、蓄電池設置、公共施設のLED化、EVの導入

事業年度・事業費

令和8年度

15,632千円



EV車



■お問合せ先
長万部町まちづくり推進課
☎ 01377-2-2450
✉ m.s-k@town.oshamambe.lg.jp

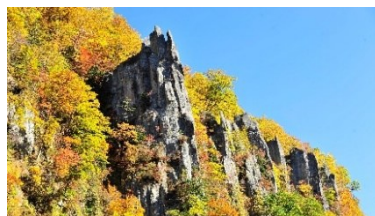
東川町

人口 8,648人 (2026.2)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉、キトウシの森

天人峡地区の復興へ向けて



天人峡の景色（春・秋）



天人峡のシンボル「柱状節理」

日本が誇る美しい景観地を取り戻す

大雪山国立公園に指定されている天人峡は、複数軒あった温泉宿が、現在1軒の宿を除き、温泉宿の建物が廃墟と化し、美しい景観が阻害された状況となっています。日本が誇る美しい景勝地を取り戻すため、林野庁、環境省、国土交通省、北海道、地元東川町、美瑛町と連携し、天人峡温泉地区の復興を目指します。

プロジェクト

天人峡地区の復興へ向けて

廃屋撤去・跡地造成／天人峡復興の取組

事業年度・事業費

令和4年度～
250,000千円



写真の町宣言



■お問合せ先
東川町企画総務課
☎ 0166-82-2111
✉ sousei@town.higashikawa.lg.jp

鹿追町

人口 4,822人 (2026.2)
主な観光ポイント
大雪山国立公園「然別湖」、神田日勝記念美術館、とかち鹿追ジオパーク

「バイオガスプラント」を 核としたまちづくり



MIRAI COUNTRY プロジェクト



中鹿追環境保全センター施設

鹿追型ゼロカーボンシティの推進

「脱炭素先行地域」に選定されている鹿追町で実施する、バイオガスプラントの充実や水素エネルギーの活用といった脱炭素に向けた先進的な取組を推進し、多様なエネルギー循環と地域のレジリエンス強化、環境価値の向上を図り、2030年までに2019年比で49%の二酸化炭素削減を目指す事業です。

リンク：<https://www.town.shikaoi.lg.jp/kigyuu/about/>

プロジェクト

MIRAI COUNTRY創生事業

役場周辺エリアZEC化整備事業／自然体
験留学センター『ZEB』新設事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～12年度
5,505,000 千円



ZERO CARBON
HOKKAIDO
SHIKAOI



■お問合せ先
鹿追町総務課
☎ 0156-66-2311
✉ soumu@town.shikaoi.lg.jp



鹿追町

人口 4,822人 (2026.2)
主な観光ポイント
大雪山国立公園「然別湖」、神田日勝記念美術館、とかち鹿追ジオパーク

とかち鹿追ジオパークと共に 持続可能な未来へ



鹿追町全景



然別風穴（ふうけつ）地帯

大地を感じるストーリー

とかち鹿追ジオパークは、北海道十勝地方の北西部に位置する、鹿追町全域をエリアとするジオパークで、火山と寒冷な気候下でつくられた地形や地質、育まれている生態系や人の営みが特徴です。

当ジオパークでは、地域の活性化と同時に地域の地形地質を含む自然遺産・文化遺産を保全し、次の世代へ繋げる取り組みを行っています。

これらの活動は、SDGsや鹿追町が掲げるゼロカーボンシティ宣言と協調し行われ、地域全体でより良い未来について考え活動しています。

リンク：<https://www.shikaoui-story.jp/>

プロジェクト

火山と凍れが育む命の物語

地域資源の保護・保全活動／教育活動／地域振興・ツーリズム／ネットワーク活動 など

事業年度・事業費

平成25年度～

6,773千円



とかち鹿追ジオパーク



■お問合せ先
鹿追町ジオパーク推進課

☎ 0156-67-2089

📧 geopark@town.shikaoui.lg.jp



中札内村

人口 3,822人 (2026.2)
主な観光ポイント
札内川園地、六花の森、花畑牧場、桜六花公園、札内川ダム

自然豊かな札内川園地を もっと魅力的なスポットに！



山岳センターでは物販等も実施



広い敷地にキャンプ場が広がる

国立公園の自然を活かし、伝える取組

札内川園地は、日高山脈襟裳十勝国立公園のすそ野に位置し、清流・札内川が流れ落ちるピョウタンの滝などの豊かな自然を楽しむことができる観光名所です。敷地内には山岳センターやキャンプ場が整備され、アスレチックやモルック、釣りといったアクティビティを楽しむことができます。

令和6年に日高山脈が国立公園化したことを好機と捉え、山岳センターの機能充実や展示物の見直し等の魅力向上に取り組んでいます。

プロジェクト

札内川園地の魅力向上

トレーラーハウスの塗装修繕、山岳センター外壁等補修工事、日高山脈観光専門員の雇用 など

事業年度・事業費

令和8年度

42,025千円



人気スポット・ピョウタンの滝



■お問合せ先
中札内村総務課（企業版ふるさと納税担当）

☎ 0155-67-2491

📧 s-kikaku@vill.nakasatsunai.Hokkaido.jp

陸別町

人口 2,038人 (2026.2)
主な観光スポット
銀河の森天文台、ふるさと銀河線りくべつ
鉄道

“人と自然が響き合う” まちづくり



運転体験距離“日本一” (5.7km)
(りくべつ鉄道)



発酵槽や消化液貯留槽を備える
(バイオガスプラント)

空澄んで、星輝いて、森ゆたか

陸別町は豊かな自然と日本一の寒さを地域資源と捉えています。廃線となった本物の鉄道を運転できる「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」や澄み切った夜空に宇宙を体感できる「銀河の森天文台」は観光にとどまらず、大学との学術連携や企業の実証試験の場としても活用しています。令和4年9月より稼働したバイオガスプラントを中心に自然と調和した持続的な地域産業の発展と生涯にわたり安心して生活できる環境を目指し、小さな町だからこそ手が届く施策を進めていきます。

■プロジェクト

陸別町まち・ひと・しごと創生推進事業

バイオガスプラント運営事業／ふるさと銀河線りくべつ鉄道整備事業

事業年度・事業費

令和8年度～

33,800千円



肉眼で確認できたオーロラ (R5.12)



■お問合せ先
陸別町総務課
☎ 0156-27-2141
✉ kikaku_@rikubetsu.jp

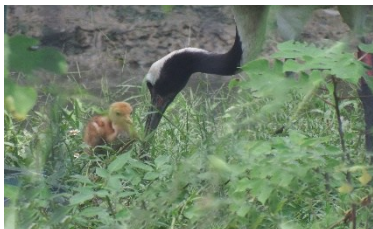
釧路市

人口 151,375人 (2026.2)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

特別天然記念物北海道タンチョウ 生息域外保全促進事業



学術交流



台湾で生まれたヒナ (リーホー)

ヒナ「哩鶴」のペアリングに向けて

2011年、生息域外保全を目的として台湾へ渡り、台北市立動物園で飼育・展示されている釧路市動物園所有の北海道タンチョウ「ビッグ」と「キカ」に2022年待望のヒナ「哩鶴 (リーホー)」が誕生。今後も北海道タンチョウをととした両園による生息域外保全への促進を図り、将来は台湾で誕生したヒナたちが本来の生息地である北海道に戻り放鳥させるなど、野生個体群の保全につながる事業を目指します。

■プロジェクト

北海道タンチョウの生息域外保全の促進プロジェクト

技術向上を目的とした両園による学術交流の実施とペアリング候補となるタンチョウの移送

事業年度・事業費

令和8年度～11年度

30,000千円



母 (キカ) とヒナ (リーホー)



■お問合せ先
釧路市マーケティング戦略室
☎ 0154-68-5949
✉ ma-marketing@city.kushiro.lg.jp

鶴居村

人口 2,369人 (2026.2)
主な観光ポイント
つるいむら湿原温泉ホテル、どさんこ牧場、
鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

自然環境に配慮した森づくりを目指して



高密度に整備された路網



釧路湿原の上流森林として

上流森林として自然に配慮した森づくりを

釧路湿原国立公園の上流域に位置する鶴居村では、上流森林として特に自然環境に配慮した森林施業を率先して実施しており、高密度な路網を整備することによって、これらの施業を行うことができるほか、昨今ではマウンテンバイクコースや乗馬コース等に利用するなど、多面的な利用を行っています。

これらを推進することによって、鶴居村の林業を衰退させないよう安定した事業量を確保しつつ、周辺環境の保護・保全を図るとともに地域観光等を活性化させます。

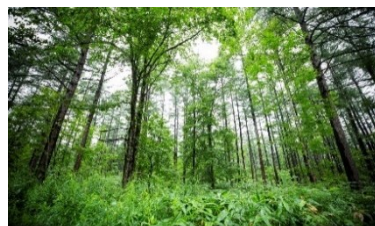
プロジェクト 森林整備推進プロジェクト

村有林の森林整備推進をはじめ、私有林の森林整備推進が図られる施策を実施

事業年度・事業費

令和7年度～9年度

100,000千円



手入れが行き届いた森林



■お問合せ先
鶴居村企画財政課
☎ 0154-64-2112
✉ tsuruiumurazukuri@vill.tsurui.lg.jp

羅臼町

人口 4,149人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅「知床・らうす」、前浜の観光船、羅臼湖

地熱資源を活かした ゼロカーボンシティの実現



温泉井戸



公共施設での熱利用

ゼロカーボンシティを通じた地域活性化

羅臼町は3つの温泉井戸を有しており、公共施設の暖房や民間施設での温泉利用などに活用しています。この地熱資源を最大限に活用し、地熱発電の新規導入及び温泉熱の更なる利活用を推進することにより、CO2排出量の削減に加えて、エネルギー代金の地域内循環や町民や事業者の負担軽減、新たな産業誘致などの実現を目指しています。

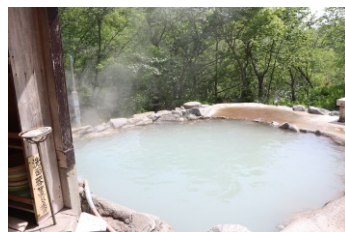
プロジェクト ゼロカーボンシティ推進事業

地熱発電／温泉活用の基盤整備／温泉熱を活用した暖房・給湯／温泉熱による産業振興

事業年度・事業費

令和6年度～

3,000,000千円（予定）



温泉としての利用



■お問合せ先
羅臼町企画財政課
☎ 0153-87-2114
✉ kikaku.r@rausu-town.jp

美唄市

人口 17,796人 (2026.2)
主な観光ポイント
宮島沼、アルテピアッツァ美唄

ベースボールを核とした地域活性化



美唄ブラックダイヤモンドズ

美唄からNPBへ！若者の夢を応援！！

北海道初の野球独立リーグの立ち上げ当初から、美唄市に本拠地を置く球団「美唄ブラックダイヤモンドズ」。野球や地域活動等を通じ、労働力不足の解消や交流人口の増加、関係人口の創出、コミュニティの形成、シビックプライドの醸成など地域に大きな活力をもたらしています。本プロジェクトで集まった寄附は、球場等の環境整備、スポーツを通じたこどもの育成・地域の振興、交流人口・関係人口拡大事業など、地域活性化に向けた取組に広く活用します。

■プロジェクト

「美唄ブラックダイヤモンドズ」応援プロジェクト

球場等の環境整備／スポーツを通じたこどもの育成／交流人口・関係人口拡大など

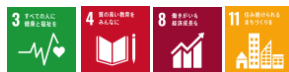
事業年度・事業費

令和 8 年度

60,276千円



市内小学生のスポーツテスト運営補助



■お問合せ先
美唄市企画財政課企画戦略係
☎ 0126-35-7751
✉ kikaku@city.bibai.lg.jp

三笠市

人口 6,967人 (2026.2)
主な観光ポイント
三笠市立博物館、三笠鉄道記念館、道の駅三笠

三笠北海盆おどりを 日本の冠たる盆踊りへ！



三笠北海盆おどり



毎年8月13日～15日開催

国内外への発信、後生への継承

三笠市は炭鉱で栄えた歴史や文化の貴重な地域資源を大切にしながら、市民が自信と誇りを持てるまちづくりを推進しています。北海盆唄全国大会で優勝した唄い手たちの生唄・生演奏に合わせ、高さ約8mの三層の檣の周りを幾重もの輪で囲んで踊る光景は壮観です。「三笠北海盆おどり」が日本、北海道を代表する盆踊りとして、後世に継承されるよう、新たな創造を加えて更なる発展を目指し、地域全体の活性化を図り、地方創生に取り組みます。

■プロジェクト

三笠市地方創生プロジェクト

未利用エネルギー活用事業／高校「食」のコンクール実施事業／三笠ジオパーク推進事業／北海盆おどり実施補助事業

事業年度・事業費

令和 8 年度

9,900千円



様々な文化体験も



■お問合せ先
三笠市教育委員会社会教育課生涯教育係
☎ 01267-2-3591
✉ syougaiyouiku@city.mikasa.hokkaido.jp

深川市

人口 17,796人 (2026.2)
主な観光ポイント
まぶオートキャンプ場、市内観光果樹園

「スポーツ」の力で、 人口減少に負けない強いまちづくりを！



「東京マラソン財団」とコラボした
ランニングイベントの開催



合宿招致に不可欠な各種
スポーツ施設の整備

スポーツの力は無限大！

深川市は、冷涼な気候と充実したスポーツ施設を活かし、
陸上競技を中心とするスポーツ合宿招致を重要施策として
取り組んでいます。

スポーツの力で、さらなる市の活性化と人口減少に負けない
強いまちづくりを目指して、スポーツに関する4つの柱
を推進していきます。

■プロジェクト

北のスポーツ都市ふかがわ～ スポーツを核とした地域活性化 プロジェクト

特色あるスポーツイベント等の開催／ス
ポーツ施設の整備 など

事業年度・事業費

令和4年度～

30,000千円

▼スポーツを通じた4つの柱

★自ら行うスポーツ

市民参加型の「運動きっかけ教室」などの開催

★呼び込むスポーツ

特色あるイベントの開催や合宿招致促進

★携わるスポーツ

スポーツ指導者などの人材育成

★育てるスポーツ

スポーツを通じた次世代人材育成



■お問合せ先

深川市企画総務部まち未来推進課企画係

☎ 0164-26-2246

✉ machimi@city.fukagawa.lg.jp

北広島市

人口 56,092人 (2026.2)
主な観光ポイント
北海道ボールパークFビレッジ、エルフィン
ロード、旧島松駅通所

北海道ボールパークFビレッジ JR新駅建設プロジェクト



エスコンフィールドHOKKAIDO



小さなまちの、大きな挑戦

北広島市は、2023年3月に、北海道日本ハムファイターズ
の新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」を核とした「北海道
ボールパークFビレッジ」が開業したまちであり、挑戦しつづける
まちです。

このFビレッジの隣接地に、JR新駅を整備するための取
組を推進しており、2028年中の開業を予定しております。
JR新駅の整備で北海道の新たなランドマークとして
更なる地方創生を推進していきます。

■プロジェクト

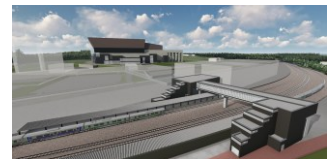
JR新駅建設プロジェクト

JR千歳線への新駅整備

事業年度・事業費

令和5年度～10年度

14,000,000千円



出典：北海道旅客鉄道株式会社のJR新駅
イメージ図



■お問合せ先

北広島市企画部企画課

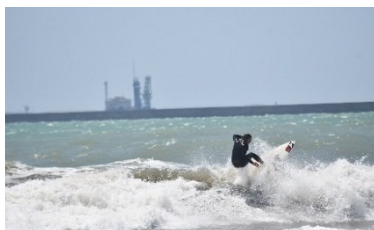
☎ 011-372-3311

✉ kikaku@city.kitahiroshima.lg.jp

厚真町

人口 4,208人 (2026.2)
主な観光ポイント
浜厚真海岸、大沼野営場

「浜厚真」を盛り上げたい！



白浜を攻めるサーファー



キッズ対象のサーフィン

「訪れたくなる交流拠点」を目指して

厚真町最南端に位置する臨海ゾーンには、年間約6万人のサーファーが訪れるサーフスポット浜厚真海岸のほか、ATV（四輪バギー）オフロードパークやサッカー場、フェリーターミナルなどが立地しています。

町ではこの臨海ゾーンをさらに魅力あふれる「訪れたくなる交流拠点」として環境を整え、地方創生の一助にしたいと考えています。

サーフィンの世界大会等イベント誘致や周辺環境の整備に対し、企業の皆さまのご支援をお願いいたします。

プロジェクト

浜厚真臨海ゾーン活性化プロジェクト

イベント誘致／周辺環境整備 など

事業年度・事業費

令和5年度～

—



砂浜が続く浜厚真海岸



■お問合せ先
厚真町まちづくり推進課
☎ 0145-27-3179
✉ kikaku@town.atsuma.lg.jp

名寄市

人口 24,086人 (2026.2)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

冬季スポーツ拠点化プロジェクト



クロスカントリースキー合宿



カーリングジュニア教室

冬季スポーツ拠点化とジュニア世代の育成強化

名寄市では、スポーツを通じて子どもたちの「生きる」を育む環境づくりを進めるとともに、スポーツによる市民の健康づくりや交流人口拡大・地域経済活性化を図り、スポーツによる幅広い地域振興を推進しています。

本プロジェクトは市内3つのスポーツ団体が統合した「Nスポーツコミッションなよろ」を中心として、世界的にも価値が高まっている天然雪などの自然環境や集約された冬季スポーツの施設環境の強みを生かして、合宿・大会誘致や子どもたちの体力・競技力向上を推進するとともに、冬季スポーツを通じて故郷への誇りと愛着を持てる人づくりに取り組んでいます。

プロジェクト

冬季スポーツ拠点化プロジェクト

全道・全国規模の大会開催／ジュニア世代を対象としたトレーニング・教育プログラムの提供 など

事業年度・事業費

令和2年度～8年度

370,000千円



名寄市ピヤシリシャンツェ



■お問合せ先
名寄市総合政策部スポーツ政策課
☎ 01654-2-2218
✉ ny-sport@city.nayoro.lg.jp

東川町

人口 8,648人 (2026.2)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉、キトウシの森

世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、世界中が笑顔に溢れる写真文化首都



写真甲子園



国際写真フェスティバル

写真文化首都の創造を目指して

1985年に「写真の町」を宣言し、写真文化を通じて潤いと活力のある町づくりに取り組み、写真文化と世界中の人々を繋ぐ「写真文化首都」の創造を目指しています。現在、日本は過疎・過密の二極化が進行している中、写真文化の首都として地方から世界へ写真文化を発信するために「写真甲子園」をはじめとした写真の町に関わる事業や写真文化のアーカイブスなどの取組を行い、写真文化首都を推進します。

プロジェクト

写真文化首都「写真の町」プロジェクト

写真甲子園の開催／写真文化アーカイブス事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～
200,000千円



写真の町宣言



■お問合せ先
東川町企画総務課
☎ 0166-82-2111
✉ sousei@town.higashikawa.lg.jp

東川町

人口 8,648人 (2026.2)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉、キトウシの森

「デザインミュージアムの実現に向けて」



デザインミュージアム (イメージ1)



デザインミュージアム (イメージ2)

旭川家具産地で家具デザイン文化を世界へ

大雪山を望む旭川家具をはじめとした全国的に名高い家具の産地。東川町では、建築家隈研吾氏との連携を進め、KAGUデザインコンペによる学生の人材育成や、新たな暮らしのデザインを発信しています。そんな「旭川家具産地」であるこの地域で、「家具デザイン文化」を世界へ発信するデザインミュージアムの実現を目指します。

プロジェクト

「デザインミュージアムの実現に向けて」

KAGUデザインミュージアムの実現

事業年度・事業費

令和4年度～
2,000,000千円



写真の町宣言



■お問合せ先
東川町企画総務課
☎ 0166-82-2111
✉ sousei@town.higashikawa.lg.jp

上富良野町

人口 9,460人 (2026.2)
主な観光ポイント
日の出公園、土の博物館「土の館」

活火山の恵みと脅威を活力に

～「十勝岳」魅力再発見プロジェクト～

北海道を代表する秀峰であり、数多くの恵みと時に大きな災いをもたらす町のシンボル、十勝岳。上富良野町では、国内外から多くの観光客を呼び込む不動のコンテンツとして十勝連峰の魅力を最大限に活かしてまいります。

代表的な取組として、活火山である十勝岳がかつて上富良野に惨劇をもたらした噴火泥流災害にまつわる実話を基に、昭和文壇を代表する作家・三浦綾子が著した小説『泥流地帯』の実写映画化を目指しています。

大規模自然災害が頻発する昨今、100年前に「全滅」と言われながらも奇跡と称される復興を果たした上富良野開拓民の物語を、企業の皆様とともに全国のスクリーンにお届けできるよう、ご支援をお待ちしています。

※詳しくは当プロジェクトPRページをご覧ください。

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/index.php?id=2137>

プロジェクト

三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト

噴火災害からの復興の実話を元にした映画の製作・全国のスクリーンへ届けるための支援

事業年度・事業費

平成29年度～
200,000千円



三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト



■お問合せ先

上富良野町商工観光課観光班

☎ 0167-45-6983

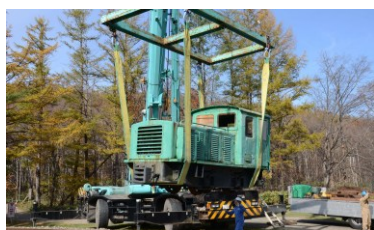
✉ kanko@town.kamifurano.lg.jp



遠軽町

人口 17,027人 (2026.2)
主な観光ポイント
展望岩、太陽の丘えんがる公園

10トンディーゼル機関車に再び汽笛を



10トンディーゼル機関車搬入



森林鉄道蒸気機関車雨宮21号

全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」に向けて

国内で唯一動態保存されている森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」は「木のまち」遠軽町の象徴として、住民運動によりスクラップを免れた貴重な産業遺産です。

町ではこの「雨宮21号」を中心に全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」を目指しており、このたび新たに、昭和31年製造の10トンディーゼル機関車を復元するロマンあふれるプロジェクトを実施しています。

■「10トンディーゼル機関車」 製造年：昭和31年／製造会社：協三工業（福島県福島市）

昭和31～昭和35年 北海道濁川森林鉄道（滝上町）
昭和36～昭和40年 長野県王滝森林鉄道（長野県上松町）
昭和51～平成30年 愛知県瀬戸市自然休養林（動態保存）
平成30年10月～ 遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森入線

プロジェクト

ロマンあふれる「森林鉄道の聖地」10トンディーゼル機関車動態復元等整備プロジェクト

10トンディーゼル機関車の復元

事業年度・事業費

令和7年度～11年度
21,000千円



雨宮21号が走行するいこいの森キャンプ場



■お問合せ先

遠軽町総務部企画課

☎ 0158-42-4818

✉ kikaku@engaru.jp

帯広市

人口 159,154人 (2026.2)
主な観光ポイント
ばんえい競馬、食べ物、キャンプ

フードバレーと勝ちマラソン大会



フードバレーと勝ちマラソン

走る×自然×食で、交流人口を拡大！

広大な畑の眺めを楽しみながら、面前に広がる“日高山脈”の雄大さを感じられるマラソン大会となっています。全国的にも日照時間が長く、“と勝ちマラソン”と呼ばれるスッキリとした青空と秋の涼しさを感じながら走ることができ、全国各地からもたくさんのランナーに出場いただいています。

また、ゴール後には食料自給率が全国トップレベルである十勝の食材を存分に使った絶品料理を堪能できます。参加者の満足度をさらに上げ、大会を通して交流人口を増加させるため、協働していただければ幸いです。

プロジェクト

フードバレーと勝ちマラソン大会 による交流人口の増加

健康促進／観光／スポーツ／産業／市民
協働 など

事業年度・事業費

平成24年度～

62,751千円（令和8年度予算）



移住就職応援プラン



■お問合せ先
帯広市教育委員会生涯学習部
スポーツ室スポーツ課
☎ 0155-65-4210
✉ sports@city.obihiko.hokkaido.jp

幕別町

人口 24,990人 (2026.2)
主な観光ポイント
明野ヶ丘公園、ピラ・リ、忠類ナウマン公園、
十勝ヒルズ

幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業



アイヌ文化拠点（イメージ）



宝物堂

第2のウポポイを幕別町に

アイヌの人々が誇りを持って築き上げてきた伝統文化を次世代に継承し、その素晴らしさを広く伝えるため、幕別町は「第2のウポポイ」を目指して地域を挙げてアイヌ文化の保存伝承の拠点となる施設を整備し、アイヌ文化の展示・保存、研修、体験ができる一体的空間を作ります。儀式や文化伝承活動、交流の場となる生活館棟と、歴史的価値の高いアイヌ文化資料を収蔵・展示する展示館棟の建設、昭和に地元アイヌが建設した宝物堂の耐震改修を行います。各種事業を通じて、アイヌ文化が地域住民の皆さんにとって、誇りと愛着を持てる地域の財産となるよう取り組みます。

プロジェクト

幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業

生活館棟／展示館棟の建設／宝物堂の耐震改修／アイヌ文化伝承事業／チセの復元 など

事業年度・事業費

令和4年度～8年度

1,880,571千円



アイヌ文化拠点空間
ロゴマーク



町章



■お問合せ先
幕別町企画総務部政策推進課
☎ 0155-54-6610
✉ seisakutanto@town.makubetsu.lg.jp

鶴居村

人口 2,369人 (2026.2)
主な観光ポイント
音羽橋、伊藤・タンチョウサンクチュアリ、
鶴見台

プロジェクト 音楽祭プロジェクト

演奏会を開催するだけでなく、週末を通して音楽を楽しむことができる取り組みを行う

音楽祭による 新たな地域文化の創出に向けて



村内在住の指揮者「石川征太郎」氏



スポーツ・健康増進施設
ファミスポ・アップ

むらの子ども達に音楽を

鶴居村の文化・芸術活動を推進することを目的に、鶴居村民スポーツ・健康推進施設（体育館）をはじめ、豊かな自然環境を活かした音楽祭を実施します。

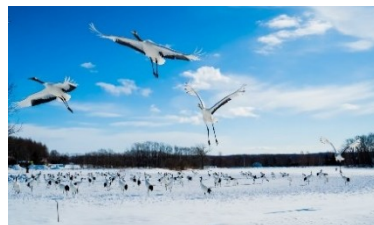
単なる演奏会を開催するだけでなく、村内小中学校で子ども達にプロの演奏家による演奏を届ける他、少人数で活動に制限のある鶴居中学校吹奏楽部との共同演奏実施の計画等を図ります。

この音楽祭の実施に当たっては、村内在住の指揮者「石川征太郎」氏に監修をしてもらいます。

事業年度・事業費

令和5年度～

3,000千円



特別天然記念物「タンチョウ」



■お問合せ先

鶴居村企画財政課

☎ 0154-64-2112

✉ tsuruimurazukuri@vill.tsurui.lg.jp

芦別市

人口 10,798人 (2026.2)
主な観光ポイント
芦別温泉スターライトホテル&おふろcafé
星遊館

子ども一人ひとりの ニーズに合わせた特別支援



特別支援学級での指導



特別支援学級での指導

児童生徒に対し、きめ細やかな支援を

芦別市では、通常の学級における困り感やつまずき感のある児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行うため、全ての小中学校に学習支援員を配置しているほか、特別支援学級の児童生徒の学習や生活の補助をするため特別支援学級補助員を配置しています。

また、教育をはじめ、児童生徒に関わる関係者を対象として、特別支援教育の研修会を開催するなど、知識や専門性を高める取組を行っています。

プロジェクト

特別支援教育推進プロジェクト

学習支援員／特別支援学級補助員の配置など

事業年度・事業費

令和2年度～

18,224千円



通常学級との交流



■お問合せ先

芦別市企画政策課移住定住推進係

☎ 0124-27-7358

✉ ijyu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

歌志内市

人口 2,470人 (2026.2)
主な観光ポイント
チロルの湯温泉、かもい岳国際スキー場、
かもい岳山頂からの雲海

子どもを産み、育てやすい環境をつくる



認定こども園



歌志内学園

オンリーワンの子育て・教育の実現

歌志内市の魅力的な子育て支援
教育環境の一層の充実を図り、オンリーワンの子育て環境の形成を目指した取組に共感していただき、以下の取組と一緒に推進していただける企業を募集しています。

【具体的事業】

- ・児童館等一元化施設（附帯施設含む）の建設
- ・認定こども園の保育料と給食費の無料化

プロジェクト

子育て教育施設の集約化、経済的な子育て支援の充実

0～14歳児までの一貫した子育て・教育を推進し、児童館等一元化施設の建設や保育料・給食費の無料化に活用

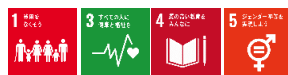
事業年度・事業費

令和8年度

203,473千円



児童館一元化施設周辺のイメージ図



■お問合せ先

歌志内市企画財政課企画広報グループ

☎ 0125-42-3214

✉ kikaku.koho@city.utashinai.hokkaido.jp

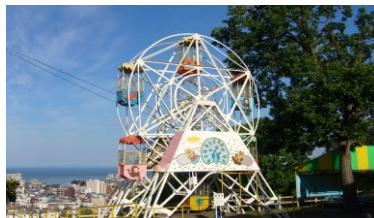
小樽市

人口 101,963人 (2026.2)
主な観光ポイント
運河、寿司、硝子、オルゴール

小樽公園「こどもの国」 リニューアルプロジェクト



現在の小樽公園



昔の遊具

小樽市民の心のふるさと 「こどもの国」を復活させたい

小樽公園は中心市街地に位置した総合公園として、多くの市民に利用されてきた小樽のシンボリックな公園です。

そのなかでも「こどもの国」は、多くの市民に親しまれてきましたが、施設の老朽化等により、現在はいくつかの遊具のある広場となっています。

人口減少が課題の本市において、遊具広場の整備は子育て世代の定住や移住促進につながるものと考えていますので、小樽公園の遊具広場が新たな「こどもの国」として、子育て世代や利用する子供たちのニーズにあった遊具広場となるようリニューアルするものです。

プロジェクト

小樽公園「こどもの国」リニューアルプロジェクト

小樽公園の整備・遊具の設置等

事業年度・事業費

令和7年度～9年度

約1,150,000千円



完成イメージ



■お問合せ先
小樽市総合政策部官民連携室
☎ 0134-32-4111
✉ kanmin@city.otaru.lg.jp

倶知安町

人口 17,184人 (2026.2)
主な観光ポイント
羊蹄山、ニセコアンヌプリ

くっちゃんで暮らす 幸せを感じるための事業



お楽しみ会（町立保育所ぬくぬく）



雪ん子の集い（認定こども園）

待機児童ゼロと日曜・祝日等の実施に向けて

国際リゾートニセコエリアの中心地である倶知安町は、観光業等のサービス業に携わる若い世代が多く、子どもを産みたい、育てたいと思える環境づくりを進めています。

待機児童ゼロや延長保育、日曜・祝日保育実施のため、町立保育所と3つの私立認定こども園が連携し、保育士・保育教諭への一時金給付、奨学金返還支援、くっちゃんの魅力・特徴を活かしたPR事業などに取り組み、保育士・保育教諭確保を目指します。

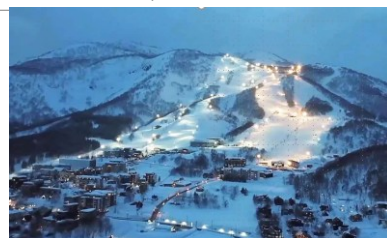
プロジェクト

くっちゃんで先生になろう！
～保育士・保育教諭等確保事業～
保育士・保育教諭への一時金給付／奨学金返還支援／PR・募集パンフレット作成 など

事業年度・事業費

令和3年度～9年度

9,000千円



国際リゾート「ニセコヒラフ」



■お問合せ先
倶知安町総合政策課総合政策係
☎ 0136-56-8001
✉ sousei@town.kutchan.lg.jp

神恵内村

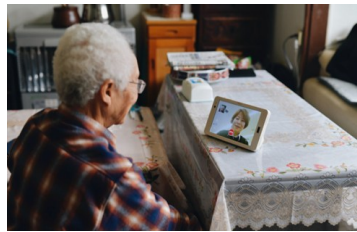
人口 713人 (2026.2)
主な観光ポイント
竜神温泉、道の駅オスコイ！かもえない、窓岩

神恵内村

デジタル田園都市国家構想推進事業



水産業の振興（神恵内漁港）



ICTの導入（コミュニティDX事業）

地域の魅力とデジタルを活用した総合的な施策

基幹産業が一次産業の水産業である神恵内村では、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への転換を目指しており、水産業の活性化と6次産業化により、関係者の所得向上を目標に取り組んでいます。

また、「神恵内村で子育てして良かった」と思える子育て・移住者支援施策を推進するとともに、ICT技術を小・中学生の授業や地域コミュニティ・地域医療などに活用し、住みよいまちづくりを目指しています。

プロジェクト

神恵内村デジタル田園都市国家構想推進事業

一次産業の振興／教育・地域コミュニティへのICT活用／子育て・教育支援／移住・定住施策の推進 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

250,000千円



令和7年にOPEN かもえない竜神温泉



■お問合せ先

神恵内村企画振興課

☎ 0135-76-5011

📧 kikaku-1@vill.kamoenai.hokkaido.jp

積丹町

人口 1,611人 (2026.2)
主な観光ポイント
神威岬、島武意海岸、水中展望船

子どもを育てやすい環境を整える事業



子育て支援センター



子ども第三の居場所

子育て世帯の負担軽減

子どもを産み、育てるうえで生じる負担を軽減させます。

- ①子どもと子育て家庭が健やかにすごせるための支援と健康づくりを進めます。
- ②子育てと仕事を両立できる環境づくりを進めます。

子育て環境の充実

積丹の自然や人とともに、子育てや教育を安心して楽しく行える環境をつくります。

- ①子どもと子育て家庭を支えあう地域づくりを進めます。
- ②子どもと子育て家庭の成長を支える、教育・保育の環境づくりを進めます。

プロジェクト

子どもを育てやすい環境を整える事業

子どもと子育て家庭が健やかにすごせるための支援と健康づくりを推進する／子育てと仕事を両立できる環境づくりを推進する など

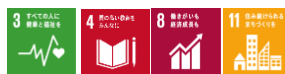
事業年度・事業費

令和3年度～

154,157千円



外国語指導助手（ALT）の配置



■お問合せ先

積丹町企画課

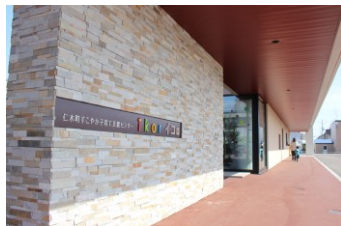
☎ 0135-44-2114

📧 kikaku@town.shakotan.lg.jp

仁木町

人口 3,010人 (2026.2)
主な観光ポイント
観光果樹園

地域の子どもたちとその家族が 安心して生活できる環境を目指して



仁木町すこやか子育て
支援センター「ikor-イコロ」



特産品のさくらんぼ

子どもを産み育てやすい環境をつくる

仁木町で暮らす人々がいつまでも安心して暮らし、魅力的な子育て環境、教育環境づくりを図るためには、妊娠・出産・育児から教育に至る切れ目のない支援と地域で子育てできる仕組みづくりが必要です。

安心して子どもを産み育てることができるよう、デジタル技術も活用して子育て支援サービスの充実を図るとともに、地域で社会で子育てを支える環境づくりを目指します。

■プロジェクト

「みんなで育てる子どもたち」活
き子育て・教育支援プロジェクト
不妊治療支援／出産祝金／高校生以下の
子ども医療費助成 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度
200,000千円（寄附希望額）



仁木町の風景



■お問合せ先
仁木町企画課未来創生係
☎ 0135-32-3953
✉ kikaku02-niki@town.niki.hokkaido.jp

室蘭市

人口 73,061人 (2026.2)
主な観光ポイント
地球岬・工場夜景・白鳥大橋

こどもや子育て世代が 住み続けたいと思えるまちを目指す！



保育所の負担軽減



室蘭ふるさと学習

安心してこどもを産み育てられる環境づくり

子育ての段階に応じたきめ細やかな支援により、安心してこどもを産み育てられる環境づくりを進めるほか、若い世代を中心とした結婚・出産の希望の実現や、未来を担うこどもたちの成長を支える教育環境の充実などにより、こどもや子育て世代が住み続けたいと思えるまちを目指した取り組みを進めています。

■プロジェクト

こどもや子育て世代が希望を持って
住み続けられるまちづくり事業
0・1・2歳児の保育料軽減／第3子以
降の学校給食費無償化／「室蘭ふるさと
学習」推進事業 など

事業年度・事業費

令和8年度
228,170千円



キッズパーク
（FKホールディングス
生涯学習センターきらん）



■お問合せ先
室蘭市企画財政部企画課
☎ 0143-25-2181
✉ kikaku@city.muroran.lg.jp

伊達市

人口 30,438人 (2026.2)
主な観光ポイント
観光物産館、北黄金貝塚、北湯沢温泉郷

みんなが豊かさを感じられる 市民幸福度最高のまち



新規就農の支援



子育て環境の充実

あらゆる世代に選ばれるまちを目指して

伊達市では、「第3期伊達市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン／総合戦略」において4つの基本目標を掲げ、温暖な気候や豊かな自然環境など、地域の特色を活かした施策の推進により、あらゆる世代に選ばれるまちづくりに取り組んでいます。

本市の取組に共感し、応援していただける企業の皆さまからのご連絡をお待ちしております。

プロジェクト

総合戦略に基づく事業

地域の特徴を活かした仕事を創出する事業／新しい人の流れ・賑わいをつくる事業 など

事業年度・事業費

令和7年度～10年度

26,000千円



■お問合せ先

伊達市役所企画財政部企画課企画調整係

☎ 0142-82-3114

📧 kikaku@city.date.hokkaido.jp

壮瞥町

人口 2,219人 (2026.2)
主な観光ポイント
昭和新山、洞爺湖、壮瞥公園

人材・担い手の育成と 子育て支援を充実させる事業



町立高校生と保育園児の交流事業



子育て支援の充実

人材・担い手の育成と子育て支援の強化

壮瞥町では、第3期総合戦略の基本目標の一つに「人材・担い手の育成と子育て支援の強化」を掲げています。基幹産業である農業の担い手や新たな産業従事者等を育成するとともに、若い世代が結婚し、安心してこどもを産み育てられる環境整備と支援の充実を図っています。

【具体的事業】

- ・就農支援対策事業
- ・町立高校（地域農業科）を活用した人材の育成
- ・子育て世代への切れ目ない支援事業
- ・良質な住環境の供給による移住・定住促進 など

プロジェクト

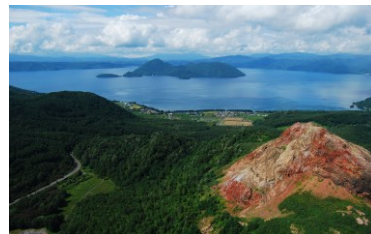
人材・担い手の育成と子育て支援の強化

地域産業の新たな担い手の確保／結婚・妊娠・出産・育児への切れ目ない支援 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

169,818千円



昭和新山・洞爺湖



■お問合せ先

壮瞥町企画財政課

☎ 0142-66-2123

📧 kikaku@town.sobetsu.lg.jp

白老町

人口 14,643人 (2026.2)
主な観光ポイント
ウポポイ、倶多楽湖、虎杖浜温泉

次世代人材への投資で未来をつくる



移住定住の相談



子育て世代の交流イベント

安心の子育て環境が企業にも利益を

白老町は、出生数減少の課題に取り組み、安心して子育てできる環境を整備しています。医療費無償化や産前産後支援など、次世代を支える取り組みは、企業にとっても将来の人材確保につながります。企業の社会貢献活動と直接連携し、地域の持続可能な発展に向けた投資を行いませんか。子育て支援は、企業価値向上にも寄与する重要な投資です。

プロジェクト

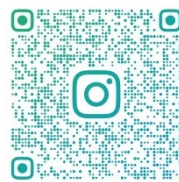
安心して育む家族の未来事業

宿泊型による産後支援／産前・産後相談サポート支援／健診、不妊治療に対する助成／高校生までの医療費無償化／保育園等の主食費及び副食費の無償化 など

事業年度・事業費

令和 7 ～ 9 年度

2,615,000千円



@SHIRAOIKOSODATE46

SNSによる子育て情報発信



■お問合せ先

白老町企画振興部企画政策課

☎ 0144-82-8213

✉ chiiki@town.shiraoi.hokkaido.jp

新冠町

人口 4,928人 (2026.2)
主な観光ポイント
レコード館、サラブレッド銀座、判官館森林公園

結婚・出産・子育ての 希望を叶えるまちづくり



サラブレッド銀座



子育て支援

若い世代が安心して暮らせる環境づくり

若い世代が安心して結婚、出産、子育てできるよう途切れの無い支援を行うほか、ICTを効果的に活用した最適で充実した学びの場づくりに取り組みます。

プロジェクト

結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちづくり事業

出産に関する環境の整備／ICTを活用した学びの場の充実 など

事業年度・事業費

令和 6 年度～

82,912千円



特定診断



■お問合せ先

新冠町企画課まちづくりグループ企画係

☎ 0146-47-2498

✉ teijyu@niikappu.jp

木古内町

人口 3,395人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅みそぎの郷きこない、新幹線ビュー
スポット、サラキ岬

木古内町みらいある事業



移住体験住宅外観



給食費無償化事業

木古内町みらいある事業

木古内町は、北海道で最初に新幹線が停まる町であり、渡島半島の交通資源を活かし、交流・関係人口の獲得に向けた取組を進めています。

移住・定住を促すため、住宅の取得やリフォームに対する助成を行っています。さらに、移住希望者を対象に生活を体験する機会を創出し、交流・関係人口の獲得を強化しています。

また、妊産婦への支援から出生祝い、入学祝い事業、町立学校における義務教育9年間の教育費や、18歳までの医療費の無償化といった切れ目のない子育て支援を展開しています。

プロジェクト 木古内町みらいある事業

出生祝い事業／入学祝い事業／マイホーム取得促進事業／空き家リフォーム助成事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～
164,767千円



出生祝い事業



■お問合せ先
木古内町まちづくり未来課
☎ 01392-2-3131
✉ info@town.kikonai.hokkaido.jp

鹿部町

人口 3,452人 (2026.2)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉、鹿部公園

未来きらきらプラン ～子育て負担0（ゼロ）への挑戦～



鹿部町の子どもたち



地元素材を使った給食の様子

若い世代が希望を持って結婚・出産・子育て ができる環境を構築する

鹿部町では「赤ちゃん誕生に関わる各種費用負担」、「幼児期・小・中学校における教育費の負担ゼロ」、「中学校・高校卒業時における新生活応援給付金」など、お子様の誕生から巣立ちまで、ロングランの行政支援に取り組んでいます。

また、卒業後に鹿部町に居住する条件が付いた奨学金返還支援制度により、鹿部町へのUターンを促進しています。

プロジェクト 子育て負担ゼロ事業

給食費無償化事業 など

事業年度・事業費

令和8年度
16,712千円



未来きらきらプラン
二次元コード



■お問合せ先
鹿部町企画振興課
☎ 01372-7-5297
✉ kikaku@town.shikabe.hokkaido.jp

森町

人口 13,222人 (2026.2)
主な観光ポイント
駒ヶ岳、さくら、鷲ノ木遺跡

■プロジェクト

結婚・出産・子育てプロジェクト

ことぶき出産奨励事業／認可保育所等保育料完全無償化事業 など

子育てしやすい環境を目指して



令和7年度完成 町立もり保育所



令和2年度完成 町立さわら幼稚園

森町入学・卒業祝金支給事業

施策のひとつとして、小学校、中学校入学及び中学校を卒業する児童又は生徒の養育者に入学・卒業祝金を支給することにより、その入学及び卒業を祝福し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ります。

森町に住む人が、結婚、妊娠、出産、子育てに対し、前向きに考えられるような環境づくりを目指しております。



町立森小学校の入学式の様子



■お問合せ先

森町役場企画振興課計画振興係

☎ 01374-7-1283

📧 kikaku@town.hokkaido-mori.lg.jp

森町

人口 13,222人 (2026.2)
主な観光ポイント
駒ヶ岳、さくら、鷲ノ木遺跡

■プロジェクト

交流・関係人口の増大プロジェクト

森高校との連携による若者定着推進事業／奨学金返還支援による若者定着推進事業 など

地元高校を希望に町の活性化を



寮生活の様子



練習の様子

北海道森高等学校学生寮運営補助事業

森町に所在する北海道森高等学校では、人口減少によりかつての活気が失われ野球部の部員が不在、事実上の廃部となりました。

しかし、元プロ野球選手が地域おこし協力隊へ着任、森高校野球部の監督となり、野球部を復活、僅か半年で地区大会準優勝の成績を残しました。

本施策では、寮の維持・運営をはじめ、町の空き家リノベーション、第2、第3の寮の整備、人材育成支援を主軸とし、甲子園という夢の共作者を募っております。この施策を通し、町の活性化を目指しております。

事業年度・事業費

令和8年度

5,378千円



駒ヶ岳と噴火湾に囲まれた森町市街地



■お問合せ先

森町役場企画振興課計画振興係

☎ 01374-7-1283

📧 kikaku@town.hokkaido-mori.lg.jp

士別市

人口 15,988人 (2026.2)
主な観光ポイント
羊と雲の丘、世界のめん羊館

サフォーク羊によるまちづくりと 合宿等による関係人口創出



士別サフォーク



合宿の聖地共創

米のまちと つぎの未来へ

士別市では「第2次士別市まちづくり総合計画」に包含した総合戦略において3つの重点プロジェクトを掲げ、士別市が目指す都市像へ向かって取り組んでいます。

「合宿の聖地共創」として合宿受入体制の強化や招致活動の充実、「農業の未来共創」として持続可能な生産基盤の確立や担い手の育成・確保、「未来の士別共創」としてコンパクトタウンの推進やまちなか拠点整備による賑わい創出、移住定住の促進、子育て支援の充実などの各種事業を通して、『天塩の流れとともに 人と大地が躍動するすこやかなまち』を目指します。

プロジェクト

総合戦略重点プロジェクト

「合宿の聖地共創」事業／「農業の未来共創」事業／「未来の士別共創」事業

事業年度・事業費

令和8年度～11年度
440,000千円



農業の未来共創



未来の士別共創



■お問合せ先
士別市総務部総合政策課
☎ 0165-26-7814
✉ hishoshitsu@city.shibetsu.lg.jp

当麻町

人口 5,905人 (2026.2)
主な観光ポイント
当麻鐘乳洞、昆虫館

地域環境をいかした子育てから 豊かな心を育む「まち」づくり事業



小学校給食の様子



地域のふれあい

切れ目のない子育て支援の体制を整備

まちづくりのテーマである「食育・木育・花育」に関するイベントや事業の展開から、当麻で暮らす、そして関わる全ての子どもたちの豊かな心を育む「心育」を推進します。結婚から子育てまで切れ目ない支援により、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

核家族や少子高齢化が進む今、世代をこえて地域全体で支える環境や、保護者同士が交流できる温かい居場所づくりを通して、皆さんが安心して子育てできる「まち」づくりを推進します。

プロジェクト

循環型社会へつなぐ中学生制服事業
制服にリサイクル素材を活用し、循環型社会に対する意識を高めます。

ふるさと思い出機製作事業

当麻で育った木の温もりを感じながら、自分が使う机を自分でつくります。

事業年度・事業費

令和8年度
5,509千円



当麻山で木育学習



■お問合せ先
当麻町まちづくり推進課地域振興係
☎ 0166-84-2111
✉ machidukuri@town.tohma.hokkaido.jp

増毛町

人口 3,387人 (2026.2)
主な観光ポイント
増毛駅から続くふるさと歴史通り

「高血圧ゼロ」で 元気に長生きできるまち



高血圧ゼロのまちを目指します！



イベントでの血圧相談

高血圧を予防し健康寿命を延伸

増毛町が実施する「高血圧ゼロのまちプロジェクト」は、日本高血圧学会が実施する高血圧ゼロのまちモデルタウン事業の第1号として認定されています。

貸出用の血圧計の整備や運動施設の維持管理など、血圧対策を多くの町民に拡充し、健診、血圧測定、運動、減塩を習慣化させることで健康寿命を延ばし、生涯現役（高齢者の収入増加と就労促進）と社会保障の安定（医療費、介護費の適正化）を目指します。

第9期（R6～8）の介護保険料は、第8期から801円減額し、北海道で最大の減額率（▲13.2%）となりました。

プロジェクト

高血圧ゼロのまちプロジェクト

健康診断の推進／運動施設の維持管理／減塩の普及 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度

232,765千円



子ども達への減塩教室



■お問合せ先
増毛町福祉厚生課保健指導係
☎ 0164-53-3111
✉ fukusi@town.mashike.hokkaido.jp

初山別村

人口 956人 (2026.2)
主な観光ポイント
みさき公園、しょさんべつ天文台

地域公共交通対策事業



車両（しょさまる号）



初山別診療所

住民との協働によるデマンド型車両運行

初山別村では、交通空白地帯を解消する持続可能な新しい地域公共交通の構築を目的として、令和3年4月から自家用車を持たない高齢者を対象に、デマンド型車両を運行しています。

本事業の主な利用目的は通院、催し物・会合への参加、買い物等で多くの方に利用されています。

地域住民（ボランティアドライバー）の献身的な行動により、人と人とのつながりが深まり、本村が掲げる「協働の村づくり」に添った事業の展開が図られています。

プロジェクト

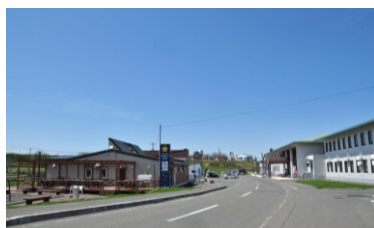
定住・移住促進、生活環境プロジェクト

交通弱者対策「地域公共交通対策事業」

事業年度・事業費

令和8年度

12,052千円



みさき台公園



■お問合せ先
初山別村役場企画振興室
☎ 0164-67-2211
✉ soumu.kikaku@vill.shosanbetsu.lg.jp

浜頓別町

人口 3,152人 (2026.2)
主な観光ポイント
クッチャロ湖、温泉、砂金公園

安心して子育てできる環境と、 学力・郷土愛の向上を目指します



町の自然の魅力を学ぶ体験プログラム
「浜頓別町ジュニアガイドアカデミー」



クッチャロ湖の素晴らしさを体感
SUP体験学習の様子

出産・子育てしやすい環境の整備

若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる地域社会をつくとともに、学力向上と豊かな郷土愛を育む環境を目指します。

具体的な施策として、妊産婦や子どもの医療費助成、地域の将来を支えるIターン、Uターン、Jターン人材育成のための地学協働、さらにジュニアガイドアカデミーなどを通じた自然環境学習や研究交流を実施しています。

プロジェクト

浜頓別みらいプロジェクト～かなえる～

保健・医療の充実／児童福祉の充実／学校教育の充実／生涯教育の充実 など

事業年度・事業費

令和8年度

10,000千円



子どもは18歳まで医療費無料
町外での出産にかかる費用を一部助成



■お問合せ先

浜頓別町総務課地方創生推進室

☎ 01634-2-2345

📧 sousei@town.hamatonbetsu.lg.jp

網走市

人口 31,420人 (2026.2)
主な観光ポイント
網走監獄、流氷館、能取岬

医療提供体制の新たな仕組みづくり



医療MaaS



移動型医療サービスの導入

地域医療が抱える課題への対応を図り、必要な医療を提供するための新たな選択肢として、看護師が搭乗した専用車両が患者宅等を訪問して車内でオンライン診療を行う移動型医療サービス（医療MaaS）を行っています。今後はオンライン診療とあわせ、専用車両の多角的な活用を図ります。

プロジェクト

移動型医療サービス推進事業

医療MaaSの運行

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

125,956千円



車両内部



■お問合せ先

網走市企画総務部企画調整課

☎ 0152-67-5380

📧 ZUSR-KS-KIKAKU-KIKAKU@city.abashiri.hokkaido.jp

訓子府町

人口 4,369人 (2026.2)
主な観光ポイント
レクリエーション公園

■プロジェクト

「子育て世帯の経済的な負担の軽減」にむけた事業

持続可能なまちづくり／子育て・教育環境づくり／関係人口の創出／人材育成／魅力発信 など

事業年度・事業費

令和 8 年度

50,683千円



訓子府高校

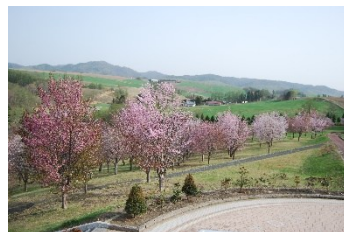


認定こども園「わくわく園」

子育て世帯の経済的な負担の軽減

子どもが健やかに成長することができるよう、学校と家庭、地域が連携を図りながら、多様な体験活動を通してふるさとの魅力や素晴らしさを知る、ふるさと教育「くんねぷ学」を推進し、こども園から高校までの学びの連続性「訓子府スタイルの幼少中高連携教育」の充実を図っています。

町内の幼小中高の教育環境の充実や、町内唯一の道立高校である訓子府高等学校の生徒へ学校に必要な教材や入学準備支援、通学費、修学旅行費、各種資格取得に係る検定料などを支援し、将来の持続可能なまちづくりを担う人材の育成に努めています。



レクリエーション公園



■お問合せ先
訓子府町政策推進課地域創生推進室
☎ 0157-47-2115
✉ seisaku@town.kunneppu.hokkaido.jp

滝上町

人口 2,158人 (2026.2)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

■プロジェクト

子育て世帯への経済的支援

子育て支援策の充実による移住定住対策及び出生率の向上に寄与

事業年度・事業費

令和 8 年度

700千円



小3を対象としたエアウォーク



庁内キッズスペース

子育て世代へ経済的な支援を行い、子育てしやすいまちづくり

子育てに係る経済的支援への要望が多く寄せられています

本町の合計特殊出生率は継続して低下傾向にあり、社人研の将来人口推計では、今後も減少し続けます。少子化が進行するとされています。結婚を控えた若年世代や子育て世代が子どもを望み、産み育てたいと将来へ向けて展望を持ち、安心して希望をかなえられる環境づくりを推進します。滝上町では妊娠から出産・子育てまでの相談支援や保育サービス等の支援環境を充実させています。町民アンケートでも子どものライフステージに応じた経済的支援が求められています。



図書館児童書コーナー



■お問合せ先
滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係
☎ 0158-29-2111 (内線220)
✉ machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

興部町

人口 3,421人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 道の駅「おこっぺ」、沙留海水浴場

子育て世代の抱える負担の軽減に 総合的に取り組む事業



完成後の認定こども園
 (外観イメージ)



完成後の認定こども園
 (内部イメージ)

未来の担い手である子どもたちが 健やかに生まれ育つ環境を整えます

就学前の子どもに対し、質の高い幼児教育及び保育を総合的に提供するため、町立保育所と私立幼稚園を一体化した幼保連携型認定こども園の整備を進めるとともに、同施設内に保護者の就労等による放課後児童の居場所づくりとしての放課後児童クラブと、子育て世代への各種相談・情報提供や未就園児の一時預かりなど包括的に子育て支援を行う地域子育て支援拠点（子育て支援センター）を併設し、保護者・児童・地域社会におけるパートナーシップによる興部町の子ども・子育て支援の拠点化を図ります。

プロジェクト

幼保連携型認定こども園等複合型施設整備事業

幼保連携型認定こども園、放課後児童クラブ、地域子育て拠点の複合型施設の整備事業

事業年度・事業費

令和7年度～8年度

1,543,330千円



保護者や子ども同士の交流、相談の場
 「ここいく広場」



■お問合せ先
 興部町福祉保健課こども子育て支援係
 ☎ 0158-82-4120
 ✉ okp-fukusi@town.okoppe.lg.jp

音更町

人口 42,157人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

若者や女性にも 選ばれるまちをつくる事業



市街地の様子



広大な農村風景

子育て支援などの充実、 アンコンシャス・バイアスの変革

結婚を望む人や子どもが欲しい人の希望がかなえられるまちの実現に向け、地域の実情に応じたきめ細かな支援を行います。家庭や職場などでのジェンダー平等、女性の活躍、仕事と出産・子育ての両立など、若い世代の行動や意識の変化を直視し、アンコンシャス・バイアスの変革を図りながら、多様な選択・生き方が尊重される地域社会の実現に向け、地域、教育機関、企業などと連携し、誰もが活躍できるまちづくりを推進します。

プロジェクト

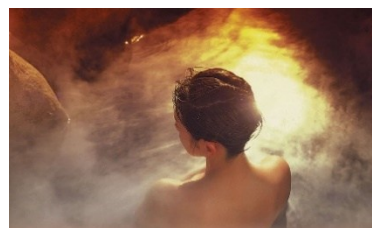
子育て支援などの充実、アンコンシャス・バイアスの変革

公営住宅の整備、維持管理／教育環境の整備／義務教育内容の充実／母子保健の充実 など

事業年度・事業費

令和8年度～12年度

2,600,000千円



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先
 音更町企画財政部まちづくり推進課
 ☎ 0155-42-2111
 ✉ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

清水町

人口 8,570人 (2026.2)
主な観光ポイント
清水公園、十勝千年の森、日勝峠展望台

子どもを安心して産み・育てられるまち



しみず認定こども園の様子



御影小学校運動会でよさこいを披露

まちぐるみで子育てを応援

清水町では、人口減少の加速に対応するため、まちぐるみで子育て世帯を支え、応援するまちづくりを推進しています。妊娠から出産、子育てなどライフステージに合わせた切れ目のない支援により、子育て家庭を応援しています。未来を担う子どもたちの健やかな成長のために家庭、学校、地域そして企業が連携をしながら、社会全体で子どもを支える環境づくりを進めています。

■プロジェクト

まちぐるみで子育て応援プロジェクト

不妊・不育治療支援／出産祝い金／第2子以降保育料無料化／18歳までの医療費無料化 など

事業年度・事業費

令和2年度～

52,200千円



日勝峠から望む清水町



■お問合せ先

清水町企画課

☎ 0156-62-2114

✉ kikaku@town.shimizu.hokkaido.jp

芽室町

人口 17,555人 (2026.2)
主な観光ポイント
新嵐山スカイパーク展望台、芽室公園

安心した子育てができるまち。 学びの力と生きる力で未来を創る



①教材・教具整備事業



②妊婦等相談・支援事業

子ども・子育て・教育 ～「未来を育む」プロジェクト～

①教材・教具整備事業（小学校・中学校）

経年劣化に要するクラリネット（小学校）及び「クラリネット」「グロッケン・スタンド」（中学校）の整備を行うことにより、少年団活動の活発化に繋がります。

②妊婦等相談・支援事業

パパママ教室、後期妊婦相談(両親面談)における親準備支援や、健康教育事業における命の大切さや自己肯定感を育む授業のため「胎児モデル」を新たに購入・活用します。

■プロジェクト

こども・子育て・教育～「未来を育む」プロジェクト

教材・教具整備事業（小学校）/教材・教具整備事業（中学校）/妊婦等相談・支援事業

事業年度・事業費

令和8年度

① 390千円(小学校) 1,200千円(中学校)
② 390千円



学習に励む子どもたち



■お問合せ先

芽室町魅力創造課魅力発信係

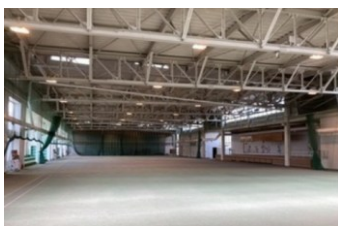
☎ 0155-62-9736

✉ m-hasshin@memuro.net

芽室町

人口 17,555人 (2026.2)
主な観光ポイント
新嵐山スカイパーク展望台、芽室公園

発祥の地から未来へつなぐ。ゲートボールの聖地「健康プラザ」改修事業



ゲートボール施設「健康プラザ」

ゲートボールの歴史を次世代へ

北海道十勝の芽室町は、1947年にゲートボールが誕生した「発祥の地」です。私たちは多世代交流と健康増進の拠点として、通年型屋内施設「健康プラザ」を運営してまいりました。

しかし、長年の利用により施設の経年劣化が進み、屋根修繕や人工芝張替えといった大規模改修が急務となっています。本施設は地域コミュニティの要であり、次世代へ繋ぐべき大切な場所です。ゲートボールの聖地を未来へ残すプロジェクトに、ぜひお力添えをお願い申し上げます。

プロジェクト

こども・子育て・教育～「未来を育む」プロジェクト

健康プラザ改修事業

事業年度・事業費

令和8年度～令和9年度

100,000千円



学習に励む子どもたち



■お問合せ先
芽室町魅力創造課魅力発信係
☎ 0155-62-9736
✉ m-hasshin@memuro.net

芽室町

人口 17,555人 (2026.2)
主な観光ポイント
新嵐山スカイパーク展望台、芽室公園

快適健康づくりができるまち。心地よさと暮らしやすさと心強さの生活環境



①各種がん検診事業



②めむろ駅前プラザ維持管理事業

ほどよい田舎まちの「健康快適暮らし」プロジェクト

①各種がん検診事業

がん患者の心理的及び経済的な負担の軽減に繋がる「医療用ウィッグ・胸部補整具」を新たに購入することにより、療養生活の質の向上や就労継続等の社会生活の支援を実現します。

②めむろ駅前プラザ維持管理事業

めむろ駅前プラザ（めむろード）に施設開館当初（平成10年）から設置されている製氷機が令和6年度より故障していることから、新たに製氷機を購入し、利用者の満足度向上に繋がります。

プロジェクト

ほどよい田舎まちの「健康快適暮らし」プロジェクト

各種がん検診事業/めむろ駅前プラザ維持管理事業

事業年度・事業費

令和8年度

① 200千円 ② 470千円



年代問わず交流を重ねる町民



■お問合せ先
芽室町魅力創造課魅力発信係
☎ 0155-62-9736
✉ m-hasshin@memuro.net

池田町

人口 5,771人 (2026.2)
主な観光ポイント
ワイン城、DCT garden IKEDA、千代田堰堤

■プロジェクト

池田高等学校総合学科支援事業

北海道池田高等学校の存立と安定した間口の確保並びに生徒の進路活動等の支援

結婚・出産・子育ての 希望をかなえる事業



高校生発表会



北海道池田高等学校

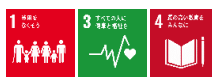
事業年度・事業費

～令和8年度

32,201千円



町章



子育て環境を整備します

結婚、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援体制を構築するとともに、子どもの育ちへの適切な対応、様々な体験活動の提供などを通じて、結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられる地域づくり、社会全体で子どもを守り育てる環境を整備します。

■お問合せ先
池田町企画財政課
☎ 015-572-3112
✉ kikaku@town.hokkaido-ikeda.lg.jp

釧路市

人口 151,375人 (2026.2)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

■プロジェクト

子育て環境整備・支援事業

保育環境の整備／子育て環境の充実/医療費助成など

安心してこどもを 生み育てられる環境を整備



子育て支援センターを利用する親子



乳幼児対象の遊び場
(ちびっこマンデープラス)

子育て世帯が働きやすい環境を整備

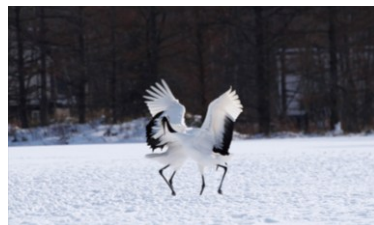
釧路市では、共働き世帯や出産後の就労を希望する母親が増加傾向にあり、子育て世帯が安心して働くことができるよう、定期的に利用できる教育・保育施設などの保育の受け皿機能の確保が求められています。

少子化やそれに伴うこどもを取り巻く家庭・社会環境の変化の中で、こどもの成長にしっかりと向き合いながら、質の高い教育・保育や子育て支援の安定的な提供、健康増進と健やかな育成に向け、保育所等の整備や、乳幼児対象の遊び場の充実、医療費助成など、こども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

事業年度・事業費

令和8年度

469,062千円



特別天然記念物のタンチョウ



■お問合せ先
釧路市マーケティング戦略室
☎ 0154-68-5949
✉ ma-marketing@city.kushiro.lg.jp

標茶町

人口 6,687人 (2026.2)

主な観光ポイント
釧路湿原、多和平

標茶高校の魅力を全国に発信し、 高校から全国にまちの魅力を発信



標茶高校外観



授業風景

魅力溢れる学びの提供

「標茶高校」は、「総合学科」ということもあり、学びたいことを深く学ぶことができる高校です。標茶高校での学びは地域との距離が近いことも特徴の一つで、地域のお祭りでは、高校で採れた農作物や加工品を販売したり、興味のある生徒がゼミ活動の一環としてふるさと納税の返礼品開発を行うなど、生徒の興味に学校とまちが一丸となってサポートできる学校です。

そんな高校ですが、近年生徒数が減少し、間口減少の危機に瀕しています。高校の魅力を全国に発信し、高校から全国にまちの魅力を発信できる体制を構築します。

プロジェクト

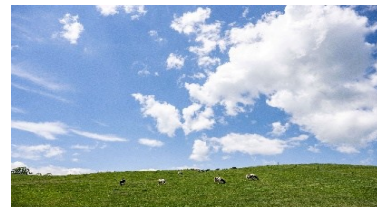
安心して子どもを産み育てることができる環境整備事業

子育て支援・子育て環境の整備/高校教育の確保 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

500,000千円



町内放牧風景



■お問合せ先

標茶町観光商工課交流推進係

☎ 015-485-2111 (内線253)

✉ k_koryu@town.shibecha.lg.jp

標津町

人口 4,675人 (2026.2)

主な観光ポイント
標津サーモン科学館、ポー川史跡自然公園、
野付半島

標津町まち・ひと・しごと 創生推進事業



ジャングルカヌー (ポー川)



幼児期からの運動習慣形成

出産・子育て、暮らしと仕事を応援します

出産・子育て・教育などの子育て支援、安心して暮らし続けられる生活環境や施設などの基盤の整備、サケ・ホタテを主とした水産業と酪農業の基幹産業の持続・発展のほか、新たな産業振興への支援など、様々なライフステージに応じた支援と、日本有数の食の生産基地としての役割を果たします。

また、当地域で遥か10000年前から連綿と続く“鮭”にまつわるストーリーである、日本遺産「鮭の聖地」の物語を軸とした観光振興と鮭にまつわる文化的新興の発信などにより、交流人口や関係人口を創出します。

プロジェクト

標津町まち・ひと・しごと創生推進事業

子育て支援/住み続けられるまちづくり
/防災対策、日本遺産「鮭の聖地」の取り組み

事業年度・事業費

令和8年度

160,000千円



高校生による小学生への防災出前授業



■お問合せ先

標津町企画政策課

☎ 0153-85-7240

✉ kikaku@town.shibetsu.lg.jp

三笠市

人口 6,967人 (2026.2)
主な観光ポイント
三笠市立博物館、三笠鉄道記念館、道の駅三笠

石炭や木質バイオマスから 低炭素水素等の製造・CO₂ 地下固定化



水素製造プラント



水素製造実証の様子

H-UCG：ハイブリッド石炭地下ガス化

三笠市の豊富な地域資源である石炭と木質バイオマスを活用して低炭素水素を製造するH-UCG（ハイブリッド石炭地下ガス化）事業に取り組んでいます。

水素製造時に発生するCO₂は、昔の石炭採掘跡などに埋め戻すことでCO₂排出量実質ゼロを目指します。

この事業は、地域資源を活用したエネルギーの地産地消や新たな産業・雇用の創出によるマチの活性化を目的とするほか、ゼロカーボン（脱炭素）北海道への貢献を目指しています。

プロジェクト

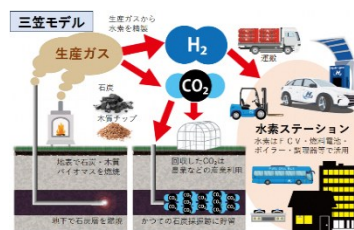
三笠市地方創生プロジェクト

未利用エネルギー活用事業／高校生「食」のコンクール実施事業／三笠ジオパーク推進事業／北海盆おどり実施補助事業

事業年度・事業費

令和8年度～

1,200,000千円



H-UCG事業の概念図



■お問合せ先

三笠市産業開発課

☎ 01267-3-7090

📧 sangyok@city.mikasa.hokkaido.jp

月形町

人口 2,621人 (2026.2)
主な観光ポイント
月形樺戸博物館、道の駅275つきがた

産業を元気にして、 月形町ににぎわいを創る



ミニトマト



花き

月形町の新規就農者を応援します

月形町の基幹産業である農業（ミニトマト、花き）の振興を図るとともに、高齢化や担い手不足による農業者の減少対策として、次代の地域農業を担う新規就農者の確保に取り組んでいます。新たに農業を始める新規就農者に対して、奨励金や補助金、無利子融資制度等の条例を定め、様々な角度から支援しています。また、研修期間中は、受入指導農家の下での研修や実習農場での実践的な研修が可能なため、一定水準の栽培技術を研修期間中に取得できるなど、月形町の基幹産業の担い手育成に力を注いでいます。

プロジェクト

新規就農者への支援

新規就農者を目指す方の研修に要する経費に対する奨励金や就農時の農業用施設・機械の取得、住宅の新築、購入等の費用に対する補助金を交付

事業年度・事業費

令和8年度

41,958千円



観光協会マスコットキャラクター
「ベルデくん」



■お問合せ先

月形町企画振興課企画係

☎ 0126-53-2325

📧 kikaku@town.tsukigata.hokkaido.jp

新十津川町

人口 6,127人 (2026.2)
主な観光ポイント
しんとつかわキャンプフィールド、ふるさと公園、かぜのび

スマート農業推進支援事業



稲刈り



田起こし

産業を活性化し、安定就業を創出します。

基幹産業として地域経済を牽引し続けてきた農業の基盤や就労環境の整備を支援し、豊かな自然環境や食などの地域資源を生かした産業の展開を目指す事業、町内への企業進出や既存企業の規模拡大を促し、事業者の人材の確保や育成を支援することで、雇用の継続や拡大につながる環境づくりに努めます。

プロジェクト

安定した就業創出プロジェクト

次世代農業の普及／担い手の育成及び確保体制の推進／町内消費拡大取組への支援 など

事業年度・事業費

令和 8 年度

10,100千円



観光PRキャラクター「こめぞー」



■お問合せ先

新十津川町

☎ 0125-76-2131

📧 soumuka@town.shintotsukawa.lg.jp

秩父別町

人口 2,120人 (2026.2)
主な観光ポイント
ローズガーデン、屋内遊戯場ちっくる、屋外遊戯場キュービックコネクション

ゼロカーボンシティの実現に向けて



田園風景が広がる秩父別町市街地 地域マイクログリッド構築事業イメージ

マイクログリッド構築事業

秩父別町は令和 3 年12月にゼロカーボンシティ宣言を行い、地球温暖化の課題に対し、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの強化などの取組みを進め、持続可能なまちづくりを推進しています。令和 4 年度から 6 年度には、指定避難所を含む複数の公共施設が密集している秩父別温泉周辺で、太陽光発電と蓄電池を組み合わせたマイクログリッドを構築しました。これにより、平時には再生可能エネルギーの地産地消によるゼロカーボンの推進を図り、大規模停電時には指定避難所などへの電力供給を可能とすることで地域のレジリエンス強化を図ります。

プロジェクト

秩父別町創生推進事業

将来にわたり安心して快適に暮らせるまちにする

事業年度・事業費

令和 7 年度～11年度

25,168千円



秩父別温泉ちっぶゆう&ゆ



■お問合せ先

秩父別町企画課

☎ 0164-33-2111

📧 kikakuka@chippubetsu.jp

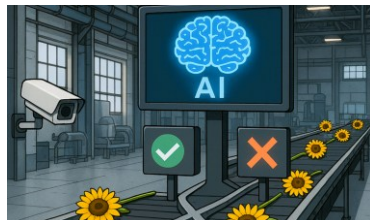
当別町

人口 14,937人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 北欧の風 道の駅とうべつ、ロイズカカオ &
 チョコレートタウン

産業力の強化～しごとの創生～



脳波の測定



自動選別機のイメージ図

スマート農業を目指しDX化を推進

当別町農業10年ビジョンに定めるスマート農業の推進のため、町の特徴的な農作物である“花き”分野でのDX化を進めていきます。

主な施策として、収穫後の選別作業に係る時間削減や、受入れ品種の増加を図るため、花き共選施設での自動選別機導入実証を行い、花き栽培に関するマニュアル整備を進め、新規作付者の拡大を図る取組を進めていきます。

その他、当別町では住宅支援金など、さまざまな事業を実施していますので、各プロジェクトに対しご支援いただける企業様をお待ちしております！

プロジェクト

農業10年ビジョン推進プロジェクト

スマート農業に向けた各施策を実施

事業年度・事業費

令和7年度～9年度

2,000千円



■お問合せ先

当別町企画部企画課企画係

☎ 0133-23-2393

✉ kikaku@town.tobetsu.hokkaido.jp

共和町

人口 5,211人 (2026.2)
 主な観光ポイント
 神仙沼、西村計雄記念美術館

「癒やし」と「にぎわい」が調和する 新たな観光拠点を目指して



道の駅外観イメージ

道の駅施設整備事業

共和町では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に4つの基本目標を掲げています。そのひとつである「都市部とのつながりを築き、共和町への新しい人の流れをつくる」の実現に向け、新たに（仮称）道の駅「かかしの郷きょうわ」を整備し、農業をはじめとする地域産業の活性化や、地域住民の日常的な居場所、にぎわいの拠点、さらに倶知安余市道路の共和IC（仮称）開通を見据え、岩宇地域全体の情報発信、周遊・滞在型広域観光の起点となるよう、人々がたくさん集い、「癒やし」と「にぎわい」が調和する共和町の新しい旅の目的地を目指します。

プロジェクト

道の駅施設整備事業

○施設概要

産直・物販エリア/子どもの屋内遊戯施設/温浴施設/レストラン/オートキャンプサイトなど

事業年度・事業費

令和7年度～令和8年度

3,000,000千円



開業に向け新たに開発された
 スイカサイダーとメロンスカッシュ



■お問合せ先

共和町企画振興課

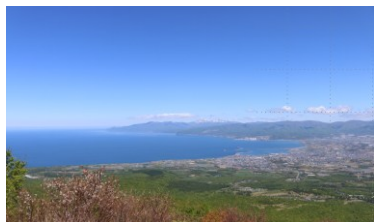
☎ 0135-67-8795

✉ kikaku@town.hokkaido-kyowa.lg.jp

岩内町

人口 10,583人 (2026.2)
主な観光ポイント
いわない温泉、オートキャンプ場マリンビュー

岩内町街なか活性化プロジェクト



岩内町全景



道の駅いわない

市街地の中心拠点である道の駅と 周辺環境の再整備をめざして

北海道西海岸、日本海に面する岩内町。

札幌圏や後志エリアからのアクセス性を活かし、観光・物流・地域産業の結節点として大きな可能性を持つエリアです。

現在、岩内町では、岩内町産業振興プランに掲げる「食と観光」を核に、岩内ならではの海の幸などの地域資源を活かすほか、空き店舗等の活用による賑わい創出など、市街地の中心拠点である道の駅とその周辺環境の再整備を目指してまいります。

プロジェクト

岩内町街なか活性化プロジェクト

中心市街地や公共交通機関を含めた道の駅周辺の再整備に向けた検討

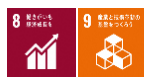
事業年度・事業費

令和7年度～12年度

37,686千円（令和8年までの事業費）



漁師町の海の幸



■お問合せ先
岩内町総務部企画財政課
☎ 0135-62-1011
✉ kikaku@town.iwanai.lg.jp

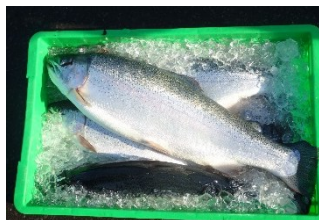
泊村

人口 1,382人 (2026.2)
主な観光ポイント
鯨御殿、弁天島

水産業を活かし、 安心して働ける場をつくる事業



カブトホタテ



カブトサーモン

養殖漁業の安定化と後継者の確保に向けて

近年の気候変動等の影響により、するめいかや秋さけ等の漁獲量が大幅に減少するなかで、漁業経営の安定化を図るため、泊村では「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への転換を図ってまいりました。

ホタテガイの養殖漁業等のほか、令和3年度からトラウトサーモンの養殖事業化に向けた実証試験を行っており、生残、成長等の知見を収集し、養殖漁業の更なる発展を図ることで、漁業経営の安定化と後継者の確保・育成に繋がるよう、取り組みを強化していきます。

プロジェクト

水産業を活かし、安心して働ける 場をつくる事業

漁業の多角化の推進／地域特産品の開発
／漁業就業者支援事業／陸上水産養殖事業

事業年度・事業費

令和3年度～

200,000千円



ブランドロゴ



■お問合せ先
泊村総務企画課
☎ 0135-75-2021
✉ soumu-ki@ad.vill.tomari.hokkaido.jp

積丹町

人口 1,611人 (2026.2)
主な観光ポイント
神威岬、島武意海岸、水中展望船

基幹産業の魅力を高め、 地域経済を活性化させる事業



畑作



磯舟漁

基幹産業の強化と後継者の確保・育成

農業、水産業を安定させるとともに、地域づくり人材の育成・確保に向け若い世代がこれらの担い手となるために必要な支援や環境整備等を実施します。

- ①農業、水産業の安定生産を図り、担い手を増やします。
- ②ウニ殻活用を起点に天然資源・経済・環境の循環を推進し地域活性化に取り組みます。(ブルーカーボン推進等)

地域資源を活かした特産品開発の推進

町内の商工観光業者や外部機関との連携等により、農業や水産業を軸とした特産品開発を推進します。

- ①農水産物を使った新たな商品開発によるブランド化を支援します。
- ②農水産物や二次製品の販路拡大や地産地消を支援します。

プロジェクト

基幹産業の魅力を高め、地域経済を活性化させる事業

農業、水産業の安定生産を図り、担い手を増やす／町内の域内経済循環を活性化させ、商工業の担い手を増やす など

事業年度・事業費

令和3年度～

67,352千円



未利用食材「ダルス」を使った佃煮



■お問合せ先

積丹町企画課

☎ 0135-44-2114

✉ kikaku@town.shakotan.lg.jp

余市町

人口 16,600人 (2026.2)
主な観光ポイント
余市宇宙記念館、ニッカウキスキー余市蒸溜所、ニトリ観光果樹園

よいちガストロノミー ツーリズムプロジェクト



ニッカウキスキー北海道 余市蒸溜所 日本有数のワイン用ぶどうの産地



ガストロノミー（食文化）による観光推進

豊富な海産物や農産物、酒などの豊富な食資源からなる「食の産地」としての特性を最大限発揮し、食と酒と文化を有機的に一体のストーリーとして結び付け、高付加価値化された料理や商品に落とし込むことで、観光消費額拡大に向けた「稼ぐ観光」を推進します。また、商品等と町内の文化財を活用し、ガストロノミー要素を取り入れた高単価な旅行商品造成など、観光客を周年かつ安定的に受け入れることができる体制整備を図り、将来にわたって持続可能な地域づくりを進めます。

プロジェクト

食資源の生産力強化及び受入環境体制の構築

持続可能な一次産業の生産基盤の確立／イベント等を通じたPR・食文化形成の機運醸成など

事業年度・事業費

令和6年度～8年度

172,468千円



豊富な食資源



■お問合せ先

余市町総合政策部政策推進課

☎ 0135-21-2117

✉ s.cyousei@town.yoichi.hokkaido.jp

室蘭市

人口 73,061人 (2026.2)
主な観光ポイント
地球岬・工場夜景・白鳥大橋

室蘭の特性を活かした、産業振興と働く人を選ばれるまちを目指す！



主要産業の製造業



創業支援を活用した新規出店

ものづくりを活かした産業振興と働く場の環境づくり

本市の特性であるものづくりを活かした産業振興と経営基盤の強化のほか、医療や交通などの多種多様な働く場の環境づくりと外国人材等の働き手確保により、地域経済の活性化と働く人を選ばれるまちを目指した取り組みを進めています。

■プロジェクト

まちの特性を活かした産業振興と働く人が集まるまちづくり事業

ものづくり創出支援事業／地域公共交通担い手不足への対応／働き手確保支援事業／市内創業支援等事業 など

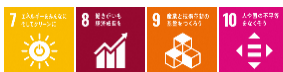
事業年度・事業費

令和8年度

93,590千円



地域公共交通担い手確保の取組



■お問合せ先
室蘭市企画財政部企画課
☎ 0143-25-2181
✉ kikaku@city.muroran.lg.jp

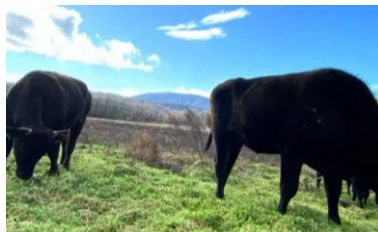
白老町

人口 14,643人 (2026.2)
主な観光ポイント
ウボポイ、倶多楽湖、虎杖浜温泉

次世代一次産業への投資で地域活性化



陸上養殖の様子



白老牛

共創モデルで持続可能な成長を

白老町では、ホッケの陸上養殖技術の確立や次世代和牛の生産システムを構築し、持続可能な一次産業を目指しています。産業従事者の高齢化と地域経済の停滞を乗り越えるため、企業の皆様と共に、地域資源を活用した新たな雇用創出と価値向上に挑戦しています。ご寄附を通じて、新しい雇用の場と企業の社会貢献を同時に実現しませんか。地方創生のモデルとして、全国に広がる可能性を秘めた事業です。

■プロジェクト

地域から広がる新たな雇用事業

多様な人材が活躍できる雇用環境の整備、地域ブランドのブラッシュアップと新商品開発チャレンジなど

事業年度・事業費

令和7～9年度

2,842,000千円



報告会の様子



■お問合せ先
白老町企画振興部企画政策課
☎ 0144-82-8213
✉ chiiki@town.shiraoi.hokkaido.jp

白老町

人口 14,643人 (2026.2)
主な観光ポイント
ウポポイ、倶多楽湖、虎杖浜温泉

北海道の文化拠点で 社会的責任を果たす



提供：公益財団法人アイヌ民族文化財団

民族共生象徴空間ウポポイ



白老牛

地域資源を活かした企業連携

白老町は、アイヌ文化発信の拠点「ウポポイ」を有し、地域の自然や食文化など豊かな資源を最大限に活用しています。地域資源を活用した観光振興やブランド強化は、企業の社会貢献活動としても価値があります。また、地域の発展に貢献することで、企業にとっても新たな市場創出やブランド向上のチャンスとなります。企業版ふるさと納税を通じて、地域と企業が共に成長する持続可能な社会づくりにご支援をお願いいたします。

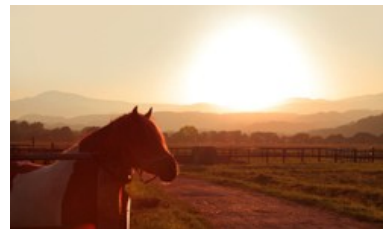
プロジェクト

人を引き寄せる資源の活用事業

ウポポイを核としたインバウンド観光強化と誘客イベントの開催／ふるさと納税の維持・拡大による関係人口増 など

事業年度・事業費

令和 7 ～ 9 年度
2,842,000千円



競走馬



■お問合せ先
白老町企画振興部企画政策課
☎ 0144-82-8213
✉ chiiki@town.shiraoi.hokkaido.jp

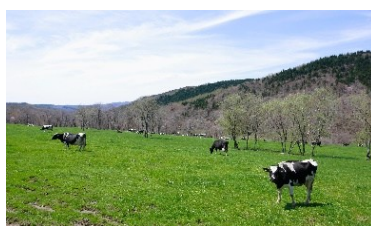
新冠町

人口 4,928人 (2026.2)
主な観光ポイント
レ・コード館、サラブレッド銀座、判官館
森林公園

産業振興の活性化によるまちづくり



主要産業（軽種馬）



主要産業（農業）

地域社会の礎となる人材の登用と育成

産業振興と雇用創出は、人口確保や地域活性化に不可欠のため、基幹産業の跡継ぎ確保と育成、企業誘致や企業支援による雇用の創出と人材の育成に取り組みます。

プロジェクト

産業振興の活性化による まちづくり事業

農業担い手への支援強化／企業誘致・企業支援による雇用創出 など

事業年度・事業費

令和 6 年度～
82,912千円



主要産業（ピーマン）



■お問合せ先
新冠町企画課まちづくりグループ企画係
☎ 0146-47-2498
✉ teijyu@niikappu.jp

浦河町

人口 10,980人 (2026.2)
主な観光ポイント
うらかわ優駿ビレッジAERU

海面養殖試験事業



初水揚げの様子



計測の様子

漁業者の所得安定や新たな特産品化を 目的としたトラウトサーモンの海面養殖試験

2021年に発生した赤潮被害や、海水温上昇等の影響で漁獲高は低迷が続いております。2013年に1,300トンから2023年には126トンと10分の1まで減少。その被害は甚大なものです。

町では漁業者の所得安定や新たな特産品化を目的に、浦河港内にいけすを設置して、約2,000匹の養殖を行い、成長度合いや採算性を調査研究しています。

プロジェクト

競争力のある産業振興による活力 あるまちづくり事業

浦河町の強みである第一次産業の振興と、地域資源を活かした観光産業や食を中心とした関連産業の振興を促進

事業年度・事業費

令和8年度

26,174千円



新たな特産品化を目指して



■お問合せ先

浦河町総務課ふるさと納税係

☎ 0146-22-2311

✉ furusatourakawa@town.urakawa.lg.jp

鹿部町

人口 3,452人 (2026.2)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉、鹿部公園

サステナ・ブルー・プロジェクト



夏の昆布採取



昆布漁の様子

地場産業の振興と安定した雇用を創出する

「サステナブル」と「豊かな海」を掛け合わせ、持続可能な漁業を将来世代にわたって続けていけるよう推進する事業で、環境・資源を守り、育て、創る、循環型の取組です。

町内の産業を活性化させ、それらに携わる人達や事業者などの稼ぐ力を高めることにより、収入の向上や雇用の拡大につなげます。

また、担い手の不足が懸念される分野においては、担い手の育成や雇用の安定を促進します。

プロジェクト

鹿部町沿岸漁業振興対策事業

ナマコ資源保護事業／昆布母藻群落造成事業 など

事業年度・事業費

令和8年度

5,750千円



鹿部漁港



■お問合せ先

鹿部町企画振興課

☎ 01372-7-5297

✉ kikaku@town.shikabe.hokkaido.jp

八雲町

人口 14,226人 (2026.2)
主な観光ポイント
噴火湾パノラマパーク

醸造（ワイン）用ぶどう栽培事業で 地域活性化を図る！



ぶどう収穫



果樹園での町民説明

産業活性化と雇用創出に向けて

近年の温暖化の影響により果樹栽培に適する気候条件へと変更していく中で、八雲町は新たな事業の創出に向けて、平成30年度からワイン用ぶどうの試験栽培を開始し一定の成果が得られたことから、令和5年度から本格的な栽培に移行しています。今後、令和12年度まで欧州系ぶどう品種を2,000本ずつ植樹していく計画としており、事業計画や基本構想を策定し民設民営でのワイナリー開設を目指していきます。

プロジェクト

醸造（ワイン）用ぶどう栽培事業

今後、年間2,000本の植樹を予定するワイン用ぶどう栽培

事業年度・事業費

令和7年度～

1,753,425千円



収穫前のぶどう



■お問合せ先
八雲町政策推進課
☎ 0137-62-2300
✉ seisaku@town.yakumo.lg.jp

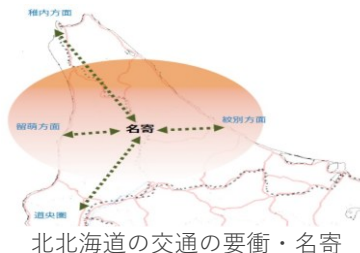
名寄市

人口 24,086人 (2026.2)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

「北・北海道物流拠点構想」の 実現に向けて



物流オープンプラットフォーム



北北海道の交通の要衝・名寄

物流の拠点を狙って

名寄市では、稚内・紋別・留萌方面のすべてに道がつながっているという位置的優位性を活かした「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けた取組を進めています。物流の拠点として名寄市にモノが集まり、モノの輸送を効率化していくことで、地域経済の維持・発展につなげ、道北圏域の生産空間を維持していくために、オープンプラットフォーム（多様な業種がスペースを共有する物流拠点となるもの）の構築を進めます。

プロジェクト

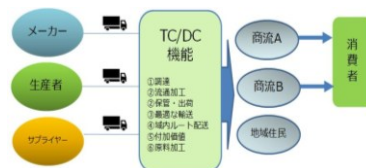
物流オープンプラットフォームの構築

物流オープンプラットフォームの建設など

事業年度・事業費

令和7年度～

24,531千円



物流拠点化イメージ



■お問合せ先
名寄市総合政策部総合政策課
☎ 01654-3-2111
✉ ny-sousei@city.nayoro.lg.jp

愛別町

人口 2,323人 (2026.2)
主な観光ポイント
総合スポーツ公園

人と文化が輝く愛別



産業の活性化



誰もが住みたくなるまちづくり

将来を担う人材の育成

愛別町は、北海道のほぼ中央に位置する上川盆地の東北端、北海道の屋根と呼ばれる雄大な大雪山連峰の麓にあります。

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、町の宝である子どもが一人でも多く生まれ、将来を担う人材として育つよう、子育て支援体制の充実や子どもの教育体制の充実をリードする施策を推進します。

プロジェクト

子どもの笑顔がやくまちづくりプロジェクト

義務教育学校整備事業/スクールランチ実施事業/教育ICT推進事業

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

4,242,666千円



子育て環境の充実



■お問合せ先

愛別町総務企画課企画財政係

☎ 01658-6-5112

✉ soumukikaku@town.aibetsu.hokkaido.jp

占冠村

人口 1,510人 (2026.2)
主な観光ポイント
トマム山雲海、トマムリゾート、赤岩青巖峡

森林の活用と地域内での循環



採取生産風景



森の恵みを楽しむ

楓を中心とした樹液飲料による地域活性化事業

今年度、新しく整備されたメープルシロップ製造施設が稼働します。メープルシロップの増産が可能となり、より多くの方々に占冠村のメープルシロップを楽しんでいただくことが期待できます。

新施設の稼働に伴い新たな特産品づくりを計画しており、また、村民と一緒にパッケージづくりの製作や、売上の一部から福祉事業への貢献など、森と人が互いに守り合う循環型の仕組みを広げ、地域の魅力とつながりを育む取組を進めていくなど今後の活動への展開が見込めます。

更なる山村の持続可能性を高めていきたいと考えています。

プロジェクト

楓を中心とした樹液飲料による地域活性化事業

森林の活用/地域内での循環/次代を担う子どもたちへの支援

事業年度・事業費

令和8年度

5,000千円



採取の出前授業



■お問合せ先

占冠村企画商工課地域振興対策室

☎ 0167-56-2124

✉ tiiki@vill.shimukappu.lg.jp

和寒町

人口 2,735人 (2026.2)
主な観光ポイント
塩狩峠一目千本桜、夫婦岩、南丘森林公園

産業の振興により 安定した雇用と活気をつくる事業



キャベツ



南瓜収穫

農業の振興と担い手の育成・確保

和寒町の基幹産業である農業は、家族労働で賄う家族経営体が多く、従事者の高齢化によって労働力不足が問題となっており、農繁期におけるパート労働者の雇用や高齢者事業団の活用のほか、人材派遣会社や外国人技能実習生を活用するなどして不足する労働力を補っている現状にあります。

持続的で安定した農業経営のためには、安定した農家所得を実現し、農家子弟の円滑な就農への継承やUターン者を含めた新規就農者の確保に向けた取り組みを進めます。

プロジェクト

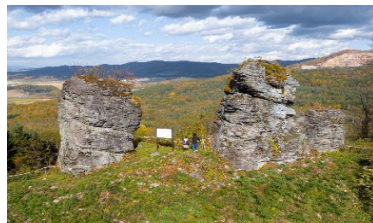
産業の振興により安定した雇用と活気をつくる事業

新規就農者の確保・後継者育成振興の奨励

事業年度・事業費

令和 8 年度

16,897千円



夫婦岩



■お問合せ先

和寒町まちづくり推進係

☎ 0165-32-2421

✉ ki-kikaku@town.wassamu.hokkaido.jp

下川町

人口 2,762人 (2026.2)
主な観光ポイント
万里長城、五味温泉

SDGsを取り入れ、人も資源もお金も 循環・持続するまちを目指して



下川町の市街地



下川町の森林

「持続可能な森林経営」のために

下川町は、町面積の約 9 割が森林で覆われ、約4,700haの町有林を有しています。年間約50haの伐採と植林、適正な森林管理「伐ったら必ず植える」を60年サイクルで続ける「循環型森林経営」を理念に、伐採された木材は、地域内で様々な形に加工し、付加価値を高めて地域外に流通させ、原木の安定供給と雇用の確保を図っています。循環型森林経営を基軸に、国から、環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市などの選定を受けながら、経済・社会・環境の三側面の調和による持続可能な地域社会の実現を目指しています。

プロジェクト

下川版SDGsによる地域創造事業

地域振興事業／林業・林産業振興事業／農業振興事業／快適住まいづくり促進事業 など

事業年度・事業費

令和 5 年度～

175,980千円



植樹祭の様子



■お問合せ先

下川町総務企画課SDGs推進室

☎ 01655-4-2511

✉ seisaku@town.shimokawa.hokkaido.jp

幌加内町

人口 1,194人 (2026.2)
主な観光ポイント
そばの作付面積・生産量日本一、朱鞠内湖、
日本最寒地記録マイナス41.2

プロジェクト

そば加工施設ブランド化事業

そば加工施設の建設

事業年度・事業費

令和7年度～

3,500,000千円



幌加内そば



■お問合せ先
幌加内町産業課
☎ 0165-35-2122
✉ soumu1@town.horokanai.hokkaido.jp

日本一のそば加工施設づくり



そばの花



そば畑

売れるプライベートブランドづくり

幌加内町は、そばの作付面積・生産量ともに日本一の産地として、農業団体と連携協力し品質管理と共販体制の推進、栽培技術の向上に努めていますが、町内での加工製造・販売は、数量的にも少量にとどまっており、そばの加工製造技術を高め、販路を拡大する必要があります。そばの付加価値を高めるため、プライベートブランド商品の開発や営業力の強化、地元経済の発展のために応援いただける企業様のご連絡をお待ちしています。

小平町

人口 2,560人 (2026.2)
主な観光ポイント
国指定重要文化財旧花田家番屋

プロジェクト

畜産業の活性化

畜産施策の推進/耕畜連携による循環体制の確立

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

662,319千円



毎年8月に開催される産業まつり



■お問合せ先
小平町企画振興課
☎ 0164-56-2111
✉ info@town.obira.lg.jp

おびら和牛の振興に向けて



おびら和牛



国指定重要文化財旧花田家番屋

スマート農業の確立、おびら和牛ブランド化へ

おびら和牛の振興のため、おびら和牛繁殖センターでは、AIやICTを活用した自動給餌機、哺乳ロボット等を導入し、クラウド牛群管理システム等の運用を開始しています。

スマート農業の確立と、おびら和牛のブランド化の推進に向けて、企業の皆様のご支援をお待ちしております。

津別町

人口 3,971人 (2026.2)
主な観光ポイント
津別峠、ノンの森、チミケップ湖

森林の循環利用を進めるため、 木質バイオマスエネルギーを活用



津別町の森林



ウッドチップ

未利用材の活用を進め、 持続可能な地域循環型社会を確立します

津別町では森林の循環利用を進める中、未利用材を活用した木質バイオマスエネルギーに注目し、平成19年にバイオマスタウン構想を策定しました。平成21年には、町内外企業による協同組合を設立し、木質ペレット製造施設を稼働。町内各施設にペレットボイラーや熱供給システムを導入しました。令和5年には木質バイオマスセンターを稼働し、未利用材の収集やチップ化等の中間処理を開始しております。未利用材の活用は発展途上であり、今後は新たな福祉施設への熱供給を予定している他、農畜産分野や薪利用など他分野にも広がる可能性があり、この広がりにより持続可能な地域循環型社会を確立します。

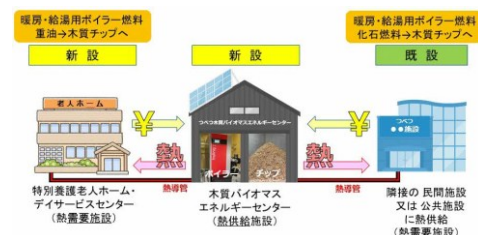
プロジェクト

Ki-Cycleつべつ

木質バイオマスセンター稼働
(未利用材の収集やチップ化等の中間処理／町内各施設にペレットボイラーや熱供給システムを導入)

事業年度・事業費

令和8年度
445,170千円



エネルギーの地産地消イメージ図



■お問合せ先
津別町住民企画課ふるさと納税係
☎ 0152-77-8701
✉ furusato@town.tsubetsu.lg.jp

湧別町

人口 7,744人 (2026.2)
主な観光ポイント
かみゆうべつチューリップ公園

豊かな自然環境と地域資源を守り、 持続可能な地域づくりの実現へ



豊かな森に生息するリス



広大な森林資源

森林を起点として持続的な地域の活性化

湧別町は、豊かな自然環境に恵まれ、酪農・畑作を中心とした農業と、沿岸・養殖を中心とした漁業、豊かな森林資源を活用した林業などの第一次産業を基幹産業とする町です。本町の森林面積は総面積の55%を占め、適切な森林整備による公益的機能の保全、林業従事者の担い手確保、木材の有効活用や木育活動など緑化意識の高揚が課題です。

本プロジェクトでは、まちの1次産業を支える豊かな地域資源の源である、森林の適切な保全と利用を行いながら、まちの取り組みの有機的な連携・PRを担う地域商社の設立を目指します。

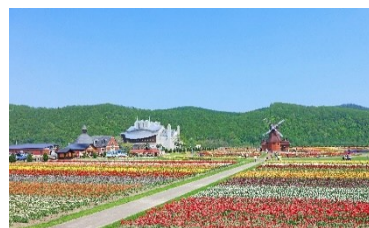
プロジェクト

森林×バイオマス×教育 地域の 持続可能性向上プロジェクト

新たな森林管理体制の構築／バイオマスタウン×ゼロカーボンシティの実現／地域人材教育の推進

事業年度・事業費

令和7年度～9年度
72,000千円



かみゆうべつチューリップ公園



■お問合せ先
湧別町企画財政課未来づくりグループ
☎ 01586-2-5862
✉ kikaku@town.yubetsu.lg.jp

滝上町

人口 2,158人 (2026.2)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

森林整備を推進し 環境保全とSDGsに向けたまちづくり



滝上町の90%が森林



木質バイオマスにも取り組む

世界的な共通目標・カーボンニュートラル 1800haの人工林を適切に管理したい

滝上町が所有する森林約3000haのうち人工的に植栽された森林は全体の6割の1800haあります。人工林は環境財及び経済財として適切な伐期に伐採・収穫し、また植えるというサイクルを循環させることが重要となっています。現在、国や北海道の補助金を受けて森林整備を行っておりますが、長伐期施業による経年と共に木材価値は落ち、資源の循環サイクルに支障が出ています。

プロジェクト

伐期をむかえた森林の整備

伐期を迎えても、伐採し更新ができていない森林の整備／資源循環のサイクルの保全

事業年度・事業費

令和8年度

3,000千円



森林を伐採・整備



■お問合せ先

滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係

☎ 0158-29-2111 (内線220)

✉ machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

滝上町

人口 2,158人 (2026.2)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

担い手不足に悩む農業の基盤を強化 稼ぐまちづくりを推進



アスパラガス栽培、畑作が盛ん



人より牛の方が多い

まちの基幹産業である農業 畑作・酪農・畜産の担い手不足の解消へ

農業は滝上町の基幹産業として、畑作、酪農、畜産が行われていますが、近年は高齢化により離農件数が増えています。離農者の増加は地域の農業生産額の減少に直結することから、地域経済や地域の活力への影響が懸念されます。滝上町では新規就農者に対し、積極的に支援を行っていますが、町の単独事業として全額町費で賄っています。近年の雇用情勢にも対応し、支援内容をより充実させていくため、寄付を公募しております。

プロジェクト

農業研修生、新規就農者確保

農業の担い手不足の解消／地域の食糧生産機能の維持・強化／地域活性化

事業年度・事業費

令和8年度

300千円



明治39年から栽培される薄荷



■お問合せ先

滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係

☎ 0158-29-2111 (内線220)

✉ machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

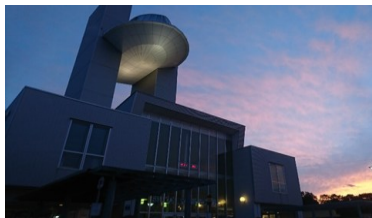
雄武町

人口 3,906人 (2026.2)
主な観光ポイント
ホテル日の出岬、日の出岬キャンプ場、道の駅展望台

雄武町の強みを活かした産業と 雇用の場をつくる事業



ホテル日の出岬



道の駅展望台

自然資源を活かした魅力向上

日の出岬は、雄武町の観光シンボルである「日の出」を眺望できる観光ポイントです。

ホテルやキャンプ場などの施設もあり、雄武町を代表する観光スポットとなっています。

日の出岬をはじめとする観光施設等を整備することで、魅力向上を図り、観光集客力向上と関係人口の拡大を図ります。

プロジェクト

観光施設管理整備事業（日の出岬整備事業）

日の出岬をはじめとする観光施設の整備及び維持管理

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

85,597千円



日の出岬



■お問合せ先
雄武町ふるさと納税推進室
☎ 0158-84-2121
✉ furusato@town.oumu.jg.jp

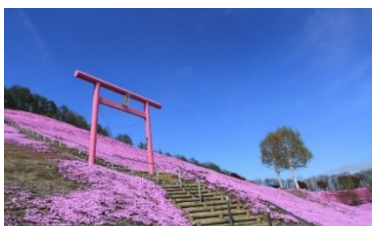
大空町

人口 6,253人 (2026.2)
主な観光ポイント
ひがしもこと芝桜公園、メルヘンの丘、網走湖女満別湖畔

ひがしもこと芝桜公園 リニューアルに向けた再整備事業



ひがしもこと芝桜公園



公園内の鳥居

干ばつに負けるな！！芝桜の活性化対策！！

ひがしもこと芝桜公園は、5月初めから5月末まで10haもの芝桜が咲き誇り、大空町の観光名所の一つとなっています。

近年、干ばつによる土壌の活力不足などにより公園の約3割の苗が枯れ、令和3年度から満開宣言ができていません。そのため、早急な対応が必要と考え、芝桜の活性化を進めています。また、今後の公園のあり方や方向性などについて協議し、リニューアルに向けた再整備を進めています。本ふるさと納税は、芝桜の苗の購入やドローンによる液肥の散布、公園のリニューアルに向けた施設整備などに活用させていただきます。

プロジェクト

ひがしもこと芝桜公園リニューアルプロジェクト

芝桜の苗の購入やドローンによる液肥の散布／公園のリニューアルに向けた施設整備の実施

事業年度・事業費

令和5年度～

50,000千円



干ばつなどにより枯れた苗



■お問合せ先
まちづくり推進室地域戦略グループ
☎ 0152-77-8093
✉ senryaku-g@town.ozora.lg.jp

音更町

人口 42,157人 (2026.2)
主な観光ポイント
十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

地域経済を活性化させ、 稼ぐ力を高める事業



市街地の様子



広大な農村風景

地域経済の拡充

地域資源を活かした産業振興・企業誘致・起業支援などに関係機関が連携して取り組み、域内経済の基盤の強化・活性化を図りながら、ワーク・ライフ・バランスを実現し、「働きがい」と「働きやすさ」のある雇用の場をつくるとともに、人材の育成・確保とその活躍を促進します。まちが持つ地域ポテンシャルを最大限に活かし、異なる分野や領域に属する人や技術などが従来にはない形で連携する「新結合」により、地域資源やサービスに新たな付加価値を生み出し、まちの「稼ぐ力」を高めます。

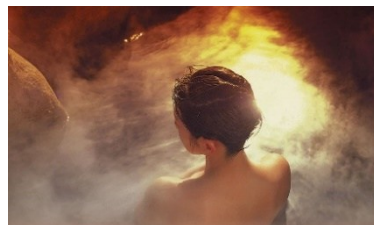
プロジェクト

地域経済の拡充

農業経営の安定化／担い手、労働者の確保／商業者の経営安定に向けた支援／新たな工業団地開発と企業誘致 など

事業年度・事業費

令和 8 年度～12年度
2,600,000千円



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先
音更町企画財政部まちづくり推進課
☎ 0155-42-2111
✉ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

清水町

人口 8,595人 (2026.2)
主な観光ポイント
清水公園、十勝千年の森、日勝峠展望台

官民連携での地域活性化を図る事業！



清水町まちづくりプロジェクト



清水市街

清水町でチャレンジを！

地域課題解決等に向けたアイデアを「まち」で実践・実証できる場（フィールド）を提供し、外部からのひと・かね・もの・情報の継続的な流入や新たな価値創造により、官民連携での地域活性化を促進します。本町で新たなことに一緒にチャレンジしていただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております！

プロジェクト

しみずらぼ事業

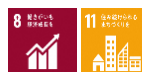
地域投資チャレンジ交付金等

事業年度・事業費

令和 8 年度
18,743千円



町章



■お問合せ先
清水町企画課
☎ 0156-62-2114
✉ kikaku@town.shimizu.hokkaido.jp

大樹町

人口 5,167人 (2026.2)
主な観光ポイント
宇宙交流センターSORA、カムイコタン

航空宇宙関連産業の集積による 地域創生の推進



北海道スペースポート (HOSPO)
将来イメージ



HOSPO全景図

北海道に「宇宙版シリコンバレー」を！

大樹町では、民間にひらかれた商業宇宙港「北海道スペースポート (HOSPO)」を整備し、航空宇宙産業の実験や企業誘致を進めています。

人工衛星用ロケット射場 (LC1) やスペースプレーン (宇宙往還機) 実験機が離着陸可能な滑走路の整備を進めているほか、大樹町を拠点とする航空宇宙関連事業者への支援事業などを展開し、十勝を中心に多くの航空宇宙関連企業が集積する「宇宙版シリコンバレー」の形成を目指します。

■プロジェクト

航空公園機能拡充事業・航空宇宙 関連ビジネス推進事業

ロケット射場・滑走路・格納庫等の整備
／宇宙関連事業者支援 など

事業年度・事業費

令和2年度～8年度
5,000,000千円



人工衛星用ロケット射場LC1 完成CG



■お問合せ先

大樹町宇宙航空課

☎ 01558-8-7007

✉ uchu@town.taiki.hokkaido.jp

豊頃町

人口 2,765人 (2026.2)
主な観光ポイント
ハルニレの木、ジュエリーアイス、とよこ
ろ産業まつり

豊頃町まち・ひと・しごと創生推進事業



ハルニレの木



ジュエリーアイス

安定した雇用を創出します

豊頃町では、地域資源の発掘、研鑽による魅力ある地域産業づくりに取り組むとともに、新たな取り組みへの挑戦や起業しようとする事業者に対して支援を行います。

■プロジェクト

豊かな資源を活かした「雇用創出」 プロジェクト

豊頃町産業振興事業／互産互生 (消) 推進事業

事業年度・事業費

令和8年度～12年度
415,000千円



秋鮭即売会の様子



■お問合せ先

豊頃町総務政策課政策推進係

☎ 015-574-2211

✉ kikaku@toyokoro.jp

足寄町

人口 5,741人 (2026.2)
主な観光ポイント
オンネトー、里見が丘公園、足寄動物化石博物館

定住促進、農山村地域の機能維持 及び地域ネットワークの構築



オンネトーと雌阿寒岳



基幹産業の林業

新しい人の流れづくりに取り組みます

新しい人の流れをつくるため、空き家施策に取り組むとともに、企業等の移転や遠隔地勤務（テレワーク等）の環境整備、二地域居住施策を推進します。

さらに、学生や若者の町内への定着を図るため、学生の町内企業への就職促進や足寄高等学校の教育環境の充実を図るとともに、町内学校出身者などのUターン施策に取り組み、地域産業を担う人材の育成に努めます。

また、消防・救急・防災体制の強化、市街地機能の充実、市街地と各集落間等のネットワークの充実、人口減少社会の中で、心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

プロジェクト

定住促進、地域の機能維持及びネットワークの構築

移住施策の充実／住宅の新築・改修費等支援／交通ネットワークの充実／消防・救急・防災体制の強化 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

900,000千円



足寄高校町内企業説明会



■お問合せ先

足寄町まちづくり推進課地域振興室

☎ 0156-28-3851

✉ kikaku@town.ashoro.hokkaido.jp

白糠町

人口 6,804人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅しらぬか恋問館、庶路ダム

稼ぐ地域をつくとともに、 安定した雇用を創出する



新規就農者



鮮度保持水槽施設

活力に満ちた産業づくり、雇用の創出

本町の豊かな地域資源をいかした産業づくりを目指し、第一次産業である農林水産業の更なる振興に向けた取組を進めるとともに、新産業創出に対する支援を行い、地域経済の活性化と雇用の創出を図ります。

プロジェクト

稼ぐ地域をつくとともに、安定した雇用を創出する

新規就農者に対する支援／雇用の創出等に対する支援／起業・環境整備などに対する支援 など

事業年度・事業費

令和8年度

1,232,205千円



岬の森東山公園からの景色



■お問合せ先

白糠町企画総務部企画財政課

☎ 01547-2-2171

✉ kikakuchosei@town.shiranuka.lg.jp

酪農支援プロジェクト

乳製品加工施設を再整備し、安定供給の体制づくりを実施

酪農支援プロジェクト



べつかい乳業興社



べつかいの牛乳屋さん三角パック

～乳製品を全国へ！～

別海町は日本一の生乳生産量を誇る酪農業とオホーツク海を中心とした漁業が盛んな町です。

しかし、コロナ禍により生乳の消費量が大きく落ち込み、酪農家は生乳の生産を抑制することを余儀なくされました。

そこで、本町では酪農業の支援を行うため、町の第三セクターである「株式会社べつかい乳業興社」を再整備し、乳製品を安定供給する体制づくりを行い、地域課題の解決に向けて取り組んでいきます。

事業年度・事業費

令和 8 年度

90,008千円



牧歌的風景



■お問合せ先
 別海町総合政策部地域創生課
 ☎ 0153-74-9840
 📧 chiikisousei@betsukai.jp

上士幌町

人口 4,652人 (2026.2)
主な観光ポイント
ぬかびら源泉郷、タウシュベツ橋梁群

ICT先端技術を活用した スマートタウンの推進



定期運行を開始した自動運転バス デマンド交通 高齢者用UIの開発画面

Society5.0を見据えたまちづくり

上士幌町では、スマートタウンの推進に向けて「自動運転バスの定期運行・自動運転レベル4実装への推進」「高齢者向けオンデマンドバス予約アプリケーションの開発・実装」や「ドローンを活用した新スマート物流の構築」など、ICTを活用し地域住民の生活が持続的に向上することを目指しています。

また、町外からの利用者をターゲットに、企業や個人がワークスペースとして使用可能な「かみしほろシェアオフィス」も開設しています。

今後も、MaaSでの快適な移動等による生産性の向上やICTを活用した実証実験を進めていきます。

プロジェクト

スマートなまちづくりプロジェクト

上士幌型ヒト・モノMaaS導入／情報配信用タブレット導入／自動運転バス導入など

事業年度・事業費

令和8年度



かみしほろシェアオフィス



■お問合せ先

上士幌町企画財政課ふるさと納税担当

☎ 01564-2-4290

✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp

更別村

人口 3,018人 (2026.2)
主な観光ポイント
農村公園大型遊具広場、すももの里、霧氷

更別村スーパービレッジ構想



スーパービレッジ構想



更別村空撮

100歳でも安心して暮らせる奇跡の農村

更別村は日本有数の超大規模農業地域として高い生産性を誇る一方、労働力不足の深刻化や農業者の健康問題といった、地域の持続性に直結する課題に直面しています。本事業は、農業DXと医療DXを一体的に推進し、「産業の持続性」と「人の健康」を同時に守ることを目的とした、地域課題解決のための事業です。農業DXと医療DXが相互に補完し合うことで、農業者の負担軽減、健康寿命の延伸、地域経済の活性化が同時に進み、人口減少社会における持続可能な発展を可能とします。

プロジェクト

更別村「ライフ・アグリ・コネク ト」産業・健康持続化推進事業

ロボット遠隔監視／生産管理自動化／患者負担軽減システム構築 など

事業年度・事業費

令和8年度～10年度

218,400千円



更別村国民健康保険診療所



■お問合せ先

更別村企画政策課

☎ 0155-52-2114

✉ kikaku@sarabetsu.jp

夕張市

人口 5,735人 (2026.2)
主な観光ポイント
夕張市石炭博物館、幸福の黄色いハンカチ
想い出ひろば

Challenge More Spirit

夕張高生は挑戦し続けます



海外短期留学



公設塾夕張学舎キセキノ

地域唯一の高校存続を目指して、 魅力を高める取組を推進しています

夕張市は、生徒数が減少している夕張高校が廃校となった場合のまちの将来への影響の大きさを考え、市内外問わず生徒に選んでもらえる魅力ある学校とするため、財政再生計画の抜本的見直しにおいて「夕張高校魅力化プロジェクト」を夕張市の主要施策として位置付けました。

夕張の未来を担う高校生が夕張高校に集い、地域の活力となるようまちが一丸となって育てていくことを目指し、挑戦する生徒を応援する取組を行っています。

プロジェクト

夕張高校魅力化プロジェクトの推進

海外短期留学／公設塾の運営／公設寮の運営／チャレンジ補助（資格取得・部活動支援・入学支援等）／地域みらい留学 等

事業年度・事業費

令和 8 年度

59,018千円



地域みらい留学合同説明会



■お問合せ先
夕張市地域振興課
☎ 0123-52-3141
✉ ybrkai@city.yubari.lg.jp

美唄市

人口 17,796人 (2026.2)
主な観光ポイント
宮島沼、アルテピアッツァ美唄

都心に負けないプログラミング技術を



プログラミング教室の様子

情報化人材育成事業

「未来クライム (MIRAI CLIMB)」

美唄市にいても都心に負けないプログラミング技術を継続的に学べる場を提供する、情報化人材育成事業「未来クライム (MIRAI CLIMB)」。

令和 5 年度からスタートしたこの事業では、「未来クライム～PROGRAMMING ACADEMY BIBAI～」を開講し、Webサイト開発に必要な基礎的な言語を学び、カスタマイズできる技術の習得を目指し、プロの講師による講座を無料で実施しています。

プロ講師による講座の継続的な実施や地域開発拠点の設立・自走を目指した事業、ハッカソンイベントなど情報化人材育成に向けた取組に活用します。

プロジェクト

「未来クライム (MIRAI CLIMB)」

人材育成/プログラミング技術の習得/地域課発拠点の自走など

事業年度・事業費

令和 8 年度

26,102千円



成果報告会



■お問合せ先
美唄市企画財政課企画戦略係
☎ 0126-35-7751
✉ kikaku@city.bibai.lg.jp

赤平市

人口 8,122人 (2026.2)
主な観光ポイント
炭鉱ガイド施設、エルム高原

赤平市しごと・ひと・まち創生推進事業



赤平小学校（空撮）



赤平小学校

安心して子どもを生み育てられる地域づくり

持続可能な地域社会として確立するため、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない施策を展開し、子どもを生み育てやすい環境をつくり、若者に住み続けていただき、将来のまちを築き上げていくことが重要です。子育て世代や若者の住環境整備を推進するほか、ひとり親世帯への支援をはじめ、子育て世帯が出産から子育てまで安心して暮らせるための経済的支援など、まち全体での応援体制を整備します。また、小中学校等と連携し義務教育期の基礎学力の向上を目指します。

プロジェクト

学力向上と教育環境の充実

ICT活用教育／公設学習塾／小中学校施設の充実／給食費無償化

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

144,440千円



授業風景



■お問合せ先
赤平市企画課
☎ 0125-32-1834
✉ kikaku@city.akabira.hokkaido.jp

滝川市

人口 35,769人 (2026.2)
主な観光ポイント
リバーサイド（石狩川沿い）エリア、菜の花畑、グライダー

国学院大学北海道短期大学部 学生のまちづくりチャレンジを 応援してください！



国学院大学北海道短期大学部 校舎・学生

地域を支える即戦力人材の育成を目指して

国学院大学北海道短期大学部（以下、短大）は、昭和57年に開学して40年間、滝川市と共に歩んできた大切な学校です。短大では今日まで多くの学生が学び、約1万人の卒業生が全国で活躍されています。

滝川市では、学生が取り組む地域活動など、まちづくりへのチャレンジを応援するとともに、地域を支える即戦力人材の育成を推進しています！

プロジェクト

国学院大学北海道短期大学部連携 事業／滝川修学応援事業ほか

学生によるまちづくり活動への支援／専門人材育成・就職支援 など

事業年度・事業費

令和8年度～9年度

19,500千円



地域活動で活躍する学生



■お問合せ先
滝川市総務部企画課
☎ 0125-28-8004
✉ kikaku@city.takikawa.lg.jp

上砂川町

人口 2,242人 (2026.2)
主な観光ポイント
上砂川岳温泉パンケの湯、悲別駅（旧上砂川駅）、かみすながわ炭鉱館

児童の学力向上と 教育の充実を目指す教育連携事業



小学生の授業の様子①



学校法人田中学園と上砂川町との
包括連携協定式

より良い教育の場を提供します

上砂川町は、小・中学校各1校で将来を見据え現在義務教育学校の導入を検討しています。

令和6年3月に札幌市にある学校法人田中学園と包括連携協定を締結し、英語の教師を派遣してもらうことで外国語教育を充実させることができ児童の学力向上と教員のスキルアップなど本町子どもたちにより良い教育の場を提供することができます。

プロジェクト

学校法人田中学園との教育連携事業

学校法人田中学園と児童の学力向上及び教育の充実を目指す教育連携事業

事業年度・事業費

令和8年度
23,000千円



小学生の授業の様子②



■お問合せ先
上砂川町企画課企画振興係
☎ 0125-62-223
✉ matsuzaki.ryo@town.kamisunagawa.lg.jp

札幌市

人口 1,953,614人 (2026.2)
主な観光ポイント
大通公園、札幌テレビ塔

さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成



魅力いっぱいの札幌圏



さっぽろ圏奨学金返還支援事業

『まちづくり』は『ひとづくり』

さっぽろ連携中枢都市圏では、「『まちづくり』は『ひとづくり』である」との考えのもと、圏域を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるため、若者の地元定着に向けた奨学金返還支援、子どもの文化芸術体験事業、周産期救急医療従事者スキル向上研修事業など、人材育成に関する幅広い取組を展開しています。

◆さっぽろ連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢化社会にあっても圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるために、札幌市と関係11市町村（小樽市・岩見沢市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・南幌町・長沼町）で形成。

プロジェクト

さっぽろ圏「ひとづくり」プロジェクト

地元就職者への奨学金返還支援／周産期救急医療従事者スキル向上研修／子どもの文化芸術体験事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～
62,044千円



つながりが、新しい未来をつくる

さっぽろ
連携中枢都市圏

Sapporo・Otaru・Iwamizawa・Ebetsu・Chitose
Eniwa・Kikashirosima・Ishikari
Tobetsu・Shinshinetsu・Nanporo・Naganuma

さっぽろ連携中枢都市圏ロゴ



■お問合せ先
札幌市まちづくり政策局政策企画部
公民・広域連携推進室推進課
☎ 011-211-2281
✉ ki.kouiki@city.Sapporo.jp

厚真町

人口 4,208人 (2026.2)
主な観光ポイント
大沼野営場、浜厚真海岸

挑戦者を支援してまちの未来を切り拓く



馬による林業を行う起業家



6次産業化し雇用を生む事業者

起業家人材の育成により 本人の「やりたい」を叶え、活気あるまちに

人口減少により、産業やコミュニティ等を含む地域活力の維持が課題であるなか、町民が笑顔で暮らし続けるために「挑戦が生まれ続ける町を目指そう！」をコンセプトに本事業を始めました。新たな事業が生まれ、希望と温もりのある社会を目指し、地域経済の担い手となる起業家を育成しています。

いただいたご寄附は、ローカルベンチャースクールの実施、地域おこし協力隊や女性のキャリア支援などへの伴走に活用する予定です。

また、企業の皆様との連携もあわせて行っています。

プロジェクト 起業家人材育成プロジェクト

メンタリングによる事業ブラッシュアップ／起業型地域おこし協力隊への伴走など

事業年度・事業費

平成28年度～

42,497千円（令和6年度決算額）



ローカルベンチャースクールで
事業プレゼンを行う起業家

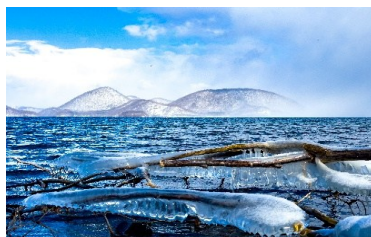


■お問合せ先
厚真町まちづくり推進課
☎ 0145-27-3179
✉ kikaku@town.atsuma.lg.jp

洞爺湖町

人口 7,719人 (2026.2)
主な観光ポイント
洞爺湖、西山散策路 など

洞爺湖町 まち・ひと・しごと創生推進事業



真冬の洞爺湖



洞爺湖温泉街の花火

豊かな自然や文化を生かしたまちづくり

洞爺湖町では、「第3期洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標を推進し、まちの魅力と豊富な地域資源を活かしながら雇用の創出により、移住・定住を促進するとともに、結婚・出産・子育ての希望をかなえます。さらに、海・湖・山等の自然環境や温泉、文化、ジオパーク、農水産物など地域の特性を活かした交流人口の拡大に取り組んでいます。

プロジェクト 総合戦略に基づく事業

空き店舗を活用した起業支援／移住希望者へのサポート／子育て負担の軽減／防災体制の充実／生物多様性等の保全 など

事業年度

令和7年度～11年度

368,352千円（予定）



特産品のスイートコーン



■お問合せ先
洞爺湖町総務部企画財政課
☎ 0142-74-3004
✉ kikaku@town.toyako.lg.jp

北斗市

人口 42,108人 (2026.2)
主な観光ポイント
きじひき高原、トラピスト修道院、北斗桜回廊

～若者の市内回帰の促進を～



新函館北斗駅



音楽のまち・ほくと

奨学金の償還支援で回帰を促進します！

北斗市では奨学金の返還について、市内への回帰を促進することを目的として卒業後又は償還中に北斗市に居住・移住し就職した場合に、償還の一部を補助する制度を実施しています。

本市においては人口減少問題を克服すること、企業においては人材不足解消といった重要課題の解決につながるものと考えています。

北斗市の未来を担う若者のため、ぜひ、本市の取組に対するご支援をよろしくお願いいたします。

プロジェクト

北斗市奨学金償還支援事業

教育／回帰

事業年度・事業費

令和3年度～



北斗市



■お問合せ先
北斗市総務部企画課
☎ 0138-73-3111
✉ kikaku@city.hokuto.hokkaido.jp

厚沢部町

人口 3,184人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅あさぶ、レクの森

地域の未来に明るい光をともし、 新しい学びの拠点



ICTを活用した異学年グループ学習



地域の防災をテーマにした探究学習

共に学び、自ら拓く9年間

厚沢部町では、小学校2校、中学校1校を統合し、令和12年度の開校を目指して、施設一体型の義務教育学校を整備中です。9年間の一貫教育を通じて「好き」と「挑戦」を育み、個別最適な学びと異年齢での協働的な探究学習を推進します。校舎には地域木材を活用し、温かみのある柔軟な学習空間を実現します。地域住民と交流する「共創空間」やICT活用の日常化、防災機能も備えた、まちの未来を照らす教育拠点を創出し、地域全体で子どもを育む、活力あるまちづくりを目指します。

プロジェクト

「好き」と「挑戦」で未来を拓く 義務教育学校整備事業

教育課程／学校運営・DX推進／ICT活用
／施設・空間デザイン／地域連携

事業年度・事業費

令和8年度～13年度

4,700,000千円



道の駅での地域学習



■お問合せ先
厚沢部町教育委員会事務局学校教育係
☎ 0139-64-3318
✉ kyoui-gakkou@town.assabu.lg.jp

奥尻町

人口 2,073人 (2026.2)
主な観光ポイント
なべつる岩、球島山、神威協温泉

奥尻町まち・ひと・しごと創生推進事業



スクーバダイビング授業



町おこしワークショップ

自然豊かで勉学に集中できる環境に離島留学

北海道奥尻高等学校では、平成29年度から離島留学を開始しています。潜水士の資格にも挑戦できる「スクーバダイビング授業」、今求められる地域創生を高校生の目線で生み出す「町おこしワークショップ」といった特色ある取り組みも実施しています。離島留学生を安定的に受け入れていくにあたり、島留学生受入推進事業、寄宿舎運営事業、スクーバダイビング事業等を推進しており、離島のハンディキャップを克服するためのICT教育も実施されています。

プロジェクト

北海道奥尻高等学校離島留学支援事業

島留学生受入推進事業／寄宿舎運営事業
／スクーバダイビング事業

事業年度・事業費

令和8年度

70,611千円



制服



■お問合せ先

奥尻町地域政策課政策推進係

☎ 01397-2-3402

📧 info@town.okushiri.lg.jp

上川町

人口 2,994人 (2026.2)
主な観光ポイント
層雲峡温泉、黒岳（大雪山国立公園）、大雪森のガーデン

上川町学園構想プロジェクト事業



上川町学園構想プロジェクト事業

上川町学園構想は、地域の教育環境を向上させ、持続可能な地域と社会を目指す取り組みです。

上川町の豊かな自然環境を背景に自然との共生を学びの一環とした教育プログラムの開発や、地域との連携強化や「連続した学び」を重視し、幼稚園から大人まで一貫した教育を提供することを目指します。

プロジェクト

上川町学園構想プロジェクト

- ①上川町教育ビジョン作成
- ②ビジョン実現に向けた行動促進
- ③町民全体への学園構想の取組周知

事業年度・事業費

令和8年度

23,000千円



ワークショップ風景



■お問合せ先

上川町教育委員会社会教育グループ

☎ 01658-2-2371

📧 syakyou@town.hokkaido-kamikawa.lg.jp

南富良野町

人口 2,143人 (2026.2)
主な観光ポイント
道の駅、かなやま湖、空知川

唯一無二の高校づくりで、 唯一無二の人材へ！！



南富良野高等学校



かなやま湖（カヌー）

南富良野高校の環境整備を推進し、 次代を担う人材育成を推進します

南富良野高校の学習・運動・生活における環境整備を推進します。

学習面ではタブレットを活用した学習環境や電子黒板を使用したスマートな授業などのICT環境整備、運動面では地域特性を活かしたカヌー部やカーリング部などの環境整備、生活面では町外や道外から入学した生徒が安心・安全に暮らせるよう住環境整備を推進します。

また、地域学の一環として、学校設定科目「アウトドア」の時数を設け、地域住民や産業とのつながりを持った学習を実施し、次代を担う人材育成を推進します。

プロジェクト

豊かな学びと生きがいを実感できるまちづくり事業

ICT整備事業／教科書購入・通学等の各種助成事業／教育振興会補助事業 など

事業年度・事業費

令和7年度～

16,000千円



南ちゃん



■お問合せ先
南富良野町企画課企画振興係
☎ 0167-52-2115
✉ kikaku@town.minamifurano.hokkaido.jp

音威子府村

人口 554人 (2026.2)
主な観光ポイント
エコミュージアムおさしまセンター

村立おといねっふ美術工芸高校の 魅力化・機能強化



村立おといねっふ美術工芸高等学校 村立おといねっふ美術工芸高等学校（ロビー）

ものづくりを通じた人づくり

北海道で一番小さな村・音威子府村にある、北海道おといねっふ美術工芸高等学校は、美術・工芸を学ぶため全国各地から生徒が入学しています。

村立工芸科高校として、寮生活のもと「ものづくり」と向き合える環境、地域との交流を通じて、創造力豊かな「人づくり」を実践しています。

更なる高校魅力化を図るため、企業版ふるさと納税を通じた応援のほか、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。

プロジェクト

おと高の機能強化・おと校生参加の魅力ある街づくり他

寄宿機能の充実／おと高生作品展の開催／おと高生デザイン作品の商品化 など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

740,000千円



ものづくりに取り組む生徒たち



■お問合せ先
音威子府村総務課地域振興室
☎ 01656-5-3311
✉ tiikishinkou@vill.otoineppu.hokkaido.jp

幌加内町

人口 1,194人 (2026.2)
主な観光ポイント
そばの作付面積・生産量日本一、朱鞠内湖、
日本最寒地記録マイナス41.2

日本一のそばの里で自分の魅力を 再発見できる高校で学ぶ



農業科授業（農作物収穫）



地元スキー場で授業

子どもたちの未来をキラキラに輝かせる高校

高校2年生の1年間だけの留学制度「高2留学」と高校の3年間の留学制度「地域みらい留学」という、内閣府が実施する高校生の国内留学事業を活用し、主に本州からの留学生を受け入れています。この事業を通じ、留学した生徒の新たな学びの創出や地域の人達との交流を通じ、これまで体験したことのない地方の生活を体験し、卒業後も継続的に町との関係性を持ち続けてもらう（関係人口創出）事業です。国内留学生が質の高い学びと生活ができるよう活用させていただきます。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

プロジェクト

幌加内高校魅力化支援事業

留学生をサポートするコーディネーター等の
人件費や留学生の募集経費や活動経費

事業年度・事業費

令和2年度～
100,000千円



地域みらい留学で自分を高めよう！



■お問合せ先
地域振興室
☎ 0165-35-2121
✉ soumu1@town.horokanai.hokkaido.jp

遠軽町

人口 17,027人 (2026.2)
主な観光ポイント
瞰望岩、太陽の丘えんがる公園

遠軽高等学校の 教育水準を維持するために



全国高等学校
ラグビーフットボール大会出場の様子



選抜高等学校野球大会出場の様子

より良い教育環境の提供に向けて

オホーツク地域は農林水産業で日本の皆様の「食」を守っています。農林水産業者が安心して地域に住み続けるために、医療と教育が整っていることが必要です。遠軽町は地域の中核都市として、「医療」と「教育」を守ることをまちづくりの柱としています。遠軽高等学校の部活動を応援するとともに、1学年5間口（クラス）を維持するため、遠軽高等学校へ通う地域外からの生徒へ通学費等の助成を実施するなどの取組を行っています。

プロジェクト

遠軽高等学校部活動応援事業

まちづくりの柱となる教育を守るため、
部活動の応援により高校の魅力化を図り
生徒確保に向けた取組を実施

事業年度・事業費

令和7年度～11年度
250,000千円



全日本吹奏楽コンクール出場の様子



■お問合せ先
遠軽町総務部企画課
☎ 0158-42-4818
✉ kikaku@engaru.jp

鹿追町

人口 4,822人 (2026.2)
主な観光ポイント
大雪国立公園「然別湖」、神田日勝記念美術館、とかち鹿追ジオパーク

「持続可能な社会の創り手」を 育てるまちづくり



然別湖での探究学習



鹿追高2年 カナダ短期留学

小さな町から、大きな人材を育てていきます

鹿追町は新たな時代に向かって、「持続可能な社会の創り手」を育てています。予測困難で「ひとつの正解」を見出せない現代。

学校も地域社会も、今までと同じ方法では、複雑な社会問題を解決していく「人材」を生み出すことは難しいと考えています。

私たちは鹿追町を、そして世界を支える人材を育てていくことにチャレンジしています。

リンク：<https://shikaoi.ed.jp>

プロジェクト

北海道の小さな町で育む幼小中高一貫教育

探究教育、そしてバカロレア／一貫した教育とグローバル／誰一人取り残さない学校教育 など

事業年度・事業費

令和6年度～9年度

311,106千円



高校まで1人1台タブレット端末を整備



■お問合せ先

鹿追町総務課

☎ 0156-66-2311

📧 soumu@town.shikaoi.lg.jp



釧路市

人口 151,375人 (2026.2)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

1人の雇用を生む100社の育成を目指して



k-Biz相談風景



k-Biz支援事例拡大サポート商品
食べる米ぬか「ぬかっこ」

k-Bizによる売上UP策提案と実行支援

釧路市では、無料経営相談所「釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz」を運営し、相談企業が持つ真の価値や強みを見抜き、それを生かした具体的な売上UP策の提案と伴走型の実行支援を行うことで、「1人の雇用を生む100社の育成」を目指す取組を進めています。これまで約1,200社から12,000件を超える相談を受け、多数の成功事例を生み出してきた実績を背景に、個別の中小企業の売上UPにとどまらず、地域の課題解決にかかる相談を受けるなど、地域活性化に大きく寄与しています。

企業版ふるさと納税等のご連絡をお待ちしております。

プロジェクト

k-Bizを核とした中小企業及び創業支援

経営相談を通じた売上UP策提案と伴走型実行支援／相談者同士のビジネスマッチング など

事業年度・事業費

令和8年度

54,678千円

KBIZ 釧路市ビジネス
サポートセンター



公式 HP



公式 Facebook



■お問合せ先

釧路市マーケティング戦略室

☎ 0154-68-5949

📧 ma-marketing@city.kushiro.lg.jp

地域課題の解決に向けた事業提案やタイアップ事業の実施、実証実験への参画など、行政と一緒に地域創生に取り組んでいただける企業の皆様を募集しています。ご支援をよろしくお願いいたします。



江別市



官民連携で赤ちゃんをお出迎え 「こんにちは あかちゃん事業」 子育て世代に配付する協賛品を募集します

- ・江別市では、生後4か月（転入者は1歳まで）の子どもがいる世帯を対象に家庭訪問を実施しています。
- ・訪問の際には、子育てに関する情報とともに、企業様からご提供いただいた協賛品をお渡ししています。
- ・協賛品は大変喜ばれるだけでなく、子育て世代へのPRにもご活用いただけます。
- ・「江別市子どもが主役のまち宣言」の実現に向けて、江別市とともに、赤ちゃんの誕生を祝福し、子育て世代を応援していただける企業様を募集しています。



■お問合せ先
江別市子ども家庭部子育て支援課
☎ 011-381-1408
✉ kosodate@city.ebetsu.lg.jp

長沼町



タンチョウも住めるまちづくり

田園と自然の共生拠点整備構想

長沼町では、タンチョウの生息（繁殖）箇所である舞鶴遊水地内の野鳥観察小屋（鳥の駅マオイトー）やその近隣に位置する廃校跡地を活用し、田園と自然の共生拠点整備構想を検討しています。

自然を守りながら、経済循環と多様な人の交流を生み出す拠点の活用方法にノウハウやアドバイスをいただける企業を募集しています。



舞鶴遊水池周辺に飛来するタンチョウ

■お問合せ先
長沼町政策推進課
☎ 0123-76-8016
✉ seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp

SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり～

共感パートナーシッププロジェクト

ニセコ町のまちづくりに共感していただき、以下の取組と一緒に推進いただける企業を募集しています。

- ・新たな街区「NISEKO生活・モデル地区」での持続可能な開発
- ・CO₂の86%削減に向けた取組
- ・外国語教育、食育、スキーなどスポーツ教育の充実
- ・多様で多文化な交流イベントの開催 など



ニセコキッズパーク

■お問合せ先
ニセコ町企画環境課経営企画係
☎ 0136-44-2121
✉ kikaku@town.niseko.lg.jp

岩内町

岩内町発祥の地域素材を活用した「イワナイブランド」の確立

地元産ホップ、アスパラガス、酒米の栽培・6次産業化

岩内町では、1871(イ・ワ・ナ・イ)年に道内で初めて発見されたビールの原料「ホップ」を始め、日本で初めて栽培に成功した「アスパラガス」など、岩内町に縁のある地元産品を栽培・活用し、新たな地域ブランドの確立を目指します。

6次産業化も視野に入れて、取組を進めてまいりますので、ご興味のある企業様は、是非ご連絡ください。



アスパラガス



アスパラガス発祥の地石碑



町内で栽培されたホップ



野生ホップ発見の地石碑

■お問合せ先
岩内町総務部企画財政課地域創生係
☎ 0135-62-1011
✉ kikaku@town.iwanai.lg.jp

仁木町

企業と連携して次世代型観光拠点を整備

「農村公園フルーツパークにき」を一新

仁木町は、果物を主とした観光のほか、近年はワイナリーも増加傾向にあり、これまで以上に魅力ある観光エリアとなる可能性があります。

後志自動車道仁木ICの降り口付近にある「農村公園フルーツパークにき」を一新し、次世代型観光拠点として整備していくため、ご協力いただける企業を募集しています。



農村公園フルーツパークにき

■お問合せ先
仁木町産業課商工観光振興係
☎ 0135-32-3951
✉ syoukou02-niki@town.niki.hokkaido.jp

赤井川村での事業拠点の開設

集う、働く。北海道の山村で。

赤井川村では、キロロリゾートに近接し、小樽、余市、倶知安へのアクセスの好立地にある山村活性化支援センターを改修し、レンタルオフィスとコワーキングスペース機能を持つ「むらのあかり」を開設しました。当施設を拠点に起業支援、場所を選ばない働き方及びリゾート地に近いワーケーションフィールドとして、村内外の企業や個人でも利用可能な施設となっています。

赤井川村で新たに起業や事業を行いたいと考えている方は是非ご活用ください。

<https://mura-no-akari.com>



山村活性化支援センター（むらのあかり）

■お問合せ先
赤井川村総務課財務係
☎ 0135-34-6211
✉ zaimu1@akaigawa.com

室蘭市

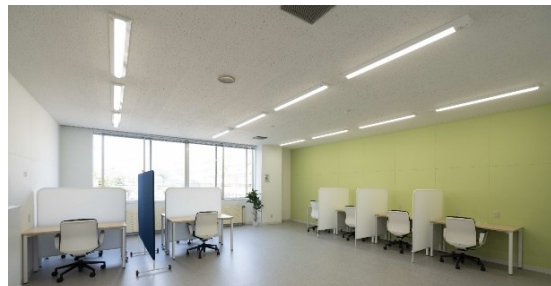
室蘭から新しいビジネスがはじまる。 「サテライトオフィス室蘭」

ぜひ室蘭でのビジネス展開を！

室蘭市のサテライトオフィスは、「ビジネスチャンスを広げたい」「優秀な学生を採用したい」という室蘭市外の企業、個人事業主の皆様にご利用いただける施設です。室蘭市でのビジネス展開をお考えの際には、「サテライトオフィス室蘭」を検索してください。

サテライトオフィス室蘭

検索



サテライトオフィス室蘭の内観

■お問合せ先
公益財団法人室蘭テクノセンター
☎ 0143-45-1188
✉ techno@murotech.or.jp

苫小牧市

苫小牧での就職を促したい！

苫小牧市では、優秀な人材を探す企業や苫小牧市内で仕事を探す方向けに、苫小牧の企業と人を「しごと」でつなぐ、求人情報サイト「とまジョブ」を運営しています。

サイトの充実を図るため、掲載していただける企業様を募集しています。

ぜひ企業様からのご連絡お待ちしております。



市が運営する求人情報サイト（とまジョブ）

■お問合せ先
苫小牧市産業経済部工業雇用政策課
☎ 0144-32-6436
✉ kogyo@city.tomakomai.hokkaido.jp

企業誘致に係る連携・支援

企業誘致活動のサポートをお願いします

区画整理事業により造成した新函館北斗駅前の商業地約5.3haのうち、現在約0.8haの活用が決まっていない状況です。

道南地区へ進出を検討する企業に対する立地環境や補助制度等についての情報提供をしていただける金融機関及びコンサルティング事業者を募集しています。



新函館北斗駅

■お問合せ先
北斗市経済部水産商工労働課商工労働係
☎ 0138-73-3111
✉ syoko@city.hokuto.hokkaido.jp

名寄市のスポーツ競技施設を活用したスポーツツーリズム等の開発・販売

スポーツのまちづくり

名寄市では、スポーツを活用したまちづくりを推進しています。

国内最高峰の雪質といった自然環境や、スキー場・ジャンプ台といった競技施設を活用したスポーツツーリズム・アクティビティ商品の開発・販売に関してノウハウを提供いただける企業を募集しています。



クロスカントリースキー

■お問合せ先
名寄市総合政策部スポーツ政策課
☎ 01654-2-2218
✉ ny-sport@city.nayoro.lg.jp

東川オフィシャルパートナー制度

新たな社会的価値を創造していく取組

東川町とつながりのある企業とパートナーシップ関係を構築し地方や日本そして世界の未来を育む社会価値の共創を目指すものです。

東川町のもつ「写真・家具」などの文化価値の創造事業や「介護福祉（外国人材）・オリンピック選手」などの人材育成事業など、共に取り組んでいただけるパートナーを募集しています。



東川オフィシャルパートナー企業との連携事業

■お問合せ先
東川町東川スタイル課
☎ 0166-82-2111
✉ brand@town.higashikawa.lg.jp

村立おといねっぷ美術工芸高校の 魅力化・機能強化

全国各地から生徒が集まる村立高校

美術工芸を学ぶために全国各地から生徒が入学する村立おといねっぷ美術工芸高校は、村の重要な魅力の一つです。

生徒募集をはじめ、村立高校の魅力化のため、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。



村立おといねっぷ美術工芸高等学校（ロビー）

■お問合せ先
音威子府村総務課地域振興室
☎ 01656-5-3311
✉ tiikishinkou@vill.otoineppu.hokkaido.jp

枝幸町

労働力・人材不足の解消

機械化・技術革新へのご協力

枝幸町では、過疎化、少子高齢化による漁業・酪農などの一次産業、水産加工や介護・福祉分野での労働力と人材不足が顕著となっています。

機械化や技術革新での課題解消に向けて協力いただける企業を募集しています。



ほたて漁船乗組員の水揚げ作業

■お問合せ先
枝幸町観光課
☎ 0163-62-4242
✉ g-kanko@esashi.jp

利尻富士町

新産業開拓プロジェクト

高齢者も移住者も 一緒になって働ける場の創設

新たな産業を開拓し、退職後の方や高齢者が従事することで、生きがいの創出、稼げる化により地域の活性化を図るとともに、移住者も取り込みます。

日本名水百選の豊かな水と雄大な自然など、地域資源を活用した新たな産業の可能性について、調査・協力いただける企業を募集しています。



利尻富士町の漁業の様子

■お問合せ先
利尻富士町企画政策課
☎ 0163-82-2850
✉ kikaku@town.rishirifuji.hokkaido.jp

おとふけ町ビジネス創出拠点 「昭和商学校Palette」

自然豊かな環境でビジネス、
起業準備等を！

廃校となった小学校をリノベーションし、令和5年4月から供用開始となった施設。サテライトオフィス、コワーキングスペース、シェアキッチンなどが整備され、町のビジネス創出拠点として民間事業者等と協力しながら様々な施策を展開しています。

都会では決して味わうことのできない雄大な農村風景に囲まれた素敵な環境で、コワーキングや起業準備などにぜひご利用ください。



「町のビジネス創出拠点 昭和商学校Palette」

■お問合せ先
音更町企画財政部まちづくり推進課
☎ 0155-42-2111
✉ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

過疎地における地域内交通手段の確保

地域交通の確保に向けて

豊頃町では、高齢化の進展に伴い市街地と集落を結ぶ地域内交通手段の確保が課題となっています。市街地とJR駅を結ぶバスや町立医院を利用する方のためのバスを運行していますが、集落から市街地を結ぶ路線は整備されておらず、また広範囲に及ぶため行政だけの対応が難しい状況にあります。

これらの課題の解決に協働して取り組んでいただける企業を募集しています。



豊頃町コミュニティバス

■お問合せ先
豊頃町総務政策課政策推進係
☎ 015-574-2211
✉ kikaku@toyokoro.jp

氷都くしろ！ 子どもたちの全国舞台をともに支える！

全日本少年アイスホッケー大会
(中学生・男子の部)

2027年度より日本中学校体育連盟が主催する全国大会からアイスホッケー競技が外れることが決まりました。

釧路市では、アイスホッケー文化を次世代につなぐため独自の全国大会である全日本少年アイスホッケー大会(中学生・男子の部)を開催し、大会を通じて、子どもたちの挑戦機会を守り続けます。

この取組に、パートナーとしてご協力をいただける企業を募集しております。



第19回(2025年)に開催した決勝戦の様子

■お問合せ先
釧路市マーケティング戦略室
☎ 0154-68-5949
✉ ma-marketing@city.kushiro.lg.jp

日本で最も美しい村ビューティフルデー



自然、環境等を守り続ける活動

失ったら二度と取り戻せない「自然」、「環境」等を守り続ける活動の一つとして、各地域で一斉ゴミ拾い等のまちをキレイにする活動を行っています。実施期間は、10月4日の前後約1週間です。清掃ボランティアの方々へのお礼の品や、地域の清掃活動への参加などご協力いただける企業を募集します。企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。



ビューティフルデーの様子

■お問合せ先
中札内村総務課企画財政グループ
☎ 0155-67-2491
✉ s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

道内市町村で利活用が可能な遊休施設

企業等の皆様が利活用可能な遊休公共施設を紹介しています。

サテライトオフィス設置、工場開設等、今後の道内での事業展開の際に是非ご検討ください。企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

市町村所有施設

空知 赤平市(1)

後志 蘭越町(1) 積丹町(2) 古平町(2)

胆振 厚真町(1)

日高 様似町(1) 新ひだか町(4)

渡島 八雲町(1)

檜山 上ノ国町(2)

上川 旭川市(3) 上富良野町(2)
中富良野町(1) 南富良野町(1)

留萌 初山別村(1)

宗谷 稚内市(9)

林-ツツ 滝上町(2)

十勝 音更町(2) 士幌町(1) 池田町(1)

釧路 厚岸町(2) 標茶町(2)

道所有施設

胆振 伊達市(1)

渡島 函館市(1)

上川 名寄市(1)

留萌 留萌市(1)

十勝 浦幌町(1)

赤平市

もじり

旧茂尻小学校



旧茂尻小学校は、市内小学校の統合に伴い令和4年(2022年)3月31日に用途廃止されました。

建物は、いずれも新耐震基準を満たしております。

活用に関しては業種の指定はせず、また、部分的な活用、売却、賃貸などにも対応させていただきますのでご相談ください。

土地
その他

建物
その他

概要

構造	校舎棟・低学年棟：鉄筋コンクリート造 体育館棟・渡り廊下棟：鉄骨造
敷地面積	19,019㎡
延床面積	校舎棟：2,209.00㎡ 渡り廊下棟：20.00㎡ 低学年棟：523.00㎡ 体育館棟：860.00㎡
建築年	校舎棟・渡り廊下棟：1978年 低学年棟：1981年、体育館棟：1960年
廃止年	2022年
利用条件等	部分的な活用も可能

 赤平市茂尻本町1丁目4番地

 自動車の場合
新千歳空港から約2時間10分(約140km)
札幌市(中心部)から約1時間40分(約100km)
※高速道路利用

 公共交通機関の場合 (JR茂尻駅まで)
JR札幌駅から約1時間20分

■お問合せ先
赤平市企画課
☎ 0125-32-1834
✉ kikaku@city.akabira.hokkaido.jp



蘭越町

おおゆぬま

大湯沼自然展示館



大湯沼自然展示館は、自然体験型施設として平成7年（1995年）から平成25年（2013年）まで使用されました。本施設は湯本温泉郷の雪秩父温泉の傍に所在しており、同所からの眺望も良好です。
利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造 1 階建
敷地面積	—
延床面積	校舎：406.80㎡
建築年	1995年
廃止年	2013年
利用条件等	要相談



磯谷郡蘭越町字湯里680番地15



自動車の場合

札幌市（中心部）から約2時間30分（約110km）



公共交通機関の場合（JR蘭越駅まで）

JR札幌駅から約3時間20分

■お問合せ先

蘭越町商工労働観光課

☎ 0136-55-6736

✉ kankou@town.rankoshi.lg.jp

積丹町

しゃこたん

積丹岬キャンプ場



積丹岬キャンプ場は、昭和63年（1988年）に完成し、平成18年（2006年）10月まで使用されました。
本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」のすぐそばにあり、海岸までのアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地

賃貸借

建物

要相談

概要

構造	便所2棟、炊事場4基
敷地面積	緑地広場：5,600.00㎡ 駐車場：2,601.00㎡
延床面積	—
建築年	1988年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること



積丹郡積丹町大字入舸町



自動車の場合

新千歳空港から約2時間30分（約140km）

札幌市（中心部）から約1時間35分（約95km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

積丹町企画課

☎ 0135-44-2114

✉ kikaku@town.shakotan.lg.jp

積丹町

いりか

旧入舸小学校



旧入舸小学校は、昭和59年（1984年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。

本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」を有する入舸町にあり、施設の立地も道道沿いに位置しており、交通のアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地

賃貸借

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造 体育館：鉄骨鉄筋コンクリート造
敷地面積	11,076.00㎡
延床面積	校舎：630.17㎡ 体育館：509.00㎡
建築年	1984年
廃止年	2010年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること

所 積丹郡積丹町大字入舸町158-2



自動車の場合

新千歳空港から約2時間20分（約140km）

札幌市（中心部）から約1時間35分（約95km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

積丹町企画課

☎ 0135-44-2114

📧 kikaku@town.shakotan.lg.jp

古平町

ふるびら

古平家族旅行村



古平家族旅行村は、昭和59年（1984年）に完成し、夏はキャンプ場、冬はスキー場としてアウトレジャーが楽しめる施設として営業しておりました。施設の老朽化等により、平成19年（2007年）にスキー場としての営業を休止し、令和2年（2020年）にはキャンプ場としての営業も休止しております。

本施設は、札幌方面から古平町市街地への入口にあたる歌棄町にあり、海や山に近いことから雄大な自然を感じられる施設となっております。利活用については、地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	管理棟：コンクリート造、木造 センターハウス：鉄筋コンクリート造
敷地面積	255,108.35㎡
延床面積	管理棟：210.30㎡ センターハウス：303.57㎡
建築年	1984年
廃止年	2020年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること

所 古平郡古平町大字歌棄町44番地1



自動車の場合

新千歳空港から約2時間（約112km）

札幌市（中心部）から約1時間30分（約72km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

古平町総合政策課産業連携室商工観光係

☎ 0135-48-9840

📧 shoukankou@town.furubira.lg.jp

古平町

ふるびら

古平町営牧場



古平町営牧場は、平成5年（1993年）に完成し、令和元年（2019年）まで利用されました。本施設は、古平町を一望できる歌棄町にあり、後志自動車道及び札幌自動車道を利用して札幌市中心部まで約1時間30分、新千歳空港まで約2時間となっています。利活用については、業種は指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	管理用機械格納舎：軽量鉄骨造 衛生舎：鉄鋼造
敷地面積	113ha（山林）156ha（原野）
延床面積	60㎡（管理用機械格納舎）ほか
建築年	1987年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること



古平郡古平町大字歌棄町290番地ほか



自動車の場合

新千歳空港から約2時間（約112km）

札幌市（中心部）から約1時間30分（約72km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

古平町総合政策課産業連携室農林係

☎ 0135-48-9840

✉ nourin.sct@town.furubira.lg.jp

厚真町

あつまちょう

厚真町役場本庁舎



厚真町役場本庁舎は、令和10年（2028年）竣工予定の新庁舎への移転に伴い、同年にその役目を終えます。

利活用に関しては、長年親しまれた外観意匠を維持すること、そして現在推進中の「庁舎周辺等整備計画」のコンセプトに配慮した利活用を募集します。

町の新たな賑わいを生み出す、魅力的な事業提案をお待ちしております。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	4398.15㎡の一部
延床面積	760㎡
建築年	1953年
廃止年	2028年（予定）
利用条件等	新たな賑わいや雇用を創出し、町の未来の発展に貢献する事業であること



勇払郡厚真町京町120番地



自動車の場合

新千歳空港から約35分（約27km）

札幌市（中心部）から約1.5時間（約65km）



公共交通機関の場合

JR苫小牧駅から約60分（バス）

JR早来駅から約15分（バス）

■お問合せ先

厚真町総務課庁舎周辺等整備推進室

☎ 0145-27-2322

✉ soumu@town.atsuma.lg.jp

様似町

旧ソビラ荘 (特別養護老人ホーム)



特別養護老人ホーム「旧ソビラ荘」は平成2年（1990年）に完成し、平成29年（2017年）3月の施設移転に伴い、遊休化されました。本施設はJR北海道バス「様似築港前」停留所より徒歩4分（350m）の水産加工場等の多い港町地区にあります。利活用については、業種は指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
無償貸与

建物
無償貸与

概要

構造	鉄筋コンクリート造平屋建 (車庫：鉄骨造平屋建)
敷地面積	13,017.01㎡
延床面積	2,227.75㎡
建築年	1990年（1999年増築）
廃止年	2017年
利用条件等	人口減少対策に繋がる、地方創生に資する事業であること

- 所

様似郡様似町港町
- 自動車の場合

新千歳空港から約2時間30分（約150km）
札幌市（中心部）から約3時間（約190km）
※共に高速道路利用
帯広市・帯広空港から約2時間30分（約150km）

■お問合せ先
様似町企画調整課企画係
☎ 0146-36-2122
✉ kikakutyouseika@samani.jp

新ひだか町

はるたち
旧春立小学校



旧春立小学校は、昭和50年（1975年）に完成し、平成24年（2012年）3月まで使用されました。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
売却

建物
無償譲渡

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	22,370.00㎡
延床面積	校舎：1,748.00㎡ 体育館：585.00㎡
建築年	校舎：1975年 体育館：1976年
廃止年	2012年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

- 所

日高郡新ひだか町静内春立349番1
- 自動車の場合

新千歳空港から約1時間40分（約100km）
札幌市（中心部）から約2時間20分（約150km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先
新ひだか町総務部契約管財課管財係
☎ 0146-49-0276
✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp



新ひだか町

けりまい

旧鳧舞小学校



旧鳧舞小学校は、平成4年（1992年）に完成し、平成23年（2011年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

無償譲渡

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	14,783.00㎡
延床面積	校舎：972.00㎡ 体育館：576.00㎡
建築年	校舎：1992年 体育館：1993年
廃止年	2011年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 日高郡新ひだか町三石鳧舞120番



自動車の場合

新千歳空港から約2時間（約120km）

札幌市（中心部）から約2時間40分（約160km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

新ひだか町総務部契約管財課管財係

☎ 0146-49-0276

✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp



新ひだか町

さくらおか

旧桜丘小学校



旧桜丘小学校は、昭和60年（1985年）に完成し、令和6年（2024年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

無償譲渡

概要

構造	校舎：鉄骨コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平家建
敷地面積	61,938.00㎡
延床面積	校舎：2,617.00㎡ 体育館：1,054.00㎡
建築年	1985年
廃止年	2024年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 日高郡新ひだか町静内田原562番2



自動車の場合

新千歳空港から約1時間30分（約90km）

札幌市（中心部）から約2時間10分（約140km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

新ひだか町総務部契約管財課管財係

☎ 0146-49-0276

✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp



新ひだか町

じょせい

旧女性センターみらい



旧女性センターみらいは、昭和54年（1979年）に完成し、令和5年（2023年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

無償譲渡

概要

構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
敷地面積	2,068.20㎡
延床面積	1,178.75㎡
建築年	1979年
廃止年	2023年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 日高郡新ひだか町静内青柳町 2 丁目 2 番 1 号

自動車の場合
新千歳空港から約 1 時間20分（約80km）
札幌市（中心部）から約 2 時間（約130km）
※共に高速道路使用

■お問合せ先
新ひだか町総務部契約管財課管財係
☎ 0146-49-0276
✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp



八雲町

やまざき

旧山崎小学校



旧山崎小学校は、平成4年（1992年）に建設され、令和3年（2021年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：木造平屋建
敷地面積	17,454.00㎡
延床面積	校舎：837.00㎡
建築年	1992年
廃止年	2021年
利用条件等	体育館は避難所に指定されているため利用不可

所 二海郡八雲町山崎375番地

自動車の場合
函館空港から約 1 時間30分（約85km）
八雲駅から約15分（約 7 km）

公共交通機関の場合
<JR>八雲駅→山崎駅（7分）施設まで約0.5km

■お問合せ先
八雲町教育委員会学校教育課施設係
☎ 0137-63-3131
✉ gakkyo@town.yakumo.lg.jp

上ノ国町

はやかわ

旧早川小学校



旧早川小学校は、町内小学校との統合に伴い平成27年（2015年）に閉校となりました。平成14年（2002年）築のため比較的新しく、地域住民もレクリエーション等で利用しています。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋鉄骨コンクリート造平家建
敷地面積	9,146.00㎡
延床面積	校舎：1,250.00㎡ 体育館：650.00㎡
建築年	2002年（校舎・体育館）
廃止年	2015年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 檜山郡上ノ国町字早川9番地2

自動車の場合
函館空港から約1時間50分（約104km）
上ノ国町（中心部）から約20分（約20km）

公共交通機関の場合
JR函館駅から約2時間15分
※木古内駅からバスに乗り換え

■お問合せ先
上ノ国町施設課財産管理グループ
☎ 0139-56-8370
✉ info@town.kaminokuni.lg.jp

上ノ国町

たきさわ

旧滝沢小学校



旧滝沢小学校は、町内小学校との統合に伴い令和4年（2022年）に閉校となりました。校舎の目の前は、日本海が広がるオーシャンビューとなっております。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平家建
敷地面積	8,410㎡
延床面積	校舎：1,853㎡ 体育館：1,004㎡
建築年	校舎：1997年 体育館：1999年
廃止年	2022年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 檜山郡上ノ国町字木ノ子192番

自動車の場合
函館空港から約1時間50分（約104km）
上ノ国町（中心部）から約20分（約20km）

公共交通機関の場合
JR函館駅から約2時間
※木古内駅からバスに乗り換え

■お問合せ先
上ノ国町施設課財産管理グループ
☎ 0139-56-8370
✉ info@town.kaminokuni.lg.jp

旭川市

ちよがおか
旧千代ヶ岡小学校



旧千代ヶ岡小学校は、平成9年（1997年）に建築され、平成31年（2019年）まで使用されました。グラウンドを挟んで向かいに、旧千代ヶ岡中学校があります。利活用に関しては、一括売却を原則として、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	21,972.00㎡
延床面積	校舎：1,215.00㎡ 体育館：922.00㎡
建築年	1997年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること

所 旭川市西神楽3線25号

自動車の場合
旭川空港から約30分（約20km）
札幌市（中心部）から約2時間（約140km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合（JR旭川駅まで）
旭川空港から約35分（バス）
JR札幌駅から約1時間30分（特急利用）

■お問合せ先
旭川市教育委員会学校教育政策課
☎ 0166-25-7534
✉ tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

旭川市

かむいこたん
旧神居古潭小中学校



旧神居古潭小中学校は、昭和51年（1976年）に建築され、平成19年（2007年）まで使用されました。利活用に関しては、一括売却を原則として、地域の活性化等にご貢献できる事業を募集しています。（市街化調整区域のため事業内容により都市計画法等の規制を受けることがありますので、関係法令をご確認ください。）

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	10,840.00㎡
延床面積	校舎：1,240.00㎡ 体育館：724.00㎡
建築年	1976年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること

所 旭川市神居町神居古潭

自動車の場合
旭川空港から約30分（約20km）
札幌市（中心部）から約2時間（約140km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合（JR旭川駅まで）
旭川空港から約35分（バス）
JR札幌駅から約1時間30分（特急利用）
札幌駅前から約2時間30分（バス）

■お問合せ先
旭川市教育委員会学校教育政策課
☎ 0166-25-7534
✉ tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

旧旭川第2小学校



旧旭川第2小学校は、平成4年（1992年）に建築され、令和2年（2020年）まで使用されました。

利活用に関しては、一括売却を原則として、地域の活性化等に貢献できる事業を募集しています。（市街化調整区域のため事業内容により都市計画法等の規制を受けることがありますので、関係法令をご確認ください。）

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	14398.00㎡
延床面積	校舎：1,800.00㎡ 体育館：698.00㎡
建築年	1992年
廃止年	2020年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること

所 旭川市東旭川町旭正



自動車の場合

旭川空港から約30分（約20km）

札幌市（中心部）から約2時間（約140km）

※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR旭川駅まで）

旭川空港から約35分（バス）

JR札幌駅から約1時間30分（特急利用）

札幌駅前から約2時間30分（バス）

■お問合せ先

旭川市教育委員会学校教育部教育政策課

☎ 0166-25-7534

✉ tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

上富良野町

えほろ

旧江幌小学校



旧江幌小学校は、平成2年（1990年）に完成し、平成27年（2015年）3月末まで使用されました。

町の産業振興や雇用機会の拡大につながるよう、地域の活性化を前提とした事業の提案及び事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	22,400.00㎡
延床面積	校舎：584.73㎡ 体育館：461.81㎡
建築年	1990年
廃止年	2015年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること



空知郡上富良野町西9線北29号



自動車の場合

旭川空港から約30分（約23km）

旭川市（中心部）から約1時間（約40km）



公共交通機関の場合（JR上富良野駅まで）

JR旭川駅から約50分

■お問合せ先

上富良野町総務課財政管理班

☎ 0167-45-6980

✉ zaisei@town.kamifurano.lg.jp

上富良野町

ひがしなか

旧東中中学校



旧東中中学校は、昭和52年（1977年）に完成し、平成26年（2014年）まで使用されました。

地域の活性化や、発展に貢献できる事業の提案及び、事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	7,995.00㎡
延床面積	校舎：1,402.28㎡ 体育館：763.85㎡
建築年	校舎：1977年 体育館：1986年
廃止年	2014年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

 所 空知郡上富良野町東8線北18号

 自動車の場合
旭川空港から約50分（約35km）
旭川市（中心部）から約1時間（約40km）

 公共交通機関の場合（JR上富良野駅まで）
JR旭川駅から約50分

■お問合せ先
上富良野町総務課財政管理班
☎ 0167-45-6980
✉ zaisei@town.kamifurano.lg.jp

中富良野町

みなみなか

旧南中小学校



旧南中小学校は、昭和61年（1986年）に完成し、平成29年（2017年）まで使用されました。体育館は地域の公民館として活用されています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	10,972.00㎡
延床面積	875.00㎡
建築年	1986年
廃止年	2017年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

 所 空知郡中富良野町鹿討農場

 自動車の場合
旭川空港から約45分（約40km）
旭川市（中心部）から約1時間10分（約49km）

 公共交通機関の場合（JR中富良野駅まで）
JR旭川駅から約1時間10分

■お問合せ先
中富良野町企画課未来戦略係
☎ 0167-44-2133
✉ kikaku@nakafurano.jp

南富良野町

きたおちあい

旧北落合小学校



旧北落合小学校は、農業地域にある小学校で、平成26年（2014年）に町内の小学校と統合し廃止されました。一部2階もありますが、1階には3つの教室のほか、職員室や放送室などセパレートされた部屋が同じフロアにあり、また、体育館も併設しておりますので作業スペースや倉庫としての利用も可能です。光回線も利用可能となっておりますので、星空を見ながらリモートワークもできます。小学校には珍しいシャワールームも設置されております。

土地

賃貸借

建物

賃貸借

概要

構造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	13,301.00㎡
延床面積	1,405.00㎡
建築年	1982年
廃止年	2014年
利用条件等	光熱水費、通信料等、維持管理経費の負担

所 空知郡南富良野町字北落合157番地



自動車の場合

札幌市（中心部）から約2時間30分（約162km）

新千歳空港から約1時間50分（約126km）

※共に高速道路利用

旭川市（中心部）から約2時間（約102km）

帯広市（中心部）から約1時間30分（約81km）

■お問合せ先

南富良野町教育委員会

☎ 0167-52-2145

📧 kikaku@town.minamifurano.hokkaido.jp

初山別村

とよさき

旧豊岬小学校



旧豊岬小学校は、明治34年（1901年）に開校、平成22年（2010年）に閉校し、109年の歴史に幕を下ろしました。本施設は、村の観光拠点であるみさき台公園と同じ地区に位置することから、アクティビティーや公共交通手段の観点からも良い立地条件です。学校のグラウンドからは、日本海を臨むことができます。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	木造・鉄筋コンクリート造
敷地面積	6,311.00㎡
延床面積	校舎：1,342.75㎡ 体育館：605.00㎡
建築年	1997年
廃止年	2010年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 苫前郡初山別村字豊岬182-1



自動車の場合

旭川空港から約3時間10分（約160km）

旭川市（中心部）から約2時間50分（約145km）

■お問合せ先

初山別村企画振興室企画振興係

☎ 0164-67-2211

📧 soumu.kikaku@vill.shosanbetsu.lg.jp

稚内市

さらきとまない

旧更喜苫内小学校



旧更喜苫内小学校は、昭和49年（1974年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄骨その他造 1 階建 体育館：鉄骨その他造 2 階建
敷地面積	7,266.00㎡
延床面積	校舎：463.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1974年 体育館：1987年
廃止年	2002年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字声間村字更喜苫内



自動車の場合
旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）
稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

まがりふち

旧曲渚小中学校



旧曲渚小中学校は、昭和53年（1978年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした沼川地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造 3 階建 体育館：鉄骨その他造 2 階建
敷地面積	11,272.00㎡
延床面積	校舎：1,719.00㎡ 体育館：459.00㎡
建築年	1978年
廃止年	2002年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字声間村字曲渚



自動車の場合
旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）
稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かばおか

旧樺岡小中学校



旧樺岡小中学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした樺岡地区にあり、大規模草地やJR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	8,980.00㎡
延床面積	校舎：659.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1983年 体育館：1987年
廃止年	2002年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市大字声間村字樺岡



自動車の場合
旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）
稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

とよべつ

旧豊別小中学校



旧豊別小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした豊別地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,625.00㎡
延床面積	校舎：663.00㎡ 体育館：360.00㎡
建築年	1980年
廃止年	2002年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市大字声間村字下豊別



自動車の場合
旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）
稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かみしゅうとく

旧上修徳小中学校



旧上修徳小中学校は、昭和51年（1976年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした天興地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	鉄骨その他造 2 階建
敷地面積	22,374.00㎡
延床面積	校 舎：767.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校 舎：1976年 体育館：1988年
廃止年	2002年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市大字声間村字天興



自動車の場合
旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）
稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

ひがしうら

旧東浦小中学校



旧東浦小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。本施設は、水産業（主にホタテ業）を中心とした東浦地区にあり、日本最北端の地や宗谷丘陵も近く、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校 舎：鉄筋コンクリート造 2 階建 体育館：鉄骨その他造 2 階建
敷地面積	6,443.00㎡
延床面積	校 舎：655.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校 舎：1980年 体育館：1986年
廃止年	2010年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市大字宗谷村字東浦89



自動車の場合
旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）
稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

あけぼの

旧曙小学校



旧曙小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。

本施設は、酪農業を中心とした曙地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,173.00㎡
延床面積	校舎：329.00㎡ 体育館：280.00㎡
建築年	1982年
廃止年	2002年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市大字声間村字曙



自動車の場合

旭川市（中心部）から約4時間（約250km）

※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）

稚内空港から約30分（連絡バス）

JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

わっかないにし

旧稚内西小中学校



旧稚内西小中学校は、平成5年（1993年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、水産業を中心とした西地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	18,429.00㎡
延床面積	校舎：2,567.00㎡ 体育館：817.00㎡
建築年	校舎：1993年 体育館：1979年
廃止年	2015年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市西浜2丁目



自動車の場合

旭川市（中心部）から約4時間（約250km）

※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）

稚内空港から約30分（連絡バス）

JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かみゆうち

旧上勇知小中学校



旧上勇知小中学校は、昭和54年（1979年）に完成し、平成28年（2016年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	12,197.00㎡
延床面積	校舎：1,653.00㎡ 体育館：458.00㎡
建築年	1979年
廃止年	2016年
利用条件等	地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字抜海村字上勇知

自動車の場合
旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）
稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

滝上町

にごりかわ

旧濁川小学校



濁川小学校は滝上小学校との統合に伴い令和6年（2024年）3月まで使用されました。令和3年（2021年）4月1日耐震診断を実施し、最小値は0.765（耐震性あり）となっています。体育館やグラウンドの部分的な活用も可能で、相談は随時受付中です。

土地

賃貸借

建物

要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	土地面積：24,909.00㎡
延床面積	校舎：2086.00㎡ 体育館：813.00㎡
建築年	1980年
廃止年	2024年
利用条件等	地域福祉の向上や地域農林業の振興など地域活性化に繋がる提案を受付

所 紋別郡滝上町字オシラネップ原野北1線13

自動車の場合
オホーツク紋別空港から約40分

公共交通機関の場合
北紋バス紋別～滝上線濁川小学校停留所あり
札幌紋別都市間高速バス濁川停留所から徒歩5分

■お問合せ先
滝上町総務課管財係
☎ 0158-29-2111
✉ zaisei@town.takinoue.lg.jp
kanzai@town.takinoue.hokkaido.jp

滝上町

たきした

旧滝下小学校



滝下小学校は平成18年（2006年）3月まで使用されました。
体育館、グラウンド、敷地内の教員住宅についても活用可能です。
部分的な活用希望についても相談随時受付中です。

土地
賃貸借

建物
要相談

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造 体育館：鉄骨その他
敷地面積	土地面積：17,207.00㎡
延床面積	校舎：637.00㎡ 体育館：473.00㎡
建築年	1983年
廃止年	2006年
利用条件等	地域福祉の向上や地域農林業の振興など地域活性化に繋がる提案を受付

所 紋別郡滝上町字原野基線378

自動車の場合
オホーツク紋別空港から約30分

公共交通機関の場合
北紋バス紋別～滝上線滝下停留所あり
札幌紋別都市間高速バス滝下停留所から徒歩5分

■お問合せ先
滝上町総務課管財係
☎ 0158-29-2111
✉ zaisei@town.takinoue.lg.jp
kanzai@town.takinoue.hokkaido.jp

音更町

みなみなかおとふけ

旧南中音更小学校



旧南中音更小学校は平成5年（1993年）に完成し、令和3年（2021年）3月まで使用されました。校舎に展望塔があるため、展望・天体観測などにもご利用いただけます。体育館は公民館として地元に開放しているため、利用条件を満たしている場合でも別途協議が必要となります。

土地
賃貸借

建物
賃貸借

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	14,811.00㎡
延床面積	校舎：1,210.64㎡ 体育館：699.92㎡
建築年	1993年
廃止年	2021年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 河東郡音更町字南中音更北4線8番地

自動車の場合
とち帯広空港から約1時間10分（約50km）
※一般道のみ利用
札幌市（中心部）から約3時間（約190km）
※高速道路利用

■お問合せ先
音更町企画財政部まちづくり推進課まちづくり推進係
☎ 0155-42-2111
✉ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

音更町

とよた

旧豊田小学校



旧豊田小学校は平成3年（1991年）に校舎が、平成4年（1992年）に体育館が完成し、平成26年（2014年）3月まで使用されました。
体育館は公民館として地元に開放しているため、利用条件を満たしている場合でも別途協議が必要となります。

土地

賃貸借

建物

賃貸借

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	23,003.00㎡
延床面積	校舎：1,356.11㎡ 体育館：699.82㎡
建築年	校舎：1991年 体育館：1992年
廃止年	2014年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。



所 河東郡音更町字豊田東4線27番地



自動車の場合
とち帯広空港から約1時間10分（約50km）
※一般道のみ利用
札幌市（中心部）から約3時間（約190km）
※高速道路利用

■お問合せ先

音更町企画財政部まちづくり推進課まちづくり推進係
☎ 0155-42-2111
✉ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

士幌町

にしきみおとふけ

旧西上音更小学校



旧西上音更小学校は平屋建てで、平成7年（1995年）に完成し、令和元年（2019年）3月まで使用された施設です。校舎は農村地区にあり帯広市から車で約1時間、帯広空港まで約1時間20分とアクセス良好です。
新たな雇用や改修に使える「最大500万円」補助制度があり、企業や個人のビジネス利活用者を募集しています。

土地

賃貸借

建物

賃貸借

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 体育館：鉄骨その他造平屋建
敷地面積	19,600.00㎡
延床面積	校舎：1,150.00㎡ 体育館：585.00㎡
建築年	1995年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること



所 河東郡士幌町字上音更西3線229番地



自動車の場合
とち帯広空港から約1時間20分（約60km）
札幌市から約3時間30分（約210km）
※高速道路利用



公共交通機関の場合（JR帯広駅まで）
JR札幌駅から約2時間20分（特急利用）
JR帯広駅から約60分（バス）

■お問合せ先

士幌町産業振興課商工観光労働係
☎ 01564-5-5213
✉ sansingroup1@shihoro.jp

池田町

たかしま

旧高島小学校



旧高島小学校は、昭和50年（1975年）に屋内運動場、昭和52年（1977年）に校舎が完成し、令和4年（2022年）3月まで使用されていました。

利活用については、業種を指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

賃貸借

建物

要相談

概要

構造	校舎・屋内運動場 ：鉄筋その他造、一部木造
敷地面積	緑地広場　：16,096.00㎡
延床面積	校舎　　：1,599.00㎡ 屋内運動場：571.00㎡
建築年	校舎　　：1977年 屋内運動場：1975年
廃止年	2022年
利用条件等	地域の理解が得られる利活用案であること 災害時の避難場所の提供など町の防災対策に協力できること

所 中川郡池田町字高島137番地3

自動車の場合
新千歳空港から約2時間30分（約175km）
札幌市（中心部）から約3時間（約215km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先
池田町企画財政課
☎ 015-572-3112
✉ kikaku@town.hokkaido-ikeda.lg.jp

厚岸町

かみおぼろ

旧上尾幌小中学校



旧上尾幌小中学校は、平成10年（1998年）に完成し、平成21年（2009年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした上尾幌地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他2階建
敷地面積	25.893.00㎡
延床面積	校舎：2,076.00㎡ 体育館：772.00㎡
建築年	小学校校舎：1998年 中学校校舎：1978年 体育館：1979年
廃止年	2009年
利用条件等	地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること

所 厚岸郡厚岸町上尾幌6番地

自動車の場合
釧路空港から約1時間20分（約70km）
釧路市（中心部）から約1時間10分（約50km）

公共交通機関の場合（JR厚岸駅まで）
釧路空港から約2時間30分（バス）
JR釧路駅から約1時間

■お問合せ先
厚岸町総合政策課政策調整係
☎ 0153-52-3131
✉ seisaku@akkeshi-town.jp

厚岸町

とこたん

旧床潭小学校



旧床潭小学校は、平成11年（1999年）に完成し、平成29年（2017年）3月まで使用されました。本施設は、沿岸漁業を中心とした床潭地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
敷地面積	18,070.00㎡
延床面積	校 舎：1,732.00㎡ 体育館： 664.00㎡
建築年	1999年
廃止年	2017年
利用条件等	地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること

所 厚岸郡厚岸町床潭128番地



自動車の場合

釧路空港から約 1 時間20分（約70km）

釧路市（中心部）から約 1 時間10分（約50km）



公共交通機関の場合（JR厚岸駅まで）

釧路空港から約 2 時間30分（バス）

JR釧路駅から約 1 時間

■お問合せ先

厚岸町総合政策課政策調整係

☎ 0153-52-3131

✉ seisaku@akkeshi-town.jp

標茶町

くちょう

旧久著呂中央小中学校



旧久著呂中央小中学校は、平成 8 年（1996 年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした久著呂地区にあり、国道274号線が隣接し、たんちょう釧路空港へのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却・賃貸借

建物

売却・賃貸借

概要

構造	木造
敷地面積	24,000.00㎡
延床面積	校 舎：1,752.00㎡ 体育館： 684.00㎡
建築年	1996年
廃止年	2015年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること など



所 川上郡標茶町字クチョロ原野256番地



自動車の場合

釧路空港から約 1 時間30分（約70km）

釧路市（中心部）から約50分（約50km）

標茶市街地から約25分



公共交通機関の場合（JR標茶駅まで）

JR釧路駅から約50分

■お問合せ先

標茶町企画財政課企画調整係

☎ 015-485-2111

✉ k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

標茶町

いやさか

旧弥栄小学校



旧弥栄小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、平成19年（2007年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした弥栄地区にあり、道道中標津標茶線沿いで、中標津空港までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
売却・賃貸借

建物
売却・賃貸借

概要

構造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	25,348.00㎡
延床面積	校舎：730.00㎡ 体育館：409.00㎡
建築年	1982年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であることなど

所 川上郡標茶町字上多和原野基線50-3、50-6番地

自動車の場合
釧路空港から約1時間30分（約70km）
釧路市（中心部）から約50分（約50km）
標茶市街地から約11分

公共交通機関の場合（JR標茶駅まで）
JR釧路駅から約50分

■お問合せ先
標茶町企画財政課企画調整係
☎ 015-485-2111
✉ k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

北海道（伊達市）

だ て みどりがおか

旧北海道伊達緑丘高等学校



旧北海道伊達緑丘高等学校は、昭和58年（1983年）3月に建築され、令和5年（2023年）3月まで使用されました。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集していますが、用途地域により活用方法が制限される可能性もありますので、予めご相談ください。

土地
売却

建物
売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	50,609.00㎡
延床面積	校舎：4,888.44㎡ 体育館：988.35㎡
建築年	1983年
廃止年	2023年
利用条件等	有償での賃貸借（1年以内）も可能

所 伊達市南稀府町1800番4

自動車の場合
新千歳空港から約1時間20分（約98km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合
<JR>
札幌駅→伊達紋別駅（約1時間45分）
伊達紋別駅→稀府駅（約20分）
施設まで約1km

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（函館市）

旧北海道戸井高等学校



旧北海道戸井高等学校は、平成7年（1995年）3月に建築され、平成27年（2015年）3月まで使用されました。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	32,524.84㎡
延床面積	校舎：3,810.00㎡ 体育館：963.00㎡
建築年	1995年
廃止年	2015年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

所 函館市浜町717-1（校舎）、861-2（グラウンド）

自動車の場合
函館空港から約30分（約23km）
函館駅から約40分（約28km）

公共交通機関の場合
<函館バス>
函館駅前→浜町（約1時間10分）施設まで約0.8km

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（名寄市）

旧北海道名寄産業高等学校 名農キャンパス



旧北海道名寄産業高等学校は、昭和59年（1984年）12月に建築され、令和7年（2025年）3月まで使用されました。本校は農業高校であったため、牛舎などの26の農業関連施設のほか、農地や寄宿舎を保有しています。活用に 대해서는、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集していますが、用途地域や農地法により活用方法が制限される可能性がありますので、予めご相談ください。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	417,440.00㎡
延床面積	校舎：4,460.40㎡ 体育館：966.48㎡ 寄宿舎：2,692.61㎡ ※その他、実習棟・畜舎棟が26棟有り。
建築年	1984年
廃止年	2025年
利用条件等	有償での賃貸借（1年以内）も可能

所 名寄市字緑丘3-3、38-1

自動車の場合
旭川空港から約1時間45分（約87km）

公共交通機関の場合
<JR>
旭川駅→名寄駅（約1時間25分）施設まで約1.4km

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（留萌市）

るもい

旧北海道留萌高等学校



旧北海道留萌高等学校は、平成12年（2000年）3月に建築され、平成30年（2018年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造4階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	52,661.00㎡
延床面積	校舎：6,324.00㎡ 体育館：966.00㎡
建築年	2000年
廃止年	2018年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

所 留萌市東雲町1丁目84

自動車の場合
札幌市（中心部）から約2時間（約150km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合
<高速バス>
札幌駅前ターミナル→元川町（約2時間15分）
施設まで約1km

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（浦幌町）

うらほろ

旧北海道浦幌高等学校



旧北海道浦幌高等学校は、昭和59年（1984年）に建築され、平成22年（2010年）3月まで使用されました。隣接しているグラウンド（約30,000㎡）は、民間企業がメガソーラー用地として活用中です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	13,834.00㎡
延床面積	校舎：3,912.00㎡ 体育館：1,059.00㎡
建築年	1984年
廃止年	2010年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

所 十勝郡浦幌町字帯富150-2

自動車の場合
帯広空港から約1時間（約50km）
帯広市（中心部）から約1時間（約50km）

公共交通機関の場合
<JR>
帯広駅→浦幌駅（50分・特急利用）施設まで約2.1km

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト（令和8年(2026年)4月）

発行 北海道
編集 北海道総合政策部官民連携推進局
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-204-5158